#### 静岡県建設工事成績評定要領の運用について

# 1 評定の対象(第2条)

次の工事は、評定を省略することができるものとする。

- (1) 災害応急仮工事
- (2) 主たる工事内容が除草又は漂着物処理工事
- (3) 畳工事及び木製建具工事

## 2 評定の方法(第5条)

- (1) 工事成績の採点は、別紙-1の「考査項目別運用表」により行うものとする。
- (2) 細目別評定点の算出は、別紙-2の「細目別評定点採点表」によるものとする。
- (3) 評定にあたっては、別紙-3の「「施工プロセス」チェックリスト」を考慮するものとする。また、工事における「工事特性」、「創意工夫」、「社会性等」に関しては、請負者は当該工事における実施状況を別紙-4により提出できるものとし、提出があった場合はこれも考慮するものとする。
- (4) 施工体制、施工状況、出来形及び出来ばえの評価は、0点を標準とし、標準より優れていた場合は加点、標準より劣っていた場合は減点することにより行う。
- (5) 工事特性、創意工夫、社会性等の評価は、加点評価のみとする。
- (6) 工事特性と創意工夫は、二重評価はしない。
- (7) 評定点は、評価項目に係る採点結果の合計値(35 点満点)を 65 点に加算して算出する。
- (8) 法令遵守等は、工事が完成した時に行うものとする。

## 3 評定の修正(第9条)

引渡しを受けた後、次の場合は評定の修正を検討するものとする。

- (1) 2年の間にその工事における工事事故及び不正行為等が発覚した場合
- (2) 瑕疵担保期間中に瑕疵が発覚した場合

#### 4 評定の報告

契約担当者は、「建設事務総合システム」以外で工事を執行し、工事成績評定を 行った場合は、遅滞なく別紙-5により工事検査課長に報告するものとする。

## 5 工事成績が特に劣るもの

静岡県工事請負契約等に係る入札参加停止等措置要綱の運用について(平成元年9月1日付け管第333号)2の(2)の①に規定する「過失による粗雑工事等」のうち、工事成績が特に劣ると認められた工事とは、64点以下の工事とする。

#### 6 附則

この通知は、令和2年4月1日以降に契約を行う工事について運用するものとする。

考查項目別運用表 (土木・農林土木工事)

別紙-1①

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工 事 名						工事番号		
考查項目	種別	対象	a	b	С	d		е
1. 施工体制	I. 施工体制		適切である。	ほぼ適切である。	他の評価に該当しない。	やや不適切である		不適切である。
	一般		□ 施工計画書の当初と変更を、工事等 作業分担の範囲を、施工体制台帳及 □ 品質証明員が関係書類、出来形、品 □ 元請が下請の作業成果を検査してい 施工計画書の内容と現場施工方法が 緊急指示、災害、事故等が発生した。 施工体制台帳、施工体系図が整備さ	及び施工体系図に明確に記載している。 品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質証明に係る体制が有効に機能し いる。 が一致している。		□ 施工体制一般に関し が文書による改善指 た。		□ 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
	Ⅱ. 配置技術者	対象	評価値が80%以上90%未満・・・・・	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目でない場     ② 対象評価項目数を得数として計算した比率 (%) 計算の値で評価する。     む    部価値 ( %) 一該当項目数 ( ) /評価対象項目数 ( )     なお、評価対象項目数が 2項目以下の場合はC評価とする。     む    おお、評価対象項目数が 2項目以下の場合はC評価とする。	合は空白のままとする。	d		e
•	<ol> <li>配直技術有</li> <li>現場代理人等)</li> </ol>	刈氷	適切である。	ほぼ適切である。	他の評価に該当しない。	やや不適切である		不適切である。
			●評価対象項目 【全体を評価する項目】 □ 「施工プロセス」のチェックリス   「作業に必要な作業主任者及び専門技 【現場代理人を評価する項目】 □ 現場代理人が、工事全体を把握して 設計図書と現場との相違があった場 監督員への報告を適時及び的確に行 【監理(主任)技術者を評価する項目】 □ 書類を共通仕様書及び諸基準に基 契約書、設計図書、適用すべき諸基 施工上の課題となる条件(作業環切 下請の施工体制及び施工状況を把援 監理(主任)技術者が、明確な根拠 その他: ■判断基準 評価値が90%以上・ 評価値が90%以上・ 評価値が80%以上90%未満	トのうち、配置技術者について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が退 技術者を選任及び配置している。 こいる。 場合は、監督職員と協議するなどの必要な対応を行っている。 けっている。 ごき適切に作成し、整理している。 造業等を理解し、施工に反映している。 竟、気象、地質等)への対応を図っている。 量し、技術的な指導を行っている。	<b>速やかに実施されている</b> 。	□ 配置技術者に関して文書による改善指示	、監督員が	

別紙-1②

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工 事 名						工事番号	
考查項目	種別	対象	a	b	С	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理		適切である。	ほぼ適切である。	他の評価に該当しない。	やや不適切である、	不適切である。
2. MELTAVU			●評価対象項目  「施工プロセス」のチェックリ  施工計画書が、設計図書及び現  現場条件の変化に対して、適切  工事材料の品質に影響が無いよ  日常の出来形管理を、設計図書及  現場内の整理整頓を日常的に行 指定材料の品質証明書及び写真  工事記録簿を適切に整備してい  建設副産物の再利用等への取り  工事全般において、低騒音型、 その他:  ●判断基準 評価値が90%以上・ 評価値が90%以上・ 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ストのうち、施工管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速や 場条件を反映したものとなっている。 に対応している。 う保管している。 及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 っている。 等を整理している。	Pかに実施されている。	□ 施工管理に関して、監督員だ書による改善指示を行った。	「文 □ 施工管理に関して、監督員からの
	Ⅱ. 工程管理	対象	a	b	С	d	e
			適切である。	ほぼ適切である。	他の評価に該当しない。	やや不適切である、	不適切である。
			●評価対象項目  「施工プロセス」のチェックリ  工程に与える要因を的確に把握  実施工程表の作成及びフォロー  現場条件の変化への対応が迅速  時間制限や片側交互通行等の各  工事の進捗を早めるための取り  適切な工程管理を行い、工程の  休日の確保を行っている。  地元調整を積極的に行い施工の  その他:  ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ストのうち、工程管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速や し、それらを反映した工程表を作成している。 アップを行っており、適切に工程を管理している。 であり、施工の停滞が見られない。 種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。 組みを行っている。 遅れが無い。	Pかに実施されている。	□ 工程管理に関して、監督員が書による改善指示を行った。	

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工 事 名						工事番号	
考 査 項 目 2. 施工状況	種別 Ⅲ. 安全対策	対象	a 適切である。	b ほぼ適切である。	c 他の評価に該当しない。	d やや不適切である	e 不適切である。
2. 旭工水沉	Ⅲ. 女王对汞		■明 とめる。 ●評価対象項目	はは週別である。	他の計画に該当しない。	□ 安全対策に関して、	監督員が文 □ 安全対策に関して、監督員からの
			□ 「施工プロセス」のチェックリ	ストのうち、安全対策について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速・	やかに実施されている。	書による改善指示を	行った。 文書による改善指示に従わなかった。
			□ 災害防止協議会等を1回/月以				/0
			□ 安全教育及び安全訓練等を半日				
				の内容に現場特性が反映され記録が整備されている。			
			□ 工事期間を通じて、労働災害及				
			□ 過積載防止に取り組んでいる。	O ZANATA ME COM A ZO.			
			□ 仮設工の点検及び管理を、チェ	ックリスト等を用いて宝施している			
				種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。			
			□ 地下埋設物及び架空線等に関す				
			□ 使用機械、車両等の点検整備等				
			□ 店社パトロールを1回/月以上3				
				や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。			
				↑ 至1級とハッコ 野蛇四ッカ Amit 巨かっまで 40 C v ~ 3。			
			●判断基準	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目でない場	日本は水やのナナトナズ	╡	
			評価値が90%以上・・・・・・				
				*・・			
				・・C     ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			
			計圖個//300%不個	・・C 切 なわ、計劃対象が見り数がを利目数という報告はし計画とうな。		4	
	IV. 対外関係	対象	a	b	С	d	e
			適切である。	ほぼ適切である。	他の評価に該当しない。	やや不適切である	不適切である。
			●評価対象項目			□ 対外関係に関して、!	監督員が文 □ 対外関係に関して、監督員からの
			□ 「施工プロセス」のチェックリ	ストのうち、対外関係について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速・	やかに実施されている。	書による改善指示を	行った。 文書による改善指示に従わなかった。 た。
			□ 関係官公庁などと調整を行い、	トラブルの発生が無い。			. = 0
			□ 地元との調整を行い、トラブル	の発生が無い。			
			□ 第三者からの苦情が無い。もし	くは、苦情に対して適切な対応を行っている。			
			□ 関連工事との調整を行い、円滑	な進捗に取り組んでいる。			
			□ 工事の目的及び内容を、工事看	板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。			
			□ その他:				
			●判断基準	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目でない場	場合は空白のままとする。		
			評価値が90%以上・・・・・・	• • a ② 対象評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。			
			評価値が80%以上90%未満・・・	・・b ③ 評価値 ( %) =該当項目数 ( ) /評価対象項目数 ( )			
			評価値が80%未満・・・・・・・	・・C ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			
						<del>-</del>	

工 事 名						工事番号	
考查項目			a	b	С	d	ē
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	― 準に基づき	行われ	必要な測定項目について所定の測定基 ており、測定値が規格値を満足し、そ 値の50%以内である。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の80%以内である。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目 について所定の測定基準に基づき 行われており、測定値が規格値を 満足し、a、bに該当しない。	不適切であったため、監	
	※ ばらつ	つきの半	断は別紙-1 ⑩参照。				
			③ 出来形管理とは、「土木(農林	た工事目的物の形状及び寸法をいう。 水土木)工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき 系であるが、当該管理基準によりがたい場合については、 社を行うものである。			
-		対象	a	b	C	d	e
	機械設備工事		適切である。 ●評価対象項目	ほぼ適切である。	他の評価に該当しない。	□ 出来形の測定方法又は測 不適切であったため、監 文書で改善指示を行った	定値が □ 契約書第17条に基づき、監督員   定値が □ 対の登請求を行った。
			□ 設備全般にわたり、形状及び寸さ 施工管理基準の撮影記録が撮影記録が撮影記録が撮影記録が撮影記録が撮影記録で定められていない出3 不可視部分の出来形を写真撮影 章装管理基準の塗膜厚管理を適せ 溶接管理基準の出来形管理を適せ 社内の管理基準に基づき管理して 設計図書に定められている予備品	基準を満足している。  来形管理項目について、監督員と協議の上で管理している。 している。 切にまとめている。 切にまとめている。 びいる。 品に不足が無い。  妻託、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録  ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目で・ ② 対象評価項目数を母散として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ・			

別紙-1⑤

#### 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工事 名	之 電気設備工事 通信設備工事	# 0	適切である。  ●評価対象項目 □ 据付に関する出来形管理が容易に □ 機器等の測定(試験)結果が、そ □ 不可視部分の出来形を写真撮影し □ 設計図書に定められていない出来	ほぼ適切である。 - 把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。 - との都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 - ている。		d 施工体制がやや不備である □ 出来形の測定方法又は測定値が 不適切であったため、監督員が	施工体制が不備である □ 契約書第17条に基づき、監督員
3. 出来形及び出来ばえ	之 電気設備工事 通信設備工事	# 0	適切である。  ●評価対象項目 □ 据付に関する出来形管理が容易に □ 機器等の測定(試験)結果が、そ □ 不可視部分の出来形を写真撮影し □ 設計図書に定められていない出来	ほぼ適切である。 - 把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。 - との都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 - ている。		施工体制がやや不備である  出来形の測定方法又は測定値が 不適切であったため、監督員が	施工体制が不備である  □ 契約書第17条に基づき、監督員
□ 出来形の開き方法文は測定値が ■ 操作に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。	電気設備工事 通信設備工事	#	●評価対象項目 □ 据付に関する出来形管理が容易に □ 機器等の測定(試験)結果が、そ □ 不可視部分の出来形を写真撮影し □ 設計図書に定められていない出来	工把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。 この都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 している。	他の評価に該当しない。	□ 出来形の測定方法又は測定値が 不適切であったため、監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監督員
1. 出来形 適信設備工事	通信設備工事	#	□ 据付に関する出来形管理が容易に □ 機器等の測定(試験)結果が、そ □ 不可視部分の出来形を写真撮影し □ 設計図書に定められていない出来	たの都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 ている。		<ul><li>不適切であったため、監督員が</li></ul>	□ 契約書第17条に基づき、監督員 が改造請求を行った。
1. 出来形 連信設備工事		# 0	□ 機器等の測定(試験)結果が、そ □ 不可視部分の出来形を写真撮影し □ 設計図書に定められていない出来	たの都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 ている。		不適切であったにめ、監督員が 文書で改善指示を行った。	<b>が</b> 改造請求を行った。
			□ 設備の据付及び固定方法が設計図 ■配管及び配線が、設計図書又は理 測定機器のキャリブレーションを 行先などを表示した名札がケーラ 配管及び配線の支持間隔や絶縁推 社内の管理基準に基づき管理して その他: ■判断基準 評価値が80%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表の実測値が許容範囲内である。 図書又は承諾図書通り施工している。 表諾図書通りに敷設している。 ま、定期的に実施している。 がルなどに分かり易く堅固に取り付けている。  抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  いる。  ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき ② 対象評価項目数を母散として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ・	項目でない場合は空白のままとする。		

777/PC I (9)			<del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del>	风惧 不	$\vdash$					(122 - 1 mr H 24)
工 事 名				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				工事番号		
考查項目			a	b		С		d		е
<ol> <li>出来形及び出来ばえ</li> <li>Ⅱ. 品質</li> </ol>	に基づき行	われ	必要な測定項目について所定の測定基準 ており、測定値が規格値を満足し、その 値の50%以内である。	□ 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の80%以内である。		品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	_ ;	品質関係の測定方法 が不適切であったた が文書で改善指示る	こめ、監督員	□ 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
	<b>※</b> ばらつ	対象	全ての段階における品質確保の については、監督員と協議の上 ④ 品質管理項目を設定していない	工事目的物の規格である。 土木)工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく ための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等 で品質管理を行うものである。	<u> </u>	c		d		e
	機械設備工事	州家	適切である。	ほぼ適切である		他の評価に該当しない		品質関係の測定方法	よ又は測定値	□ 契約書第17条に基づき、監 督員が改造請求を行った。
			□ 設備の機能及び性能を、承諾図書 □ 設計図書の仕様を踏まえた詳細語 □ 機器の品質、機能及び性能が設計 □ 溶接管理基準の品質管理項目につ □ 操作制御設備について、操作スイー □ 操作制御設備の安全装置及び保護 □ 小配管、電気配線・配管が、承諾 □ 設備の取扱説明書を工夫している □ 院成図書(取扱説明書)に定期的 □ 機器の配置が点検しやすいようエ □ 設備の構造や機器の配置が、部品 □ 六ルンクリートの配合試験及び □ バルブ類の平時の状態を示すラへ 計器類に運転時の適用範囲を見る □ 町転部や高温部等の危険箇所に表 ■ 構造物の劣化状況をよく把握して	を計を行い、承諾図書として提出している。 「図書を満足して、成績書にまとめられている。 いて規格値を満足している。 いて規格値を満足している。 「ッチや表示灯を承諾図書のとおり配置し、操作性にすぐれている。 「設書のとおり敷設している。 「図書のとおり敷設している。 「図書のとおり敷設している。 「で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	ない場合に	空白の主まとする。	;	が不適切であっただが文書で改善指示を	を行った。	
			評価値が80%以上・・・・・・ 評価値が60%以上80%未満・・・・ 評価値が60%未満・・・・・・	• b ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )						

別紙-1⑦

## 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工事名			•	773 107 411 1111	7.7.		工事番号		
	- 44			,		-		1	T
考查項目	工種	対象	a	ь	С	_	d D MERIC O NICH	+ 7 12 30 12 12	######################################
3. 出来形及び出来ばえ			適切である。	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であったが		□ 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
	電気設備工事		●評価対象項目				文書で改善指示を行	行った。	
Ⅱ. 品質	通信設備工事		□ 製作着手前に、品質や性能の確保	-					
	受変電設備工事		□ 材料、部品の品質照合の結果が、	品質保証書等 (現物照合を含む) で確認でき、設計図書の仕様を満足している。					
			□ 機器の品質、機能及び性能が、設	計図書を満足し、成績書にまとめている。					
			□ 操作スイッチや表示灯が承諾図書	Fのとおり配置され、操作性に優れている。					
			□ ケーブル及び配管の接続などの作	業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。					
			□ 設備の機能及び性能が設計図書の	<b>)仕様を満足している。</b>					
			□ 操作制御関係の機能及び性能が、	仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認でき	る。				
			□ 設備の総合性能が、設計図書の仕	は様を満足している。					
			□ 現場条件によって機器(製品)の機	能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。					
			□ 設備全体についての取扱説明書を	·工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)している。					
			□ 完成図書で定期的な点検や交換を	要する部品及び箇所を明示している。					
				E品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。					
			□ その他:						
		_							
			●判断基準	<ul><li>① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目でが</li></ul>	ない場合は空白のままとする。	=			
			評価値が80%以上・・・・・・・						
			評価値が60%以上80%未満・・・・						
			評価値が60%未満・・・・・・・						
			計画區が300万人間・・・・・・	・ ひ なわ、肝臓が赤い口がかとか口が「少物口はし肝臓とすり。		4			
		I I							
	工種	対象	a	ь	c		d		е
	工 種	対象	a 適切である。	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない		品質関係の測定方法		□ 契約書第17条に基づき、監
	工 種維持工事							ため監督員が	
			適切である。				品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事		適切である。 ●評価対象項目 【共通】		他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、		適切である。  ●評価対象項目 【共通】  □ 使用する材料の品質・形状等が適	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、		適切である。  ●評価対象項目 【共通】  □ 使用する材料の品質・形状等が適  「構造物の劣化状況をよく把握して	ほぼ適切である 値切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認で:	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、		適切である。  ●評価対象項目 【共通】  □ 使用する材料の品質・形状等が適  「構造物の劣化状況をよく把握して	ほぼ適切である が切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認で で、適切な対策を施していることが確認できる。	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、		適切である。  ●評価対象項目 【共通】  □ 使用する材料の品質・形状等が適  「構造物の劣化状況をよく把握して	ほぼ適切である が切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認で で、適切な対策を施していることが確認できる。	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事		適切である。  ●評価対象項目 【共通】  □ 使用する材料の品質・形状等が適  □ 構造物の劣化状況をよく把握して □ 監督員の指示事項に対し、現地状	ほば適切である  近切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認では、適切な対策を施していることが確認できる。  沈況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事		適切である。  ●評価対象項目 【共通】  □ 使用する材料の品質・形状等が適	ほば適切である  近切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認では、適切な対策を施していることが確認できる。  沈況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。  ●評価対象項目 【共通】  □ 使用する材料の品質・形状等が適 構造物の劣化状況をよく把握して 監督員の指示事項に対し、現地状	ほば適切である  近切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認では、適切な対策を施していることが確認できる。  沈況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。  ●評価対象項目 【共通】  □ 使用する材料の品質・形状等が適	ほば適切である  近切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認では、適切な対策を施していることが確認できる。  沈況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。  ●評価対象項目 【共通】  □ 使用する材料の品質・形状等が適	ほば適切である  近切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認では、適切な対策を施していることが確認できる。  沈況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。 ●評価対象項目 【共通】 □ 使用する材料の品質・形状等が適 構造物の劣化状況をよく把握して 監督員の指示事項に対し、現地状 【維持工事関係】 □ 常に緊急的な作業に対応できる体 緊急的な作業に対し、迅速に対応 その他:	ほば適切である  近切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認では、適切な対策を施していることが確認できる。  沈況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。 ●評価対象項目 【共通】 □ 使用する材料の品質・形状等が適 構造物の劣化状況をよく把握して 監督員の指示事項に対し、現地状 【維持工事関係】 □ 常に緊急的な作業に対応できる体 緊急的な作業に対し、迅速に対応 その他: □ その他:	ほぼ適切である  「も切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 「、適切な対策を施していることが確認できる。 「決定勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 「制を整えている。 「している。	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。 ●評価対象項目 【共通】 □ 使用する材料の品質・形状等が適 構造物の劣化状況をよく把握して 監督員の指示事項に対し、現地状 【維持工事関係】 □ 常に緊急的な作業に対応できる体 緊急的な作業に対し、迅速に対応 その他: □ その他: □ 修繕工事関係】	ほば適切である  近切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認では、適切な対策を施していることが確認できる。  沈況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。 ●評価対象項目 【共通】 □ 使用する材料の品質・形状等が適 構造物の劣化状況をよく把握して 監督員の指示事項に対し、現地状 【維持工事関係】 □ 常に緊急的な作業に対応できる体 緊急的な作業に対し、迅速に対応 その他: □ その他: □ 修繕工事関係】 □ 施工後のメンテナンスに対する提 その他:	ほぼ適切である  「も切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 「、適切な対策を施していることが確認できる。 「決定勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 「制を整えている。 「している。	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。 ●評価対象項目 【共通】 □ 使用する材料の品質・形状等が適 構造物の劣化状況をよく把握して 監督員の指示事項に対し、現地状 【維持工事関係】 □ 常に緊急的な作業に対応できる体 緊急的な作業に対し、迅速に対応 その他: □ その他: □ 修繕工事関係】 □ 施工後のメンテナンスに対する提 その他: □ その他:	ほぼ適切である  値切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認で  、適切な対策を施していることが確認できる。  、況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでい  本制を整えている。  ぶしている。  と言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。	他の評価に該当しないきる。		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。  ●評価対象項目 【共通】  □ 使用する材料の品質・形状等が適構造物の劣化状況をよく把握して監督員の指示事項に対し、現地状 【維持工事関係】 □ 常に緊急的な作業に対応できる体 緊急的な作業に対し、迅速に対応 □ その他: □ その他: □ をの他: □ その他: □ その他: □ その他: □ 半断基準	ほぼ適切である  通切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認で  に、適切な対策を施していることが確認できる。  沈況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでい  本制を整えている。  ぶしている。  ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目で	他の評価に該当しないきる。		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。 ●評価対象項目 【共通】 □ 使用する材料の品質・形状等が適構造物の劣化状況をよく把握して 監督員の指示事項に対し、現地状 【維持工事関係】 □ 常に緊急的な作業に対応できる体 緊急的な作業に対し、迅速に対応 その他: □ その他: □ をの他: □ をの他: □ その他: □ 半断基準評価値が75%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ほぼ適切である  通切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認で  に、適切な対策を施していることが確認できる。  法況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる  動を整えている。  こしている。  ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目で  ② 対象評価項目数を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。	他の評価に該当しないきる。		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。  ●評価対象項目 【共通】  □ 使用する材料の品質・形状等が適構造物の劣化状況をよく把握して監督員の指示事項に対し、現地状 【維持工事関係】 □ 常に緊急的な作業に対応できる体 緊急的な作業に対し、迅速に対応 □ その他: □ その他: □ をの他: □ その他: □ その他: □ その他: □ 半断基準	ほぼ適切である  (重切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。  に、適切な対策を施していることが確認できる。  決況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。  (事) 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目では、対象評価項目数を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。  (② 評価値( %) =該当項目数( ) ) /評価対象項目数( )	他の評価に該当しないきる。		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。 ●評価対象項目 【共通】 □ 使用する材料の品質・形状等が適構造物の劣化状況をよく把握して 監督員の指示事項に対し、現地状 【維持工事関係】 □ 常に緊急的な作業に対応できる体 緊急的な作業に対し、迅速に対応 その他: □ その他: □ をの他: □ をの他: □ その他: □ 半断基準評価値が75%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ほぼ適切である  通切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認で  に、適切な対策を施していることが確認できる。  法況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる  動を整えている。  こしている。  ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目で  ② 対象評価項目数を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。	他の評価に該当しないきる。		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。 ●評価対象項目 【共通】 □ 使用する材料の品質・形状等が適構造物の劣化状況をよく把握して 監督員の指示事項に対し、現地状 【維持工事関係】 □ 常に緊急的な作業に対応できる体 緊急的な作業に対し、迅速に対応 その他: □ その他: □ をの他: □ をの他: □ その他: □ 半断基準評価値が75%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ほぼ適切である  (重切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。  に、適切な対策を施していることが確認できる。  決況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。  (事) 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目では、対象評価項目数を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。  (② 評価値( %) =該当項目数( ) ) /評価対象項目数( )	他の評価に該当しないきる。		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監
	維持工事 (清掃工、除草工、 付属物工、除雪、 応急処理等) 修繕工事 (橋脚補強、耐震		適切である。 ●評価対象項目 【共通】 □ 使用する材料の品質・形状等が適構造物の劣化状況をよく把握して 監督員の指示事項に対し、現地状 【維持工事関係】 □ 常に緊急的な作業に対応できる体 緊急的な作業に対し、迅速に対応 その他: □ その他: □ をの他: □ をの他: □ その他: □ 半断基準評価値が75%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ほぼ適切である  (重切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。  に、適切な対策を施していることが確認できる。  決況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。  (事) 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目では、対象評価項目数を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。  (② 評価値( %) =該当項目数( ) ) /評価対象項目数( )	他の評価に該当しないきる。		品質関係の測定方法 が不適切であった/	ため監督員が	□ 契約書第17条に基づき、監

工事名				工事番号
考查項目	工種		工夫事項	<u> </u>
		[#1	エ ハ ナ ス	
5. 創意工夫	I. 創意工夫	【施工】  □ 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。 □ コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。 □ 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。 □ 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。 □ 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。 ─ 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関 □ 照明などの視界の確保に関する工夫。 □ 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。 □ 複集両、施工機械等に関する工夫。 □ 支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。 □ 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。 □ 加工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。 □ 加工・工夫の管理システム等の活用に関する工夫。 □ 加工・工業で置の計測、集計、管理図等に関する工夫。 □ 加工・工業では、「は、「は、「は、「は、「は、」」、「は、「は、」」、「は、」、「は、」、		
		□ 受注者からの提案によるNETISまたは静岡県登録技術の活用。 ※本項目は2点の加点とする。	□ その他:	
		【品質】  二 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。	□ その他:	
		□ コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。 □ 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。 □ 配筋、溶接作業等に関する工夫。 【安全衛生】 □ 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。	□ その他:	
		※本項目は2点の加点とする。  安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止栅、手員 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。 現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。 厳しい作業環境の改善に関する工夫。 環境保全に関する工夫。 快適トイレに関する工夫(設計計上されていないが快適トイレを設置した。)	□ その他: 習り、足場等)	
	21 /4-30 fm	I All the second	T + 小南京1778目体的南京4.7/产妇卦(翌和75日207+ 任12.7 × 1.1	
	記述評価 (レマークを付し た評価内容を詳細 記述)	[創意工夫の詳細評価] 評点: 点	工夫の内容及び具体的内容を必ず記載(選択項目80を付けること)	

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2. 評価は各項目において1つレ点が付きれれば1、2点で評価し、最大7点の加点評価とする。 ※3. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。なお、総括監督員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(総括監督員)

				工事番号	
細別	a	Ъ	С	d	е
Ⅱ. 工程管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	□ 隣接する他の工事などとの工程調明   □ 地元及び関係機関との調整に取り   □ 工程管理を適切に行なったことに   □ 工程管理に係る積極的な取り組み   災害復旧工事など特に工期的な制	組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 より、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を <sup>」</sup> が見られた。 内がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。	与えた。		
	●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して 評価理由	E、a、b、c、d、e評価を行う。 評価			
細別	a	Ъ	С	d	e
Ⅲ. 安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	□ 建設労働災害及び公衆災害の防止 □ 安全衛生を確保するための管理体 □ 安全衛生を確保するため、他の模 □ 安全対策に関する技術開発や創意 □ 安全協議会での活動に積極的に取 安全対策に係る取り組みが地域か その他:	割を整備し、組織的に取り組んだ。 遊となるような活動に積極的に取り組んだ。 工夫に取り組んだ。 り組んだ。 ら評価された。			
	II. 工程管理 細 別	■ 11. 工程管理    ●評価対象項目	選切である   ほぼ適切である   ほぼ適切である   ほぼ適切である   ●評価対象項目   □ 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。   地元及び関係機関との調整に取り組みが発われた。   工程管理を適切に行なったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を   工程管理を適切に行なったことにより、休日や夜間工事の日避等を行い、地域住民に公共工事と対印象を   工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。   工事施工箇所が広範囲に原在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。   その他:   ●判断基準   上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。   評価対象項目   塩設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。   安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。   安全衛生を確保するため、他の構造となるような活動に積極的に取り組んだ。   安全対策に関する技術関係や創意工まに取り組んだ。   安全対策に関する技術関係や創意工まに取り組んだ。   安全対策に関する技術関係や創意工まに取り組んだ。   安全対策に関する技術関係や創意工まに取り組んだ。   安全対策に関する技術関係を創意工まに取り組んだ。   安全対策に係る取り組みが地域から評価された。   その他:   ●判断基準   上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。	□ 工程管理	本

工事名				工事番号
考查項目	細 別	対 応 事 項	【事例】	】具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性	I. 施工条件等への 対応	<ul> <li>I構造物の特殊性への対応</li> <li>□ 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事</li> <li>□ 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事</li> <li>□ 3. その他:</li> <li>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。</li> </ul>	用水門の設計水深:25m以上、樋門又は樋管の内長:25m以上、堰又は水門の径間数:3径間以上、トンネル(NATM)の内空平均面積:10m以上、ト:木深:10m以上、地滑り防止工:幅100m以上かつ上、砂防ダムの堤高:15m以上、ダムの堤高:15c以上、砂広工事などにおいて、現地合わせに基づいて・砂道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内・供用中の道路トンネルの址幅工事。(3.について)・その他、技術固有の難しさへの対応が特に必その他、技術固有の難しさへの対応が特に必・その他、技術固有の難しさへの対応が必要であ・地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM・地方で	内の流水部における橋脚の撤去工事。 と要な工事 ある工事。
		<ul> <li>II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応</li> <li>□ 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事</li> <li>□ 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事</li> <li>□ 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事</li> <li>□ 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事</li> <li>□ 8. 緊急時に対応が特に必要な工事</li> <li>□ 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事</li> <li>□ 10. その他:</li> </ul> ※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする。	(4. について) ・供用中の鉄道 又は道路と交差する橋梁などの工市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をア・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った(5. について) ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設に・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制(6. について) ・市街地での夜間工事。 ・D I D地区での工事(7. について) ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通・代用している自動車専用道路等の路上工事で、7. について) ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通・供用している自動車専用道路等の路上工事で、6.8. について) ・ア急時の作業があり、その作業の全てに対応し(9. について) ・緊急時の作業があり、その作業の全てに対応し(9. について) ・権、現現場が広範囲に分布している工事。(10. にこいて) ・施エヤードの広さや高さに制限があり、機械の・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に	アンダーパスする工事。 と工事。 とこついて、施工工程の管理に特に注意を要した工事。  ま。  制限を受けた工事。  通行の交通規制をした工事。  交通規制が必要な工事。 うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。 した工事。
		<ul> <li>Ⅲ厳しい自然・地盤条件への対応</li> <li>□ 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事</li> <li>□ 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事</li> <li>□ 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事</li> <li>□ 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事</li> <li>□ 15. その他:</li> </ul> ※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。	・支持地盤の形状が複雑なため、深礎抗基礎毎に ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働 (12.について) ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大 (13.について) ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が	が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 工事 記慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事 要であった工事。
		<ul> <li>Ⅳ長期工事における安全確保への対応</li> <li>16. 当初契約から12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く) ※但し、文書注意に至らない事故は除く。</li> <li>17. その他:</li> <li>)</li> <li>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする。</li> </ul>		
	評価	評点: 点		

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。

#### 丁事成績採点の考香項目の考香項目別運用表

(総括監督員)

						(10-7)
工 事 名					工事番号	
考查項目	細別	a	a'	b	b '	с
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
		□ 定期的に広報紙の配布や現場見営 道路清掃などを積極的に実施し、 地域が主催するイベントへ積極的 災害時などにおいて、地域への3 地場産品の使用に積極的に努めた 男女それぞれの快適トイレを地域 その他:	周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 地域に貢献した。 対に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 を援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(総括監督員)

別紙-12 工事名 工事番号 考查項目 法 令 遵 守 等 の 該 当 項 目 一 覧 表 7. 法令遵守等 措置内容 点 数 1. 入札参加停止3ヶ月以上 - 20点 2. 入札参加停止2ヶ月以上3ヶ月未満 - 15点 3. 入札参加停止1ヶ月以上2ヶ月未満 4. 入札参加停止2週間以上1ヶ月未満 - 10占 5. 文書注意 - 8点 6. 口頭注意 - 5点 - 3点 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽徹なため、 口頭注意以上の処分が行われなかった場合 8. その他: 9. 各種取組による加点 + 点 ① 本考査項目 (7. 法令遵守等) で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。 ② 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。 ③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。 ④ 総合評価落札方式において、受注者の責により提案を満足する施工が行われない場合等は、上表8により不履行の項目ごとに5点減点する。 【上記で評価する場合の適応事例】 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送檢された。 12.受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。 13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、 十木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 14. 受注企業及び下請け等が暴力団員等による不当介入を受けたが警察等への通報を怠った。 15. 安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。 16.発注者が、受注者が請負契約書第7条の2第1項規定に違反していると認める場合又は同条第2項前段に定める特別の事情があると発注者が認めたにもかかわらず、受注者が同項後段に定める期間内に書類を提出しなかった。 17. その他: 総合評価落札 方式技術提案 技術提案等履行確認 注:総合評価技術提案は、標準型と簡易型Ⅰのみ評価の対象とする。(簡易型Ⅱは、対象外とする。) 【上記で評価する場合の適応事例:各種取組による加点】 ※ICT施工、休日の確保等 9. 各種取組による加点 ※発注者が合理的に説明できる点数とすること。 加点の理由

●評価対象項目 □ 施工管理について、監督員が文書による改善指示を行った。 の文書による改善指示を行った。							
2.	老 杏 項 日				工事番号		
●評価対象項目	, <u> </u>	細 別 対象 a	b	С	d	е	
一	施工状況	. 施工管理 適切である。	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		適切である。	やや優れている  の照査を行っていることが確認できる。 されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を  はが一致していることが確認できる。 当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確  ことが確認できる。  にいることが確認できる。  にいることが確認できる。  他に整備していることが確認できる。  出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行ってい  とできる。  ・フクボックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目できる。  ・プログラックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目できる。  ・プログラックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目できる。  ・プログラックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目できる。  ・プログラックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目できる。  ・プログラックスがある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目の場合はチェックというによります。	他の評価に該当しない 「反映したものとなっている は認できる。	やや劣っている  □ 施工管理について、監督員が文		

			<u> </u>	$\sim$ $\sim$ $\sim$		13 2 113 22		
工 事 名							工事番号	
考查項目		a	a '	b	Ъ'	С	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ I. 出来形	ついて所定の れており、測 し、そのばら	が、必要な測定項目に 測定基準に基づき待わ 定値が規格値の50 できが規格値の50 の「評定対象項目」の 該当する。	項目について所定の測定基準 に基づき行われており、測定 値が規格値を満足し、そのば	□ 出来形の測定が、必要な測定 項目について所定の測定基準 に基づき行われており、測定 値が規格値を満足し、そのば らつきが規格値の80%以内 で、下記の「評定対象項目」 の3項目以上が該当する。	項目について所定の測定基準 に基づき行われており、測定 値が規格値を満足し、そのば	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	□ 出来形の測定方法又は測定値が 不適切であったため、監督員が 文書で指示を行い改善された。	□ 出来形の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査 員が修補指示を行った。
	□ 社内の管理 □ 不可視部分 □ 写真管理基 □ 出来形管理 □ その他:	基準に基づき管理して の出来形が写真で確認 準の管理項目を満足し 基準が定められていな						
	※ばらつきの判断に	1.列称一 1 创参照。					た工事目的物の形状及び寸法をいう 土木) 工事施工管理基準」の測定項目、 定の出来形を確保する管理体系である。	
		対象 a	a '	b	b '	c	d	e
	機械設備工事	優れている		やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		□ 設備全般 施工管理 □ 設計図書 □ □ 設計図書 □ □ 容接管理 □ □ 公計図書 □ □ 公計図書 □ □ 公計図書 □ □ 分解整 □ □ → 700 世 □ □ ○ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	%以上・・・・・・a %以上90%未満・・・・・a'	容範囲内であり、出来形の確認がで出来形の確認ができる。 ついて、監督員と協議の上で管理しており、出来形の確認ができる。 ており、出来形の確認ができる。 ており、出来形の確認ができる。 にとが確認できる。 ことが確認できる。 ついて、整備前と整備後の老化状況  ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、 ② 対象評価項目数と甲数として計算した比率(%	できる。 、ていることが確認できる。 己及び回復状況が図表等に記録している 評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき項目でない ) 計算の値で評価する。 ) /評価対象項目数( )		□ 出来形の測定方法又は測定 値が不適切であったため、 監督員が文書で指示を行い 改善された。	□ 出来形の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査 員が修補指示を行った。

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

				<u> </u>	W 1 T V I				10. — 2.0
工 事 名								工事番号	
考査項目	工種	対象	a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び出来			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及び出来 ばえ I. 出来形	電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事		●評価対象項目 □ 据付に関す: □ 機器等の測 □ 写真管理基: □ 不可視部分 □ 設計図書で; □ 設備全般に □ 設備の据付、 □ 配管及び配利 □ 行先などを: □ 配管及び配利	5出来形管理が容易に把握できるよう、 定(試験)結果が、その都度管理図表が 他の管理項目を満足している。 り出来形が写真で確認できる。 をめられていない出来形管理項目についったり、形状、寸法の実測値が許容範囲 固定方法が、設計図書又は承諾図書の 象が設計図書又は承諾図書通り敷設して 表示した名札が、ケーブルなどに分かり	出来形管理図及び出来形管理表を工夫などに記録され、適切に管理しているこれで、監督員と協議の上で管理している 出内であることが確認できる。 つとおり施工していることが確認できる こいることが確認できる。 り易く堅固に取り付けている。 设計図書の仕様を満足していることが確	していることが確認できる。 とが確認できる。 ことが確認できる。	他の評価に該当しない	やや劣っている  □ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、 監督員が文書で指示を行い 改善された。	劣っている □ 出来形の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査 員が修補指示を行った。
			評価値が80%」 評価値が70%」 評価値が60%」	以上・・・・・ a 以上90%未満・・・・・ a' ③	「対象」機にチェックボックスがある項目は、評価すべき 対象評価項目数を得数として計算した比率(%)計算の値 評価値(%)=該当項目数( なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする	で評価する。	空日のままとする。		

# 品質工種一覧

番号	工 種 名	備考
(1)	コンクリート構造物工事	
(2)	土工事(切土)、(盛土、築堤等)	
(3)	護岸・根固・水制工事	
(4)	鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	
(5)	砂防構造物工事、地すべり抑止工事	
(6)	舗装工事	
(7)	法面工事	
(8)	基礎工事(地盤改良等を含む)	品質1
(9)	海岸工事	
(10)	コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)	
(11)	塗装工事(工場塗装を除く)	
(12)	トンネル工事	
(13)	植栽工事	
(14)	防護柵(網)・標識・区画線工事	
(15)	電線共同溝工事	
(16)	維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)	
(17)	修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	
(18)	機械設備工事	 品質2
(19)	電気設備工事	四貝2
(20)	通信設備工事·受変電設備工事	
(21)	その他の工事又は合併工事	
(22)	下水道(開削)	
(23)	下水道(推進)	
(24)	下水道(シールド)	
(25)	下水道(トンネル)	
(26)	下水道(場内整備)	
(27)	港湾·漁港工事、浚渫·覆砂工事	
(28)	建築工事	
(29)	管水路	
(30)	フィルダム・ため池	品質3
(31)	二次製品構造物	
(32)	土工事(区画整理、農地造成)	
(33)	ほ場整備工(整地工等、暗渠排水工)	
(34)	水管橋	
(35) (36)		
(37)		
(38)	森林整備工事(本数調整伐、下刈、除伐、植栽等)	
(39)		
(40)	河床掘削(整正)	
(41)	土砂運搬	 品質4
(41)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(42)	<u>ドキ</u> ブロック据付・撤去	
(43)	ノロフフがいて似ム	

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工 事 名											I	事番号			
考査項目	工種	対象	a	a '	b	b '			С		d				e
3. 出来形及び	(1)			<b>果のばらつきと評価対象項目の履行</b>		5。<判断基準参照>					品質関係の測定	方法又は測定値が不	適 🗆		測定方法又は測定値が
出来ばえ	コンクリート		□   関連基準、土木工-   ※ ばらつきの判断	事施工管理基準、その他設計図書 所は別紙-150参照。	に定められた試験」						切であったため を行い改善され	、監督員が文書で指	「不	不適切であ 補指示を行	ったため、検査員が修った。
	構造物工事		A 100 2 C 0 1319	1 60 1110							C17. QC C40	, <u>-</u> 0		110110-4-6-14	× 100
Ⅱ. 品質			●評価対象項目												
			□ コンクリートの配	2合試験及び試験練りを行っており	、コンクリートの品質(強度・	w/c、最大骨材粒径、	塩化物総量、単位水	量、アル	カリ骨材反応抑制等)						
			が確認できる。												
			□ コンクリート受け	ナ入れ時に必要な試験を実施してま	5り、温度、スランプ、空気量	と 等の測定結果が確認でき	る。								
			□ 圧縮強度試験に使	吏用したコンクリート供試体が、当	á該現場の供試体であることが	『確認できる。									
			□ 施工条件や気象条	条件に適した運搬時間、打設時の投	入高さ及び締固め方法が、定	められた条件を満足して	いることが確認できる	0							
			(寒中及び暑中=	コンクリート等を含む)											
			□ コンクリートの圧	E縮強度を管理し、必要な強度に過	をした後に型枠及び支保工の取り	対り外しを行っていること	が確認できる。								
			□ コンクリートの打	T設前に、打継ぎ目処理を適切に行	fっていることが確認できる。										
			□ 鉄筋の品質が、記	E明書類で確認できる。											
			□ コンクリート打設	gまでにさび、どろ、油等の有害®	ηが鉄筋に付着しないよう管理	<b>担していることが確認でき</b>	る。								
			□ 鉄筋の組立及び加	D工が、設計図書の仕様を満足して	「いることが確認できる。										
			□ 圧接作業にあたり	)、作業員の技量確認を行っている	ことが確認できる。										
			□ コンクリートの養	後生が、設計図書の仕様を満足して	「いることが確認できる。		0	「対象」欄に	チェックボックスがある項目は、評価すべき	項目の場合はチェック	し、評価すべき項目でない場	合は空白のままとする。			
			□ スペーサーの品質	質及び個数が、設計図書の仕様を満	5足していることが確認できる	, ,	2	対象評価項目	数を母数として計算した比率 (%) 計算の値	で評価する。					
			□ 有害なクラックが	5無い。			3	評価値(	%) =該当項目数 (		) /評価対象項目数(	)			
			□ その他:				•	なお、評価対	象項目数が2項目以下の場合はC評価とする					_	
							●判断	f基準							1
											ばらつきで判断可		ばらつきで	判断不可能	
										50%以下	80%以下	80%を超える			
								2年	90%以上	a	a ′	b	<u>1</u>		
								価	75%以上90%未満	a'	ь	b '	b		
								値	60%以上75%未満 60%未満	b	ь'	С	(		
							-> ∠#4.5 -> ∠#4.5	· H o lor b		b'	C C	С			
	(2)	対象	9	٠,	h	b '	注 試験病	米の打点	(数等が少ない場合等は、ば) c	つづき で刊断作	り配で評価する。 a				e
	土工事	对家	品質関係の試験結果	▲ 果のばらつきと評価対象項目の履行	「状況(評価値)から判断する	_			· ·	П	品質関係の測定	方法又は測定値が不	適		測定方法又は測定値が
	(切土)、(盛土		<ul><li>□ [関連基準、土木工</li><li>☆ ばらつきの判断</li></ul>	事施工管理基準、その他設計図書	に定められた試験]							、監督員が文書で指			ったため、検査員が修
	堤防等)		※ はらうさの刊像	川は別紙―1500年度。							を行い改善され	/i_o		補指示を行	った。
			●評価対象項目												
			【共通】												
			□ 雨水による崩壊が	が起こらないように、排水対策を実	を施していることが確認できる	>.									
			□ 置換えのための振	配削を行うにあたり、掘削面以下を	乱さないように施工している	ことが確認できる。								_	
			□ 芝付け及び種子哟	欠付を設計図書に定められた条件で	で行っていることが確認できる	D <sub>0</sub>	0	「対象」欄に	チェックボックスがある項目は、評価すべき	項目の場合はチェック	し、評価すべき項目でない場	合は空白のままとする。			
			□ 法面に有害な亀裂	見が無い。			2	対象評価項目	数を母数として計算した比率(%)計算の値	で評価する。					
			□ 伐開除根作業が設	Q計図書に定められた条件を満足し	ていることが確認できる。		3	評価値(	%) =該当項目數 (		) /評価対象項目数(	)			
			□ その他:				4	なお、評価対	象項目数が2項目以下の場合はC評価とする	'o					
			【盛土、堤防等関係】				●判開	ř基準							1
				昔に基づき行っていることが確認て							ばらつきで判断可		ばらつきで	判断不可能	
				まに定められた条件を満足している						50%以下	80%以下	80%を超える			
				5出し厚を管理していることが確認				2年	90%以上	a ,	a ′	b	<u>1</u>		
				間めを設計図書に定められた条件で		) <sub>0</sub>		価	75%以上90%未満	a ′	b	b '	b		
				设計図書を満足していることが確認				値	60%以上75%未満	b	ь'	С	(		
				O品質管理に必要な試験を行ってV	いることが確認できる。		NA SERA	. III . o. lor !	60%未満	b'	C	С	-	:	]
			□ その他:				圧 試験系	米の打点	(数等が少ない場合等は、ば	っつきで判断不	、可能で評価する。				

別紙-1®

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

出版記表	工 事 名										I	事番号		
出版記表	考査項目	工種	対象	a	a '	b	b '		С		d			e
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		護岸・根固・		「朋本甘油 上十二	・古松工佐田甘油 スのゆがむ回事)	状況(評価値)から判断する。 に定められた試験]	<判断基準参照>				切であったため	、監督員が文書で指示	_ 7	質関係の測定方法又は測定値が ぶ適切であったため、検査員が修 排指示を行った。
□ は近江が大って、前途をが終く起していることが確認できる。 □ かりまたがあって、下極順の消失を決弾を与は、禁助して変工していることが確認できる。 □ 原型に対していて、政治な事とはあり上である。 □ 原型に対していて、政治な事とは、対していることが確認できる。 □ 原型に対していて、政治な事とは、対していることが確認できる。 □ 原型に対している。 □ 原型に対しでは、 □ 原型に対している。 □ 原型に対している。 □ 原型に対しでは、 □ 原型に対している。 □ 原型に対し	II. 品質			施工基面を平滑に   裏込材及び胴込め	コンクリートの締固めを、空隙が生じっ 積(張)、法枠、かごマット等におけ、 いて、大きる及び重さが設計図書の仕 線部の処理が適切であり、必要な強度」 の幅で重ね合わせられ、端部処理が設 種類、品質、配合及び養生が、設計図 沈床工、捨石工等において、材料の連絡	る材料のかみ合わせ又は連結が、 様を満足していることが確認でき 及び水密性を確保していることが 計図書の仕様を満足していることが確 書の仕様を満足していることが確	裏込材の吸出しが無いよう行ってい る。 確認できる。 が確認できる。 認できる。 認できる。	o		き項目の場合はチェックし	し、評価すべき項目でない場	<b>)</b> 合は変白のままとする。		
中部転換				□ 基礎工において、1 □ コンクリートブロ □ 施工にあたって、1	掘り過ぎが無く施工していることが確 ック等を損傷無く設置していることが 床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除し	確認できる。 て施工していることが確認できる。	0	③ 評価値	( %) =該当項目數 (		)/評価対象項目数(	)		
その他:   150つきで物所不順			_			とが確認できる。		●判断其獲						
100   10					W.A. 0			●刊刷基準		1	ばらつきで判断可	能	villa - de della dell	
日本の以上の外域										50%以下	80%以下	80%を超える	ほりづき (判断イ	N 円 用臣
(4) 対象 a a b b c c c c c c c c c c c c c c c c								929				- U		
************************************								価				+		
(4)								値				<del>                                     </del>		
(4								注 試験結果の	打点数等が少ない場合等は、ば					
(限速基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験)		(4)	対象	a	a '	b	b '							e
□ □ 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。       50%以下 80%以下 80%		鋼橋工事 (RC床版工は コンクリート 構造物に準ず	0 000000000 00000000	□ 開連基準、エネエ判別   □ 関連基準、エネエ判別   ● 評価対象   同	果のばらつきと評価対象項目の履行 事施工管理基準、その他設計図書に 新は別紙ー1億参照。 質を証明する書類又は現物により照合: (作業員の技量確認を行っていること: 、溶接材料の使用区分が設計図書の仕 工計画書を提出していることが確認で: じたまくれが削り取られているなど。; られないことが確認できる。 、途布面を十分に乾燥させて施工して、 合、第1種ケレン後4時間以内に金属 でので、写真等で確実に空であること。 が実施され、記録を保管していること。 が実施され、記録を保管していること。 が実施され、記録を保管していること。 が関定機器のキャリ州に向かって行って、 が、証明書類で確認できる。 ンクリート面のチッピング及び仕上げ、 能材の応力と変形を対してい。 のとび機厚管理を適切に行っているこ。 とのとのでいること。	7状況 (評価値) から判断する。 に定められた試験] していることが確認できる。 が確認できる。 株を満足していることが確認できき きめ細やかに製作していることが いることが確認できる。 前処理強装を実施していることが が確認できる。 日、ロット番号、色彩、数量が確認 が確認できる。  が確認できる。  施していることが確認できる。  でいることが確認できる。  が確認できる。  が確認できる。	<判断基準参照> る。 確認できる。 確認できる。 認できる。 認できる。	② 対象評価値 ③ なお、! ●判断基準 価値	機にチェックボックスがある項目は、評価すべ 原項目数を参数として計算した比率 (%) 計算の (%) 一該馬項目数 ( 7価対象項目数72項目以下の場合はC評価とす 90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%以上75%未満 60%未満	き項目の場合はチェックし 値で評価する。 る。 50%以下 a a' b b'	品質関係の測定 切であったため を行い改善され () 「野価が象項目数 () ばらつきで判断可 80%以下 a' b' c	<ul> <li>、監督員が文書で指示た。</li> <li>給は空白のままとする。</li> <li>)</li> <li>総</li> <li>80%を超える</li> <li>b</li> <li>c</li> </ul>	ばらつきで判断イ b b' c	質関係の測定方法又は測定値が 適切であったため、検査員が修 指指示を行った。

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工 事 名										3	事番号	
考査項目	工種	対象	a	a '	b	ь'		С		d		е
3. 出来形及び 出来ばえ	(5) 砂防構造物工事、 地すべり防止工事		品質関係の試験結: [関連基準、土木エ ※ ばらつきの判]	果のばらつきと評価対象項目の履行   事施工管理基準、その他設計図書  断は別紙-1⑩参照。	行状況(評価値)から判断する に定められた試験]	5。<判断基準参照>					方法又は測定値が不適 、監督員が文書で指示 た。	の測定方法又は測定値が あったため、検査員が修 行った。
出来ばえ 11. 品質	砂防構造物工事、地すべり防止工事		● 深価対象項目  【共通】 コンな強度に関係できる。 コンクとの対象の対象できる。() コンの強度に関係できる。() コンの強度に関係できる。() コンの強度に関係できる。() は筋をなっととびグラック: その他:  【砂防構造物工事によび、() ・ 対解 コンク組 を 下のが エット トの に ・	断は別紙-1 ⑩参照。  配合試験及び試験練りを行っており  け入れ時に必要な試験を実施してま 使用したコンクリート供試体が、当 歩の投入高さ、結固時のバイブレー今を 寒中及び暑中コンクリート等や今分 寒中度で暑中コンクリート等と 定籍強度を管理しており、必要な別 むせを適切に行っていることが確認 か無い。	り、コンクリートの品質(強度・ おり、温度、スランプ、空気量 当該現場の供試体であることか タの機種及び養生方法が、施コ ) 強度に達した後に型枠及び支係 が、鉄筋に付着しないよう管理 できる。 が、鉄筋に付着とないよう管理 でいることが確認できる。 シを実施していることが確認できる。 シを実施していることが確認できる。 かに配慮していることが確認できる。 みに配慮していることが確認できる。 かに配慮していることが確認できる。	量等の測定結果が確認できる。 が確認できる。 工条件及び気象条件に適しており R工の取り外しを行っている。 型していることが確認できる。 できる。	① 「対象』 ② 対象評価値 ② 対象評価値(② なお、評値 ● 判断 <u>基</u> 準		他で呼偏する。 50%以下 a a ' b b '	<ul> <li>を行い改善され</li> <li>がらつきで判断で</li> <li>はらつきで判断で</li> <li>a、</li> <li>b</li> <li>c</li> </ul>	た。 P合は空白のままとする。 )	

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工 事 名											I	事番号			
考査項目	工種	対象	a	a'	b	b '			c		d			e	
3. 出来形及び	(6)		EDDA SHEAR L. L. T.	果のばらつきと評価対象項目の履行		5。<判断基準参照>	•					方法又は測定値が不			別定方法又は測定値が
出来ばえ	舗装工事		□	□事施工管理基準、その他設計図書 新は別紙−1⑤参照。	に正められた試験」						切であったため を行い改善され	、監督員が文書で指 た。	不	不適切であっ 補指示を行っ	ったため、検査員が修 った。
Ⅱ. 品質			●評価対象項目												
			【路床・路盤工関係】 □ 設計図書に定める	られた試験方法でCBR値を測定し	ていることが確認できる										
				のプルーフローリングを行っている											
				の密度管理が、設計図書の仕様を消		5.									
				は材料が均一になるよう施工してい 立って、路床面、下層路盤面の浮き		、施丁していることが確認でき	£ %								
				て、一層の仕上がり厚を20cm㎏											
				て、構造物の隣接箇所や狭い箇所に	こおける締固めが、タンパ等の	)小型締固め機械により施工し	していることが確認で	<b>きる。</b>							
			□ その他:												
			【アスファルト舗装工関 □ アスファルト混会	関係】 ↑物の品質が、配合設計及び試験練り	の結果マけ東前案本制度の証明	旧書箱に上り確認できる									
				あたって、上層路盤面の浮き石など											
				現場到着時、舗設時等において、		ぎ理を記録していることが確認	思できる。								
				放が、定められた条件を満足してい 位置が、設計図書に定められた数f		ξ.									
				正直が、欧町凶音に足められた数1 目の位置、構造物との接合面の処理											
				う物の運搬及び舗設にあたって、気象	食条件を配慮していることが確認 は で れることが確認 に を れることが確認 に と の に と の に と の に と の に と の に と の に と の に と の に と の 	忍できる。									
				図書の仕様を満足していることが研	雀認できる。										
			□ その他:												
			【コンクリート舗装工関	関係】 配合試験及び試験練りを行っており	0 - 1 / 7 11 . 1 の日所(池座 .	/- <u>L+B</u> +++47									
				記古政族及び政族隊がを打つており 芯抑制等)が確認できる。	グ、コングリートの印具(選及・	W/ C、取八月初位任、塩川	L物彩里、半恒小里、								
				先だって、上層路盤面の浮き石等の											
				け入れ時に必要な試験を実施して* 使用したコンクリート供試体が当ま											
				法及び養生方法が、施工条件及び			していることが確認っ	できる。							
				いようコンクリートを敷均している											
			<ul><li>□ チェアー及びタイ</li><li>□ その他:</li></ul>	イバーを損傷などが発生しないよ	う保管していることが確認でき	きる。	① [9±	- 魚:畑にチュ	ニックボックスがある項目は、評価すべ	き項目の場合けチェック	<ul><li> 報停すべき項目でかい甘</li></ul>	合け売白のキキレオス		_	
		_	1						と母数として計算した比率 (%) 計算の						
							③ 評価		%) =該当項目数 ( 項目数が2項目以下の場合はC評価とす	_	) /評価対象項目数(	)			
							(4) 72.18	、評価対象項	頁目数が2項目以下の場合はC評価とす	6.					
							●判断基	準							
										50%以下	ばらつきで判断可 80%以下	(能 80%を超える	ばらつきで	判断不可能	
							<del> </del>		90%以上	a	a,	b	1	)	
								評価	75%以上90%未満	a '	b	b '	b		
	1							値	60%以上75%未満 60%未満	b b'	b' c	c c			
							<u> </u>		colocicilal	l D	1 (				
							注 試験	結果の打	J点数等が少ない場合等は	は、ばらつきで半	断不可能で評価す	~る。			
	<u> </u>														

別紙-1②

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工 事 名											I	事番号		
考査項目	工種	対象	ŧ a	a '	b	b '			c		d			e
3. 出来形及び 出来ばえ	(7) 法面工事			:果のばらつきと評価対象項目の履 工事施工管理基準、その他設計図書  断は別紙-1⑩参照。		る。<判断基準参照>						方法又は測定値が不適 、監督員が文書で指示 た。	不证	質関係の測定方法又は測定値が 適切であったため、検査員が修 指示を行った。
Ⅱ. 品質			<ul><li>施工に際して、</li><li>盛土の施工にあ</li><li>雨水による崩壊</li></ul>	に仕上げていることが確認できる。 品質に害となる施工面の浮き石や たり、法面の崩壊が起こらないよ が起こらないように、排水対策を:	ゴミ等を除去してから施工して う締固めを十分行っていること	ていることが確認できる。 とが確認できる。								
			<ul><li>□ 土壌試験の結果</li><li>□ ネットなどの境</li><li>□ ネットなどが破</li><li>□ 吹付け厚さが均等</li><li>□ 使用する材料の</li></ul>	工、権生基材吹付工関係】 を施工に反映していることが確認で 実に隙間が生じていないことが確認で 損を生じていないことが確認できる。 種類、品質、配合等が設計図書の られた条件を満足していることがは	認できる。 る。 仕様を満足していることが確認	思できる。								
			□ 金網の重ね幅が □ 金網が破損を生1 □ 吸水性の吹付け □ 吹付け厚さが均 □ 吹付け厚さに応 □ 圧縮強度試験に □ 不良箇所が集に □ 法肩の吹付けに	タル吹付工関係】 種類、品質及び配合が、設計図書 、10cm以上確保されているこ じていないことが確認できる。 面において、事前に吸水させてか 等であることが確認できる。 にて2層以上に分割して施工して1 使用したコンクリートの供試体が、 ないよう跳ね返り材料の処理を行 あたり、地山に沿つて巻き込んで1	とが確認できる。 ら施工していることが確認でき いることが確認できる。 、当該現場の供試体であること っていることが確認できる。	きる。								
			世用する材料の アンカーを設計 現場養生が、設 強度試験に使用 中内に空隙が無 層間にはく離が	レキャスト法枠工会む)】 種類、品質及び配合が、設計図書 図書どおりの長さで施工している 計図書の仕様を満足するように実 したコンクリート供試体が当該現 にたコングリート供試体が当該現 にいことが確認できる。 無いことが確認できる。 ないよう跳ね返り材料の処理を行	ことが確認できる。 施されていることが確認できる 場の供試体であることが確認で	<b>3</b> 。	② 対象 ③ 評価 ④ (z±)	条評価項目数 係価値 評価対象 評価値	エックボックスがある項目は、評価 を母数として計算した比単(%)計 %) 申該当項目数( 項目数が2項目以下の場合はこ評価 90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満	源の他で評価する。 とする。 50%以下 a a' b b'	が	能 80%を超える b b c c c	ばらつきで判断不用	可能

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工 事 名											I	事番号		
考査項目	工 種	対象	a	a'	b	b'			С		d			e
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品質	(8) 基礎工事 (地盤改良等を 含む)			Rのばらつきと評価対象項目の履行 事施工管理基準、その他設計図書 所は別紙 — 1 ⑩参照。		。<判断基準参照>					品質関係の測定 切であったため、 を行い改善され	方法又は測定値が不適 . 監督員が文書で指示 た。		測定方法又は測定値が ったため、検査員が修 った。
II. mg	옵션)		【杭関係 (コンクリート	・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎 修痕が無いことが確認できる。 管理の方法及び場所打杭の施工管理 て、杭本体を損傷していないことか 等が、設計図書を満足していること に関して、設計図書の仕様を満足し でいることが、掘削混さ、掘削土配 で、トレミー管をコンクリート内に 上砂、孔内水位の変動及び安定液を 一の配置及びコンクリート打設等が かの組み立てにあたり、偏心と歪み かなどが施工記録により確認できる というになどの品質に	型の方法が整備されており、その で確認できる。 が確認できる。 ていることが確認できる。 少等により確認できる。 2 m以上挿入して施工してい 月いる場合の孔内の安定液機 く、設計図書の仕様を満足して、 本に配慮して施工していること:	ることが確認できる。 度並びに比重等が、設計図書を減 いることが確認できる。 が確認できる。	・ が か か か	「対象」欄に	8 できる。 チェックボックスがある項目は、評価すべく &を母数として計算した比単 (%) 計算の他 %) 一該当項目数(	<b>並で評価する。</b>	、評価すべき項目でない場	合は翌日のままとする。		
			<ul><li>□ セメントミルクの</li><li>□ 事前に土質試験を</li></ul>	管理記録が整理され、設計図書の化 の比重、スラリー噴出量、強度等の と実施し、改良材の選定、必要添か こ改良されているとともに、十分な	)管理資料を整理していること D量の設定等を行っていること	が確認できる。 が確認できる。	●判断	·基準 評価値	8項目数が2項目以下の場合はCF値とする 90%以上 75%以上90%未満 60%比下5%未満 60%未満 打点数等が少ない場合等は	50%以下 a a' b	ばらつきで判断可 80%以下 a' b b' c 所不可能で評価す	80%を超える b b' c	ばらつきで判断不可能 b ' C C C	
	(9) 海岸工事	対象	□ [関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断 ●評価対象項目	a' 果のばらつきと評価対象項目の履行 事施工管理基準、その他設計図書 所は別紙 - 1 ⑩参照。 圧縮強度を管理し、必要な強度に追	に定められた試験]		·*きる。		c		d 品質関係の測定 切であったため。 を行い改善され	方法又は測定値が不適 . 監督員が文書で指示 た。	□ 品質関係の	e 測定方法又は測定値が ったため、検査員が修 った。
			<ul><li>□ 圧縮強度試験に使</li><li>□ コンクリートブロートブロー</li><li>□ 転倒や崩壊等が無</li><li>□ 捨石基礎の均して</li><li>□ 工事期間中、1日</li></ul>	の固めが、気象条件に適しており、 更用したコンクリート供試体が当該 コックの転置及び仮置にあたって、 悪いようコンクリートプロックの包 西を平坦に仕上げていることが確認 1回は朝位観測を実施して記録して記録して記録に 気象に備えて施工前に避難場所の脅	を現場の供試体であることが確認 強度確認を行っている。 反置を行っていることが確認で 8できる。 いることが確認できる。	認できる。	② ③ ④ ●判断	対象評価項目 評価値( なお、評価対対 基準 評価値	キュックボックスがある項目は、評価すべく なを母散として計算した比率 (%) 計算の機 %) 一該当項目数 ( 線項目数が2項目以下の場合はC評価とする 90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%北末満 打点数等が少ない場合等は	5. 50%以下 a a' b b'	) / 評価対象項目数 (  ばらつきで判断 可	能 80%を超える b b' c	ばらつきで判断不可能 b b' c	

工事名										I	事番号		
考査項目	工種	対象	a	a '	b	b '		С		d			e
3. 出来形及び	(10)		FBB1:#: ## 986   1 - 12 - 7	果のばらつきと評価対象項目の履行	「大沢(評価値)から判断する	5。<判断基準参照>	•			品質関係の測定	方法又は測定値が不適	品質関係	系の測定方法又は測定値が
出来ばえ	コンクリート橋		<ul><li>□                                      </li></ul>	三事施工管理基準、その他設計図書 断は別紙−1励参照。	に足められた試験」					切であったためを行い改善され	監督員が文書で指示		であったため、検査員が修 を行った。
	上部工事												
Ⅱ. 品質	(PC及びRCを		●評価対象項目										
	対象)			配合試験及び試験練りを行っており	り、コンクリートの品質(強度・	w/c、最大骨材粒径、塩化	物総量、単位水量、アルス	カリ骨材反応					
			抑制等)が確認	できる。 け入れ時に必要な試験を実施してお	いい 退床 ラニンプ 水戸具	14年の別ウ仕用が放わった。							
				け八れい可に必安な武族を美慮して。 使用したコンクリートの供試体が、									
				条件に適した運搬時間、打設時の投			とが確認できる。						
				コンクリート等を含む)									
				圧縮強度を管理して、必要な強度に 証明書類で確認できる。	こ達した後に型枠及び支保工の	)取り外しを行っていることが	確認できる。						
				証明音類で帷略できる。 及び曲げ強度の試験値が、設計図	書の仕様を満足していることが	ぶ確認できる。							
				設までにさび、どろ、油等の有害物									
				り、作業員の技量確認を行っている									
				加工が、設計図書の仕様を満足し <sup>*</sup> 養生が、設計図書の仕様を満足し <sup>*</sup>									
				養生が、成計図書の仕様を何足し 質及び個数が、設計図書に定められ		ぶ確認できる。							
				プレフレクション管理が、設計図									
				び機器のキャリブレーションを事情									
				及びグラウト注入管理値が、設計E ング時のコンクリート圧縮強度が、									
				縮強度の確認は、構造物と同様なf									
			□ 有害なクラック:		K-12/11/1-4-11/4-11/4/11/4/11/4/11/4/11/4								
			□ その他:										
							<ul><li>① 「対象」欄に</li></ul>	チェックボックスがある項目は、評価すべき	*項目の場合はチェックし	、評価すべき項目でない場	合は空白のままとする。		
								数を母数として計算した比率 (%) 計算の値					
							③ 評価値(	%) =該当項目数 ( 象項目数が2項目以下の場合はC評価とする		) /評価対象項目数(	)		
							(D) 18-45, STEELAS	※残日放か2項目が1の毎日はC計画とする	J.			<del></del> _	
							●判断基準						
										ばらつきで判断可		ばらつきで判断不可能	
							<u> </u>	90%以上	50%以下 a	80%以下 a '	80%を超える b	b	
							評	75%以上90%未満	a,	b b	ь'	ь,	
							価値	60%以上75%未満	b	ъ'	С	С	
								60%未満	b '	С	С	С	
							注 試驗結單の	)打点数等が少ない場合等は	げらつきで判	析不可能で評価す	<u>ح</u>		
							LL PORTER	- 11 /// 9人 サル・ン・サイ 300 日 寸(か	( 120 ) C (T)	-11 Jue Chillim A	9.0		
									1				

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工 事 名									I	事番号		
考査項目 工 種	対象	a a	a'	b	b '		С		d			е
3. 出来形及び (11) 出来ばえ 塗装工事 (工場塗装を除	:<)	品質関係の試験結果 「関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断	表のばらつきと評価対象項目の履行 事施工管理基準、その他設計図書 所は別紙-1⑩参照。	状況(評価値)から判断する。 に定められた試験]	、<判断基準参照>				品質関係の測定 切であったため を行い改善され	方法又は測定値が不適 、監督員が文書で指示 た。	不通	関係の測定方法又は測定値が 切であったため、検査員が修 示を行った。
II. 品質		□ ケレンを入念に3 □ 天候状況の確認、 □ 塗料を使用前に1 □ 鋼材表面及び被3 □ 塗料の至倍管理( □ 塗り残し、なが4 溶接部、ボルトの	り、塗布面を十分に乾燥させて施工 実施していることが確認できる。 気温及び湿度の測定を行い、塗装 量拌し、容器の塗料を均一な状態に 塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装 こついて写真等で確実に空である。 し、しわ等が無く塗装されているこ 、しわ等が無く塗装されているこ が存合部分、構造の複雑な部分につ す証明書、塗料成績表により、製造	作業を行っていることが確認 してから使用していることが を行っていることが確認でき とが確認できる。 とが確認できる。 といて、必要な途膜厚を確保し	確認できる。 る。 ていることが確認できる。	ll l	靴:チュックボックスがある項目は、評価すべ 項目数を持数として背景した比単(%)背景の		し、評価すべき項目でない。	i合は空白のままとする。		
						<ul><li>③ 評価値(</li><li>④ なお、評価</li></ul>	%) =該当項目数 ( 新対象項目数が2項目以下の場合はC評価とす	<u>ర</u> .	)/評価対象項目数(	)		
						●判断基準					1	
									ばらつきで判断可		ばらつきで判断不可	能
							90%以上	50%以下	80%以下	80%を超える h	h	
						評	75%以上90%未満	a a '	a' b	b'	b'	
						価値	60%以上75%未満	a b	b '	С	С	
						IE.	60%未満	ь'	С	c	c	
						注 試験結果の打	点数等が少ない場合等は、ば	らつきで判断不	可能で評価する。			
(12)	対斜		a'	b	ь'		c		d			e
(12) トンネル工事	対4	品質関係の試験結果	a、 果のばらつきと評価対象項目の履行 事所は別紙 1 0 参照。 社会試験及び試験練りを行っておりまして、 またの配合及びロックボルトの個別、 と合試験及び試験練りを行っておりまして、 を件に適した連般時間、打設方接別、 かの配合及びロックボルトの優別、 との配合及びロックボルトの優別、 といて、設計図書の仕様を満足して、 での配合及びロックボルトの優別で、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	状況 (評価値) から判断する。 に定められた試験]  、コンクリートの品質(強度・いうり、温度、スランプ、空気量 当該現場の供試体であること) が締固め方法が、定められた条 規格が、設計図書の仕様を満行。 のの境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 ほ工を行っていることが確認できる。 た後に、吹付コンクリートの一 を清掃した上、湿潤状態で施工でいることが確認できる。 よりである。 にいることが確認できる。 たり、吹付コンクリートの一 を清掃した上、湿潤状態で施工でいることが確認できる。 といることが確認できる。 といることが確認できる。	、〈判断基準参照〉  W/c、最大骨材粒径、塩化物能等の測定結果が確認できる。 が確認できる。 は件を満足していることが確認できる。 っていることが確認できる。 きる。  層の厚さが15cm以下で地山  エしていることが確認できる。  護マット等で	念量、単位水量、アクラミ (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**	c	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	d 品質関係の測定の 切であったため を行い改善され )/呼転が条項目を( ばらつきで判断可 80%以下 a, b,	<b>分付で</b> 自のままとする。 )	不道	関係の測定方法又は測定値が 切であったため、検査員が修 示を行った。

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工 事 名											I	事番号		
考査項目	工種	対象	a	a'	b	ь'			С		d			е
3. 出来形及び 出来ばえ	(13) 植栽工事		品質関係の試験結果 「関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断	Rのばらつきと評価対象項目の履行 事施工管理基準、その他設計図書は 所は別紙−1⑩参照。	状況(評価値)から判断する。 こ定められた試験]	、<判断基準参照>					品質関係の測定 切であったため を行い改善され	方法又は測定値が不適 、監督員が文書で指示 た。	_ a	品質関係の測定方法又は測定値が ド適切であったため、検査員が修 情指示を行った。
11. 品質			<ul><li>樹木などに損傷、</li><li>樹木等の生育に等</li><li>施工完了後、余乗</li><li>肥料が直接樹木の</li><li>植生する樹木に扇</li><li>添木をぐらつきが</li></ul>	よう管理していることが確認できを はちくずれ等が無いよう保護養生 等のある害虫等がいないことが確認 刺枝の剪定、整形その他必要な手入。 り根に触れないよう均一に施肥して なじて、余裕のある植穴を堀り植穴 がないよう設置していることが確認 やすい場所に据付けていることが確	を行っていることが確認できる できる。 れを行っていることが確認でき いることが確認できる。 底部を耕していることが確認 できる。	· 5.	2 ×	対象評価項目 評価値(	チェックボックスがある項目は、評価すべ、 数を停散として計算した比率 (%) 計算の (%) =政当項目数	値で評価する。	、評価すべき項目でない場 ) /評価対象項目数 (	合は空白のままとする。		
							(i) 13	cお、評価対	象項目数が2項目以下の場合はC評価とする	6.				
							●判断:	基準						
											ばらつきで判断可		ばらつきで判断る	く可能
										50%以下	80%以下	80%を超える		7700
								評	90%以上 75%以上90%未満	a a '	a' b	b b'	<u>ь</u> ь'	
								価値	60%以上75%未満	b b	ь'	С	С	
								-	60%未満	b '	С	с	С	
				,		T	注 試験結果	果の打点	数等が少ない場合等は、ば	らつきで判断不可				
	(14)	対象	a 旦鮮間係の試験社具	a' 見のげたへきと萩価対象項目の履行	b ・14:21 (証価値) かた判断する	b'			c		- L質問係の測定	古法フは測定値が不適		e 1質関係の測定方法又は測定値が
	防護栅 (網)・標識・区画線工事		□ 関連基準、土木工業 ばらつきの判別 ばらつきの判別 ばらつきの判別 はらつきの判別 はらつきの判別 はらいま はいま はらいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま は	限のばらつきと評価対象項目の履行事施工管理基準、その他設計図書所は別紙 - 1 ⑩参照。  通】 視線誘導構設置基準、道路標識への出版。  「の施工にあたって、無筋及び鉄路で、地方の地工にあたって、既務とび鉄路をついて地盤の地耐力を把握して、施力は、設計図書の仕様を満足り根入長が、設計図書の仕様を満足を主性に取付ける場合、設計図書に、また。  「大」と面線に使用するシントの使用量と本等で設計図書の仕様を満足して設置が使間の視認性が、設計図書の仕様を満足して、設置なが使間の視認性が、設計図書に、また。このでは、設計図書の代数をで設計図書の代数をで設計図書の代数を表して、設計図書の代数を表して、設計図書の代数を表して、設計図書の代数を表して、設計図書の仕様を満足していることにあたって、路面に均等に塗布し設計図書の仕様を満足していることにあたって、路面に均等に塗布し設計図書の仕様を満足していることにあたって、路面に均等に塗布し設計図書の仕様を満足しているこ	に定められた試験]  ・ドブック等の規定を満足していれや不陸が生じないように施 ・電が無いよう施工していることが確認できる。 ・としていることが確認できる。 ・に定められた所定の張力を与え ・打設したコンクリートが設計し はが、10%以下であることが にいることが確認できる。 の仕様を満足していることが にいることが確認できる。 の仕様を満足していることが にいることが確認できる。 の仕様を満足していることが にいることが確認できる。	いることが確認できる。 工していることが確認できる。 ていることが確認できる。 とが確認できる。 ているのが確認できる。 図書に定められた強度以上である 確認できる。 確認できる。 確認できる。	① 2 2 2 3 H 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	「対象」欄に 対象評価項目 にお、評価対 基準 評価値	チェックボックスがある項目は、評価すべ。 数を母数として計算した比率(%) 計算のは %) = 該当項目数( 象項目数が2項目以下の場合はC評価とナー 90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%以上75%未満 数等が少ない場合等は、ば	igで評価する。 5.0%以下 a a ' b b '	切であったため を行い改善され ・ ア語が象項目数 ( ばらつきで判断可 805以下 a' b' c	合は変白のままとする。	_ 7	品質関係の測定方法又は測定値が 適切であったため、検査員が修 指指示を行った。

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工 事 名											L 事 番 号		
考査項目	工 種	対象	a	a '	b	Ъ'		С		d			e
3. 出来形及び 出来ばえ	(15) 電線共同溝工事			果のばらつきと評価対象項目の履行 事施工管理基準、その他設計図書 所は別紙-1 ⑩参照。		。<判断基準参照>					芝方法又は測定値が不適 の、監督員が文書で指示 した。	_	品質関係の測定方法又は測定値が 不適切であったため、検査員が修 補指示を行った。
Π. 品質		000000000	□ 管路の通過試験を プラント出荷時、	が、品質を証明する書類で確認できた行っており、試験結果から全箇所 現場到着時、論設時等において、 面の支持力が、均等となるようにか こおいて、隣接する各プロックに目 設計図書の仕様を満足している 設計図書の仕様を満足している 動時行われ、新面の沈下や陽が集 一トの設置及び土被りが、設計図書 それぞれの管の最小曲げ半径を消	所が導通していることが確認で アスファルト混合物の温度管 かつ不陸が無いように仕上げて 目違いによる段差及び蛇行等が ことが確認できる。 無く平坦性を確保していることが 替の仕様を満足していることが	理が記録していることが確認でき いることが確認できる。 無いよう敷設していることが確認 が確認できる。 確認できる。	<ul><li>① 対象</li><li>② 対象評</li><li>③ 評価値</li></ul>	平価対象項目数が2項目以下の場合は	<ul><li>(6) 計算の値で評価する。</li><li>(</li></ul>	し、評価すべき項目でない			
									50%以下	ばらつきで判断。 80%以下	可能 80%を超える	ばらつきで判断	不可能
							FF	90%以上 75%以上90%未清	a i a'	a '	b '	b '	
							価値			b ,	С	С	
								60%未満	ь'	С	С	С	
							注 試験結	果の打点数等が少ない場	合等は、ばらつきで判	断不可能で評価で	ける。		

工 事 名									工事番号	
考査項目	工 種	対象	a	a '	b	b '	c		d	е
3. 出来形及び	(16)		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		」 品質関係の測定方法又は測定値が不適切 であったため、監督員が文書で指示を行	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員
出来はえ	維持工事		●評価対象項目						い改善された。	が修補指示を行った。
	(清掃工、除草工、	_				に行っていることが確認できる。				
Ⅱ. 品質	付属物工、除雪、		□ 構造物の劣化状況をよく			the state of the s	1896-77 1- 19			
	応急処理等)					うなど積極的に取り組んでいること	が確認できる。			
			□	ADAM PROGRAMO CV SC	C // MEDIC C C Vo					
			□ その他:							
			□ その他:							
			●判断基準							
			評価値が90%以上・・・・・・							
			評価値が75%以上90%未満・・・							
			評価値が75%未満・・・・・・	• • c						
				0	「対象」欄にチェックボックスがある項目	日は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき	項目でない場合は空白のままとする。			
				2	対象評価項目数を母数として計算した比率					
				3	評価値 ( %) =該当	5項目数( )/評価対象項目数(	)			
				•	なお、評価対象項目数が2項目以下の場合	hはC評価とする。				
	(17)	対象	a	a,	b	h'	c		d	e.
	修繕工事	刈鸡	優れている	b より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法又は測定値が不適切	<ul><li>□ 品質関係の測定方法又は測定値</li></ul>
	(橋脚補強、耐震		●評価対象項目	•	•				であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
	補強、落橋防止等)					に行っていることが確認できる。			V - QC = C 4 U/L o	が「影冊1日ので11・ラ/こ。
			□ 構造物の劣化状況をよく □ 監督員の指示事項に対し			うなど積極的に取り組んでいること	が確認できる			
			□ 施工後のメンテナンスに				N. HERD C. C. O.			
			□ その他:							
			□ その他:							
			●判断基準							
			評価値が90%以上・・・・・・	• • b						
			評価値が75%以上90%未満・・・							
			評価値が75%未満・・・・・・・	* * c						
				0	「対象」欄にチェックボックスがある項目	日は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき	質目でない場合は空白のままとする。			
				2	対象評価項目数を母数として計算した比率					
							)			
				•	なお、評価対象項目数が2項目以下の場合	hはC評価とする。				
	1	1	İ					1		I

工 事 名								工事番号	
考査項目	工種	対象		a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び出来	(18)		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切 であったため、監督員が立まで指示を行	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員
	機械設備工事		□ 設計図書の仕様を踏まえた機器の機能及び性能に係える接管理基準の品質管理項操作制御設備の安全装置及小配管、電気配線、配管が設備の取扱説明書を工夫し完成図書、阪放設明書が機器の配置が減しやマナート、設備の構造や機器の配置が点が変し、大ルブ類の平時の状態をデートの収益をデーー、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	諸図書のとおり確保され、品質の詳細設計を行い、承諾図書としている成績書が整理され、品質の確認を整理され、品質での正さいまた。品質管理書類を整理を操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり敷設している。 (本語の書のとおり敷設している。 (本語の書のを表している。 (本語の書のを表している。 (本語の書の表しての書の表しての書の表しての書の表しての書の表しての書の表しての書の表している。 (本語の書の表しての書の表している。 (本語の書の表している。) (本語の書の表している。) (本語の書の表している。) (本語の書の表している。) (本語の書の表している。) (本語の書の表している。) (本語の書の表している。) (本語の書の表している。) (本語の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書	の確認ができる。 て提出していることが確認できる。 で提出していることが確認できる。 理し品質の確認ができる。 理し品質の確認ができる。 のとおり配置され、操作性にす 歳について、試験書類を整理し ことが確認できる。 いて、まとめていることが確認 きる。 年業を容易にできるよう工夫し 就検表にまとととが確認できる。 とが確認できる。 ことが確認できる。 ることが確認できる。 ることが確認できる。 ることが確認できる。 ることが確認できる。	ナぐれていることが確認できる。 品質の確認ができる。 とできる。 とできる。 とていることが確認できる。  確認できる。  が確認できる。  「は、評価すべき項目の場合はチェックし、評価すべき) に(5) 計集の値で評価する。	項目でない場合は空白のままとする。	 であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
	(19)	対象	a	a '	ь	b '	c	d	e
	電気設備工事		機器の品質、機能及び性能操作スイッチや表示灯が遅ケーブル及び配管の接続ない配管の接続ない機能及び性能が、設備の機能及び性能が、設備の機能及び性能が、設計図	理が品質保証書等(現物照合を言か談計図書を満足して、成績書作法との作業が、施工計画書に記載、計図書の仕様を満足していること。能が、設計図書の仕様を満足していることが能が、設計図書の仕様を満足していることが、設計図書の仕様を満足していることが、設計図書を工夫し作成(修繕(改造)で換を要する部品及び箇所を明えや、消耗品の取替え作業が容易にている。	会む)で確認でき、設計図書の こまとめられていることが確認 生に優れていることが確認でき された手順に沿って行われ、不 とが確認できる。 ているとともに、必要な安全装 確認できる。 、場合において、工場試験なと ・更新含む)の場合は、修正又 示していることが確認できる。 できるよう工夫していることが	をる。  不具合が無いことが確認できる。  表置及び保護装置の作動が確認できる。  で確認していることが確認できる。  なは更新)していることが確認できる。  なは更新)していることが確認できる。  なは更新)していることが確認できる。  なは更新)していることが確認できる。	項目でない場合は窓白のままとする。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切 であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。

工事名			,							工事	番号			
考査項目	工種	対象	a	a '	b	b '		С			d			е
3. 出来形及び出来	(20)		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れてい	いる	他の評価に該当しない		品質関係の測定力 であったため、監	法又は	則定値が不適 たまでおそれ	切口	品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員
ばえ	通信設備工事・		●評価対象項目							い改善された。	直目貝が	人舎 じ旧小を	11	が修補指示を行った。
	受変電設備工事	_	電気											
Ⅱ. 品質			□ 設計図書に定められている											
			<ul><li>□ 材料及び構成部品の品質及</li><li>□ 材料の品質照合の結果が、</li></ul>											
							mb ( C る る。							
			□ ケーブル及び配管の接続な				きる。							
			□ 設備全体としての運転性能	が所定の能力を満足しているこ	とが確認できる。									
			□ 完成図書において、設備の				0							
			□ 設備全体及び各機器におい □ 設備全体についての取扱説			韭祕でさる。								
			□ 完成図書で定期的な点検や											
						『確認できる。								
			□ その他:											
			Alexander state date											
			●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・	• • h										
			評価値が75%以上90%未満・・・		「対象」欄にチェックボックスがある項目	は、評価すべき項目の場合はチェッ	クし、評価すべき項目でな	cい場合は空白のままとする。						
			評価値が75%未満・・・・・・	· · c	② 対象評価項目数を母数として計算した比率	E (%) 計算の値で評価する。								
						i項目数 ( ) /評価対象項目数 (	)							
				•	<ul><li>なお、評価対象項目数が2項目以下の場合</li></ul>	tはC評価とする。								
	(21)	刈鱼	a	a'	b	b	,	C.			d			e
	その他の工事				兄(評価値)から判断する。<	判断基準参照>				品質関係の測定力 であったため、監	法又は	則定値が不適	切口	品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員
	又は合併工事		□ [関連基準、土木工事施工管 ※ ばらつきの判断は別紙-		められた試験]					い改善された。	直目貝が	人舎 じ旧小を	11	が修補指示を行った。
			W 189 > C 4> [1] [6] [1870 188	1 @\$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\										
			<ul><li>評価対象項目</li></ul>											
			●判断基準											
			● 国际 基中											
													- 11	T
				<b>□</b>	<ul><li> 「対象」欄にチェックボックスがある項目</li></ul>	na wied-sewoniikana	7.1 WEST N. W. C S. J.	い、組入はからのナナルナフ				ばらつきで判断 80%以下 80	可能 (を超える	ばらつきで判断不可能
				2	ン 対象評価項目数を母数として計算した比率		クし、評価すべき残日でな	い場合は至日のままとする。		90%以上	a	a,	b	b
						f項目数 ( ) /評価対象項目数 (	)		評価	75%以上90%未満	a,	ь	b '	b '
				€	② なお、評価対象項目数が2項目以下の場合	rはC評価とする。			値	60%以上75%未満	Ъ	Ъ'	С	С
									***	60%未満	b'	C C	C	C
									注)	試験結果の打点数	(等が少り	よい場合等は、	はらつ:	きで判断不可能で評価する。
		1												

工事名												工事番号	
考査項目	工種	対象	a a	,		b		b '			С	d	e
3. 出来形及び出来	(22)		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象	項目の履行状況	(評価値	)から判断する。	<判断基準参照>	,				□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切	<ul><li>品質関係の測定方法又は測定値</li></ul>
ばえ	下水道 (開削)		□ 【関連基準、土木工事施工管理基準、そのf ※ ばらつきの判断は別紙−1⑩参照。	也設計凶書に定め	りられた記	<b>八</b> 験」						であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
II. 品質			●評価対象項目									†	
			【下水道(開削)】										
			□ 管渠の規格、 品質がミルシートで確認でき	きる。									
			□ マンホール用品の規格、 品質がミルシー	トで確認できる。									
			□ 管渠の接合状況が確認できる。										
			□ コンクリート打設時の必要な供試体を採取	し、 強度・スラ	ランプ・3	空気量等が確認でき	: る。						
			□ コンクリート供試体が当該現場の供試体で	あることが確認	できる。								
			□ その他:										
						対象」欄にチェックボックス				くき項目でない場合は空白の	りままとする。		
						象評価項目数を母数として計							
					3 #		%) =該当項日数(		) /評価対象項日数(	)			
				Į	(a) 2	お、評価対象項目数が2項目	以下の場合はC評価とする	5.				<u> </u>	
				●判	断基準								
				• 1.	1027			ば	らつきで判断可能			-	
							50%E		80%DF	80%を超える	ばらつきで判断不可能		
					22	90%以上 75%以上90%未満	a		a' b	b	ь b'	-	
					価	60%以上75%未満	u		ь'	b' c	С	-	
					値	60%未満	i b		c	c	c		
				注	試験結果	の打点数等が少な			_	_	Ü	-	
	(23)		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象									□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切	□ 品質関係の測定方法又は測定値
	下水道(推進)		□ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他 ※ ばらつきの判断は別紙-1⑩参照。	也設計図書に定め	かられた	大験]	11M100-0-0-11/1					であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			,									1 212 2 1 1 1 2	
			●評価対象項目										
			【下水道(推進)】										
			□ 管渠の規格、 品質がミルシートで確認できる。										
			□ マンホール用品の規格、 品質がミルシー	トで確認できる。									
			<ul><li>□ 推進作業等がデータで確認できる。</li><li>□ コンクリート打設時の必要な供試体を採取</li></ul>	1 強座・マミ	5 V - P - 9	で年馬などが初ってき	. z						
		_	□ コンクリート打成時の必要な供訊体を採取 □ コンクリート供試体が当該現場の供試体で			2.双重寺が帷部でき	. ఎ.						
			□ 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認		(000								
		_	□ その他:										
			a cola.		① [	対象」欄にチェックボックス	がある項目は、評価すべ:	き項目の場	合はチェックし、評価する	<き項目でない場合は空白の	りままとする。	1	
					② 対	象評価項目数を母数として計	算した比率 (%) 計算の信	直で評価す	ె.				
					3 ##	価値(	%) =該当項日数 (		) /評価対象項目数(	)			
					<ul><li>4) ½</li></ul>	お、評価対象項目数が2項目	以下の場合はC評価とする	5.					
				•	,							1	
				●判	断基準						1	_	
									らつきで判断可能	ong v. 477 3- *	ばらつきで判断不可能		
					<del></del>	90%以上	50%E		80%UF a,	80%を超える b	b	-	
					評	75%以上90%未満	i a		a b	ь'	b'	-	
					価値	60%以上75%未満			ь'	С	c	-	
					185.	60%未満	b'		С	c	c	-	
				注	試験結果	の打点数等が少な			_	_		1	

工事名						-						工事番号	
考査項目	工種	対象	a	a '		b		ь'			c	d	e
3. 出来形及び出来		71300	品質関係の試験結果のばらつき	と評価対象項目の履行状況(	(評価値	- ) から判断する。<	<判断基準					<ul><li>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切</li></ul>	<ul><li>□ 品質関係の測定方法又は測定値</li></ul>
ばえ	下水道 (シールド)		□ [関連基準、土木工事施工管理』 ※ ばらつきの判断は別紙-1	基準、その他設計図書に定め	られた訴	<b>式験</b> ]						であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
П. 品質			●評価対象項目	バミルシートで確認できる。 確認できる。 試体を採取し、 強度・スラン	ンプ・空	2気量等が確認でき	<b>ర</b> ం						
			□ コンクリートの施工で打設前の □ コンクリート供試体が当該現場 □ 裏込注入状況がデータで確認で □ 地盤改良工の施工管理状況がデ □ その他:	の供試体であることが確認で きる。	-	対象」欄にチェックボックスさ	松东五頭目片 報	【係すべき面目の様	合けチェッケー 報節する	<b>ハ</b> セネトサス			
						象評価項目数を母数として計算		計算の値で評価す					
					(4) 7c:	お、評価対象項目数が2項目5	以下の場合はC評						
				●判断	所基準			ĭ	らつきで判断可能				
								50%以下	80%U.F	80%を超える	ばらつきで判断不可能		
					評	90%以上		a ,	a '	b	b		
					価	75%以上90%未満 60%以上75%未満		a'	ь ь'	ь'	ь'		
					値	60%未満		b b'	C	c c	c		
				注 赭	化酶红甲	の打点数等が少ない	、場合等は	_		_	C		
			口原間は小計略外用のばとって						. 13191 1 - 382 CH11	щ / 0/0		- 日際間は小別ウナオフル別ウはジブ英国	
	(25) 下水道 (トンネル)		品質関係の試験結果のばらつき 「関連基準、土木工事施工管理 ※ ばらつきの判断は別紙-1		られた記	)がら刊断する。< 式験]	、刊断盘毕8	>m /				□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切 であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
			●評価対象項目 【下水道(トンネル)】  □ 支保材の規格、品質がミルン・ 土質等がデータで確認できる。 □ マンホール用品の規格、品質 □ コンクリート打設時の必要な供 □ コンクリートの施工で打設前の □ コンクリート供託体が当該現場 □ その他:	バミルシートで確認できる。 試体を採取し、 強度・スラン 清掃状況が確認できる。		空気量等が確認でき	<b>ర</b> ం						
					② 対1 ③ 評4 ④ な1	対象」欄にチェックボックスが 象評価項目数を母数として計算 価値( お、評価対象項目数が2項目8	算した比率 (%) %) =該当項日	計算の値で評価す 数(			<b>シままとする</b> 。		
				●判断	f基準			ば	らつきで判断可能				
					1	90%ELE		50%以下	80%U.F	80%を超える	ばらつきで判断不可能		
					2¥	90%以上 75%以上90%未満		a ,	a ′ b	ь ь'	ь ь'		
					価	60%以上75%未満		a ′ b	ь'	С	С		
					値	60%未満		ь b'	С	c	c		
				注 試	<b>大</b> 験結果	の打点数等が少ない	い場合等は、				<u> </u>		

工 事 名													工事番号		
考査項目	工種	対象	a	a '		b		ь'			c		d		e
3. 出来形及び出来 ばえ	(26) 下水道 (場内整備)		「肥油其淮 十十二事故工祭」	>きと評価対象項目の履行状況 理基準、その他設計図書に定⊗ - 1 ⑩参照。	!(評価 められた	値)から判断する。 < ≟試験]	<判断基	準参照>					□ 品質関係の測定方法又は測定 であったため、監督員が文書 い改善された。	≟値が不適切 ≟で指示を行	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
Π. 品質	(901 1 22 98)		●評価対象項目 【下水道(場内整備)】 □ 管渠の規格、品質がミルシーマンホール用品の規格、品 □ コンクリート製時のの規格、は □ コンクリート打設時のでは、ロコンクリート供試体が当該項 □ その他:	質がミルシートで確認できる。 品質がミルシートで確認できる c供試体を採取し、 強度・スラ	る。 ランプ・ 引できる。 ①		のままとする。								
					3		%) =蘇	当項日数 (	<ul><li>○。</li><li>) /評価対象項日数(</li></ul>						
				●判	断基準										
								(I	らつきで判断可能		ばらつきで料	and the same of the			
								50%以下	80%以下	80%を超える	119つきで	刊即作用			
						90%以上		a	a'	b	b				
					評価	75%以上90%未满		a'	b	ь'	b '				
					値	60%以上75%未満		b	ь'	с	С				
					200000	60%未満	101 A 84	ь'	C	c	С				
						果の打点数等が少ない			で判断不可能で設	価する。					
	(27) 港湾・漁港工事 浚渫・覆砂工事		品質関係の試験結果のばらつ [関連基準、土木工事施工管理 ※ ばらつきの判断は別紙-	⊃きと評価対象項目の履行状況 理基準、その他設計図書に定㎏ - 1 ⑳参照。	!(評価 められた	値)から判断する。 < ニ試験]	<判断基	準参照>					□ 品質関係の測定方法又は測定であったため、監督員が文書 い改善された。	≧値が不適切 まで指示を行	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
			□ 浮泥を巻き込まないよう置換     その他:  【港湾・漁港工事】     床堀工の施工上の注意事項     サンド・採石ドレーンが連続     サンド・採石ドレーンが連続     サンド・採石ドレーンが通過     オーバードレーンが計画が入ります。     マッドが破損など、施され、	(仕様書等による) が守られ した一様な形状に施工され、 まご破損なく正常に形成され、 まご破損なく正常に形成され、 が連続した一様な品質の施工 が連続した一様な品質の施工 が連続した一様な品質の施工 が連続した一様な品質の施工 の、仕様書に定められている可 記録により確認を目に施工。 ゆるみのないよう堅固に施工。 ゆり目地板の破損に注意して施工 等(現物照合を含む) で確 気がない。 下理方法等が整備されかつ記録 仕様書等による) が守られて し及び回航の施工上の注意事項 (仕様書等による) が守られて して仕様書等による) が守られて は工たの注意事項(仕様書等に は工たの注意事項(仕様書等による) が守られて の工たの注意事項(仕様書等による) が守られて の工たの注意事項(仕様書等による) が守られた事項	できる。 ここにない。 ここにはいい。 ここにはいい。 ここにはいい。 ここにはいい。 ここにはいい。 にはい。 にはい。 にはいい。 にはいい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。 には	。	る。 : る。 : る。	「対象」欄にチェック 対象評価項目数を母数 評価値 (	として計算した比率(%	- 該当項日数 ( ) /評価な 評価とする。	対象項日数 (ばらつきで判断)	) /	ばらつきで判断不可能		
			LI NOVIE			34- Ac	評価値	75%LI 60%LI	%以上 上90%未満 上75%未満 9%未満	50%以下 a a' b b'	80%2F a' b b' c	80%を超える b b' c			

											T # # F	
工事名			1	1							工事番号	
考査項目	工種	対象		a '		b	ь'			С	d	e
3. 出来形及び出来 ばえ	(28) 建築工事		「朋海其簿 十十二事故工祭	つきと評価対象項目の履行状況 『理基準、その他設計図書に定 − 1 ⑩参照。			<判断基準参照>				□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切 であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
Ⅱ. 品質			●評価対象項目									
			□ 材料の品質及び形状が設計									
			□ 部品の品質及び形状が設計									
			□ 室内の塵芥処理等が適切に	行われ、 納まりの事前検討も	十分実施	!され、 艮質な施工が	15何える。					
			□ その他:		(1)	Catalon Bellance and annual	55ある項目は、評価すべき項目の	MALL AL MINE	a de ver en antido e add A calendario	naha tahu	1	
							いめの項目は、計画すべき項目の 算した比率 (%) 計算の値で評価		・さ利日でない場合は至日	088690.		
								) /評価対象項日数(	)			
						なお、評価対象項目数が2項目E						
					ш						1	
				●¥	引斯基準							
								ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能		
					<u> </u>		50%ELF	80%以下	80%を超える			
					評	90%以上	a	a '	b	b		
					価	75%以上90%未満 60%以上75%未満	a'	b b'	ь'	b '		
					値	60%未満	b b'	D C	c	c c		
				24:	3.2 医会 公士		ハ場合等は、ばらつき	_	_	C		
			D SERVICE DISTANCE OF SERVICE OF					C 1-1000 1 1 - 1 HE C R1	рш 7 °У о		D SORBERS to Able to Labor to Able to the Art and Art	□ 品質関係の測定方法又は測定値
	(29) 管水路		品質関係の試験結果のはら 「関連基準、土木工事施工管 ※ ばらつきの判断は別紙	つきと評価対象項目の履行状況 『理基準、その他設計図書に定 — 1 劒参照。	と(評価)められた		□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切 であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。				
			<ul><li>評価対象項目</li></ul>									
			□ 仕様書で定められている品	質管理が実施されている。								
			□ 材料の品質規定証明書が整	備されている。								
			□ 基礎基盤の整形、清掃、湧	水処理が適切に実施されている	ちことが	確認できる。						
			□ 埋戻しが仕様書等に基づき	適切に実施されていることが確	<b>筆認でき</b>	る。						
			□ 仕様書等で示す条件により	締め固めが実施され、締め固め	)密度が	試験基準を余裕をもっ	って満足していること	が確認できる。				
			□ 管の吊り込み、据付けの際									
			□ 管の布設にあたり、規格値 □ ブレントラン・				ないよう適切な施工が	されていることが	確認できる。			
			<ul><li>□ 通水試験の結果が、基準値</li><li>□ コンクリート構造物にきめ</li></ul>		ことが催	絡でぎる。						
			□ コンクリート構造物にさめ; □ 仮設土留め等が設計書、仕		神田され	アルストレポ砕辺でき	* X					
			□ 薬液注入工の施工にあたり					£, [,=				
				工計画書が提出されていること			7M7KC WH 7 DC C	0100				
			□ その他:									
					1	「対象」欄にチェックボックスが	がある項目は、評価すべき項目の	場合はチェックし、評価する	(き項目でない場合は空白)	のままとする。	1	
					2	対象評価項目数を母数として計算	算した比率 (%) 計算の値で評価	する。				
					3	評価値(	%) =蘇当項日数 (	) /評価対象項日数 (	)			
					4	なお、評価対象項目数が2項目8	以下の場合はC評価とする。				<u> </u>	
					n Hart Her Sets							
				₩1	明斯基準		1	ばらつきで判断可能				
							50%L/F	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能		
						90%以上	a	a '	b	ь		
					評	75%以上90%未満	a '	ь	ь'	ь'	1	
					価値	60%以上75%未満		ь'	c	c	1	
						60%未満	ь'	с	с	c	1	
				注	試験結	果の打点数等が少ない	小場合等は、ばらつき	で判断不可能で評	価する。	•	1	

工事名													工事番号	
考査項目	工種	対象	a a'			b		ь,			c		d	e
3. 出来形及び出来	(30)		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項				<判断基	準参照>						
ばえ	フィルダム、		□ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設 ※ ばらつきの判断は別紙-1⑩参照。	計凶者に正る	のられた評	八颗」							であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	<ul><li>が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。</li></ul>
	ため池													-
II. 品質			●評価対象項目											
		_	□ 仕様書等で定められている品質管理が実施される。	にている。										
		_	□ 材料の品質規定証明書が整備されている。											
		_	□ 法面等が平滑に仕上げられていることが確認で											
			□ 雨水による崩壊防止対策、流入水等の排水対策				'きる。							
			<ul><li>□ 基礎基盤の整形、清掃、湧水処理が適切に実施</li><li>□ 段切り等が施工前に設計図書に基づき適切に</li></ul>											
		_	□ 盛土材料は指定する区域から採取計画に基づき				いて適切:	か管理がかさ	1 ていストレカ	『確認できる				
		_	□ 刃金土は仕様書等に基づき適切な施工がなされ							THERD CC SO				
		_	□ 鉄筋の組立、継ぎ手部、かぶりは設計図書に						man. C or					
			□ コンクリート供試体が当該現場のものであるこ				.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
			□ 堤体に接する構造物周辺の盛土、埋戻土の施工	こにあたり、	コンクリ	ートが所定の強度	に達した	ことが確認し	てから施工して	ていることが確認でき	る。			
			□ 旧施設の取り壊し、撤去にあたり形状・寸法が	4確認できる	よう管理	するとともに、残	存する場	合は漏水の原	因とならない』	よう適切な処置がなさ	れていることが確認で	きる。		
			□ その他:											
					Ø [4	Andre : Marie La	wat & z William	###~*WIO	BAHA	価すべき項目でない場合は空白	のキャレナス	┪		
						対率」欄にアエックホック。 象評価項目数を母数としてi				情) へき利日でない場合は至日(	088690.			
					(3) #F6		%) =蘇当		<ul><li>) /評価対象項目数</li></ul>	fr ( )				
						ーニ、 お、評価対象項目数が2項1			77 11 11 11 11 11 11 11	,				
					<u>ш</u>							7		
				●判	断基準									
								(:	くらつきで判断可能	it .	ばらつきで判断不可能			
								50%以下	80%以下	80%を超える				
					27	90%以上		a	a'	ь	ь	4		
					留 —	75%以上90%未治		a'	b	b '	b'	4		
					値	60%以上75%来省	řij	b	ь'	c	c	_		
				ş	計輸公田	60%未満 の打点数等が少な	1.1担合学	b'	C で判断不可能。	C で評価よる	С	-		
				土	四次和木	11 小数寺が少は	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	14、14り ノさ	C THINK I TO HE	CRIDALY Wo				

紙-139			工 尹	採点の考質	1. 頃日の	万 且 识	日 加 连	刀 八		(検 査 員)
工 事 名									工事番号	
考査項目	工種	対象	a a'	b	b'			c	d	e
出来形及び出来	(31)		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状? 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定	兄(評価値)から判断する。。	<判断基準参照>				□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切 であったため、監督員が文書で指示を行	□ 品質関係の測定方法又は測 が不適切であったため、検
ばえ	二次製品構造物		□	(の) り 4 い / こ 評 (表)					い改善された。	が修補指示を行った。
II. 品質			●評価対象項目							
			【共通】							
			□ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。							
			□ 材料の品質規定証明書が整備されている。							
			□ JIS規格外品について、仕様書等で規定する規格、品質を満							
			□ 基礎基盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されているこ □ 二次製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払ってい							
			□ 土留め、ウエルポイント等の仮設が設計図書に基づき適切に施		o à z					
			<ul><li>□ 工田の、ソエルホイント寺の収載が設計図書に差づき適切に應</li><li>□ その他:</li></ul>	工・12年されていることが確認し	ve 0.					
			【雑壁類】							
			□ 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分で空隙が生じていない。							
			□ 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等							
			□ 材料の連結またはかみ合わせが適切である。	- > ( )						
			□ 端部における地山とのすりつけが適切である。							
			<ul><li>□ 丁張りを2 重、3 重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの</li></ul>	確保のため細心の注意を払ってレ	いる。					
			□ コンクリート板擁壁工の施工にあたり、ソイルコンクリートの	配合、練混ぜ、打込み、締め固め	め及び養生が適切に行	oれている。				
			□ 補強土壁工の施工にあたり、盛土材の締め固めが適切に行われ	ている。						
			□ その他:							
			【用排水施設】							
			□ 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじ	みよく施工されている。						
			□ 不等沈下防止に配慮して、基礎地盤の締め固めが特に入念に行	われている。						
			□ 呑口、吐口、集水枡等の取り付けコンクリートにクラック等の	欠陥がない。						
			□ 施設の流末は浸食、滞留等が生じないよう処理されている。							
			□ 不等沈下の発生がなく、基礎コンクリートの亀裂や継目部から	の漏水も見られない。						
			○ 継目部のモルタルが適切に施工されている。							
			製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、敷均し、転圧が適切							
			■ 製品の継目部には隙間、ズレ等がなく、適切に施工されている。							
			□ その他:							
			【鋼製ダム】  □ 据付、組立、石詰等にあたり、鋼材への衝撃や塗装面への傷の	that are broken and the part of the						
		_	□ 坊竹、組立、右語寺にめたり、調材への衝撃や弦装面への傷の □ コンクリートの打設にあたり、施工条件、気象条件に適した運		CLAZ					
			□ コンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認で							
			□ コンクリート部にクラック等の欠陥がない。	C 'V'						
			□ 中詰石の空隙が少なくなるよう配慮して施工している。							
		_	□ 埋戻しが現場条件に応じて適切に実施されている。						I	
			□ その他:	<ul><li>① 「対象」欄にチェックボックス</li></ul>	がある項目は、評価すべき項	の場合はチェックし、評価	すべき項目でない場合は空白	のままとする。		
			【鋼矢板護岸】	② 対象評価項目数を母数として計	算した比率 (%) 計算の値でに	価する。				
			□ 鋼矢板の打ち込みにあたり、隣接矢板の共下がりを	③ 評価値 (	%) =蘇当項日数 (	) /評価対象項日数	( )			
			軽減させるための措置が適切になされている。	<ul><li>④ なお、評価対象項目数が2項目</li></ul>	以下の場合はC評価とする。					
			□ 法線に対し、出入り、よじれ、倒れ等のないよう							
			所定の位置に正しく施工されているのが確認できる。 ●	判断基準						
			□ その他:			ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能		
					50%U.F	80%U/F	80%を超える			
	1			90%以上	a	a'	b	b		
	1			評 75%以上90%未満 価	· a	b	ь'	b'		
				値 60%以上75%未満		b'	С	с		
	1			60%未満	b'	C	C	c		
	1	1	注	試験結果の打点数等が少ない	い場合等は、ばらつ	きで判断不可能で	評価する。			

工 事 名										工事番号	
考査項目	工種	対象	a a'		b	b'			c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(32) 土工事		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定 ※ ばらつきの判断は別紙-1⑩参照。			〈判断基準参照>	,			□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切 であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
	(区画整理、		W 120 SCALIMITATION I GOVE							V CAUCO	W-18/11111111111111111111111111111111111
II. 品質	農地造成)		●評価対象項目								
			□ 伐開・除根作業により発生した伐開木、根株、枝条等が通	一切に処	理されている。						
			□ 仮設道路、仮排水路等は設計図書により施工・管理されて	おり、	その出来形についても	。適切に管理され設計	以上であること	が確認できる。			
			□ 雨水等による崩落、土砂の流亡等を防止するための排水を	策が実	施されている。						
			□ 表土のはぎ取りにあたり、雑物等が混入しないよう注意す	ると共	に、表土の基礎への活	見入や散逸の防止等に	細心の注意を払	って施工されている	· .		
			□ 造成、整地等は設計図書等に基づき施工されており、仕」	がりに	ついては規格値を余裕	谷もって満足している	•				
			□ 道路の造成にあたり、横断勾配、土質等について設計図書					余裕をもって満足し	ている。		
			□ 土壌改良に使用する肥料は法律に基づく保証票が確認でき				る。				
			□ 畦畔、溝畔等は設計図書に基づき施工されており、仕上が	りは規	格値を余裕をもって満	<b>觜足している。</b>					
			□ その他:							1	
				1	「対象」欄にチェックボックスが			むすべき項目でない場合は空白	のままとする。		
					対象評価項目数を母数として計算						
						%) =該当項日数 (	) /評価対象項日数	( )			
				(4)	なお、評価対象項目数が2項目以	以下の場合はC評価とする。				<u> </u>	
			_ ¥	川斯基準							
			•	1101 265 45	:		ばらつきで判断可能				
						50%以下	80%U.F	80%を超える	ばらつきで判断不可能		
					90%以上	a	a '	ь	ь		
				評	75%以上90%未満	a '	ь	ь'	ь'		
				価値	60%以上75%未満	b	ь'	с	с		
					60%未満	ь'	С	с	с		
			注	試験結	果の打点数等が少なレ	<b>、場合等は、ばらつき</b>	で判断不可能で	評価する。			
	注場整備工 (整地工等、 暗渠排水工)		□ 開連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定案 ばらっきの判断は別紙 - 1 ②参照。  ●評価対象項目 □ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 □ 材料の品質規定証明書小整備されている。 □ 地区内の地表水及び地下水を排除しドライの状態で施工している。 □ 石碟、根株等の除去は仕様音とで施工している。 □ 表土剥ぎ取り、基盤切塞、畦畔築立、基盤整地、表土整川	ている ているは、仕 はして施 はより締 施工がる の の の	。  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul> <li>&gt;る。</li> <li>がある項目は、評価すべき項目の事した比率(%) 計算の値で評価がついば3項目数(</li> <li>以下の場合はC評価とする。</li> <li>50%以下</li> <li>a'</li> <li>b</li> </ul>	する。       ) /評価対象項目数       ばらつきで判断可能       80k以下       a'       b'	80%を超える b b' c	- ばらつきで判断不可能 b b' c	であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			\$ <del>1.</del>	計論社	60%未満 :果の打点数等が少ない	b'	で判断不可能で	c 評価する	С		
			拦	的人的实际	小~/1  小数サルツ/よV	<b>※**ロサは、はりづき</b>	אוניירו אוניד א אוניד א	ы шшу ⊘∘			

工事名											工事番号	
考査項目	工種	対象	a	a '	b		ь'			c	d	e
3. 出来形及び出来	(34)			L つきと評価対象項目の履行状況		トる。 <判断	所基準参照>				□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切	<ul><li>品質関係の測定方法又は測定値</li></ul>
ばえ	水管橋		□ [関連基準、土木工事施工管 ※ ばらつきの判断は別紙・	『理基準、その他設計図書に定》 - 1 ⑩参照。	かられた試験]						であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	<ul><li>が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。</li></ul>
											_	
II. 品質			●評価対象項目	DESCRIPTION OF THE PARTY OF THE								
			<ul><li>□ 仕様書で定められている品が</li><li>□ 材料の品質及び形状が設計[</li></ul>		明書が敷借されている	e e						
			<ul><li>□ 部品の品質及び形状が設計[</li></ul>									
			<ul><li>□ 据付基準線及び基準高は図i</li></ul>		OIL EMCAUCE	×0						
			□ 基礎ボルトの締め付けが適									
			□ 溶接施工上の注意事項(共	通仕様書)が守られている。								
			□ 塗装の塗り残し、むら等が	なく、均一性がよい。								
			□ その他:		[						1	
							(日は、評価すべき項目の場合)		き項目でない場合は空白の	りままとする。		
					<ul><li>② 対象評価項目数を母妻</li><li>③ 評価値(</li></ul>			<ul><li>(こ) /評価対象項目数(</li></ul>	)			
					<ul><li> かお、評価対象項目表</li></ul>			/ / #T BILAT 08-78 CD 984 (	,			
											<u> </u>	
				●判	断基準							
								らつきで判断可能		ばらつきで判断不可能		
					90%	nr t	50%以下	80%以下	80%を超える			
					評 75%以上	0.00	a,	a '	ь ь'	b b'	-	
					値 60%以上		b	ь'	С	c	-	
					60%	未満	ь'	С	с	с		
				注	試験結果の打点数等が	50少ない場合	今等は、ばらつきて	で判断不可能で評	面する。			
	(35)			つきと評価対象項目の履行状況		ける。 <判断	所基準参照 >				□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切	□ 品質関係の測定方法又は測定値
	柵工、筋工、		□   関連基準、土木工事施工管 ※ ばらつきの判断は別紙・	『理基準、その他設計図書に定》 −1‰参照。	りられた武駅」						であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	<ul><li>が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。</li></ul>
	伏工										_	
			<ul><li>●評価対象項目</li><li>□ 仕様書等で定められている。</li></ul>	日原郷理が宇抜されている								
			<ul><li>□ 材料の品質規定証明書が整</li></ul>									
			□ 各工種の施工に適した法面!		、障害となる根株、輔	云石等が除去	sされている。					
			□ 雨水等による崩落を防止する	るため排水対策が実施されてい	る。							
			□ 端部における地山とのすり	つけにきめ細かい注意がうかが	える。							
			□ 植生の生育に配慮した丁寧									
			<ul><li>□ 植栽木に損傷や病害虫がなった。</li><li>□ 背面土の流失防止に配慮し。</li></ul>		、苗木の生育に配慮し	ンた丁寧な施	重工がなされている	5.				
			<ul><li>□ 各工種の特徴、要点を理解</li></ul>									
			<ul><li>□ その他:</li></ul>	0( )(21(0)(2)(2)(0)(0)	•							
					① 「対象」欄にチェック	ボックスがある項	(日は、評価すべき項目の基本)	合はチェックし、評価すっ	き項目でない場合は空白の	りままとする。	1	
					② 対象評価項目数を母数	なとして計算した比	七半 (%) 計算の値で評価す	-రె.				
					③ 評価値(			) /評価対象項目数(	)			
					<ul><li>④ なお、評価対象項目表</li></ul>	はが2項目以下の場	場合はC評価とする。				<u> </u>   	
				●判	断基準							
							(I	らつきで判断可能		MA - A - MARKET TOTAL		
							50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能		
					90%		a	a'	b	b		
					評 75%以上 価 60%以上		a'	b b'	b '	b'		
					値 60%以上		ь ь'	С	c	c	-	
				注	試験結果の打点数等点	1-10-1			_		-	

工事名												工事番号	
考査項目	工種	対象	a	a '		b	ь'				С	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(36) 林道土工工事			つきと評価対象項目の履行状況 「理基準、その他設計図書に定め - 1 ⑩参照。			〈判断基準参照>		L			□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	
11. 品質			●評価対象項目  □ 伐開・伐根作業により発生、	ハように丁寧に漉き取り、適切 は、法面の崩壊や不等沈下の防 めのある場合は偏圧のかからな こより施工・管理られており、 調査確認し、適切な非水対策が 得合は、適切な予防法により工夫 募を与えず、また飛散の防止等 集高、土質等について設計図書	な場所にはいる場所にはいまります。 ないまたが、おいまたが、おいまたが、はいまたが、はいまたが、はいまたが、はいまたが、はいまたが、はいまたが、はいまたが、はいまたが、はいまたが、はいまたが、はいまたが、	機出している。  D段切等適切に施工し  E工している。  E形についても適切に  している。  こされている。  さを払って施工されて  さき適切に施工管理さ	に確認できる。 ている。 されており仕上がり	も規格値を清	足してい	ŏ.			
					2 x	「対象」欄にチェックボックスだ 対象評価項目数を母数として計8 評価値( にお、評価対象項目数が2項目と	算した比率 (%) 計算の値で %) =該当項日数 (				Dままとする。		
				●判	断基準			ばらつきで判	听可能			_	
							50%以下	80%		80%を超える	ばらつきで判断不可能		
						90%以上	a	a	,	Ь	b		
					評価	75%以上90%未満	a '	1		ь'	Ъ'		
					値	60%以上75%未満 60%未満	b b'	b	:	c	c c		
	(37) 木材木製品工事		品質関係の試験結果のばら □ 関連基準、土木工事施工管 ※ ばらつきの判断は別紙・	つきと評価対象項目の履行状況	(評価値	見の打点数等が少ない (5) から判断する。 < 試験]		きで判断不可	能で評価	する。		□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適望 であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
	(木ダム、木橋、 木土留工、		●評価対象項目									_	
	木流路工等)		□ 木材・木製品の品質が良好□ 仕様書で定められている品 組み立て等のボルト等の締め□ 木材・木製品どうしの接破□ 部品・材料等の品質及び形/ 木材・木製品による地山及で 全体的に美観がよい。□ その他:	質管理が実施されている。 め付けが確認できる。 が良好で規定どおり施工されて 状が設計図書等との適切性が確	いる。 認できる	j.							
					2 x	「対象」欄にチェックボックスだ 対象評価項目数を母数として計3 F価値( にお、評価対象項目数が 2 項目 8	算した比率 (%) 計算の値で %) =該当項日数 (				のままとする。		
				ı								7	
				●判	断基準		<u> </u>	ばらつきで判	is at the		T	4	
							50%ELF	はらつぎで判80%		80%を超える	ばらつきで判断不可能		
						90%以上	a	a	,	Ь	ь	1	
					評価	75%以上90%未満	a,	1	)	ь'	b '	1	
					値	60%以上75%未満		b	,	с	С		
						60%未満	b'		:	с	с	_	
				注:	試験結果	<b>県の打点数等が少ない</b>	ハ場合等は、ばらつ	きで判断不可	能で評価	する。			

	r		Z 1. /// //	V 1/10 ///	, , , , ,	_ /\ _		<u>,                                    </u>	_ /31 <del>/</del>	/13 20		
工事名											工事番号	
考査項目	工種	対象	a a'		b		Ъ'			c	d	e
3. 出来形及び出来	(38)		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に	大況(評価値	) から判断する。 + 1667	<判断基準参	/照>				□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切	□ 品質関係の測定方法又は測定値
ばえ	森林整備工事		□ 「関連基準、エイエ事施工官建基準、その他設計図書に ※ ばらつきの判断は別紙-1⑩参照。	止められた前	八明八						であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	<ul><li>が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。</li></ul>
	(本数調整伐、											
Ⅱ. 品質	下刈、除伐、		■評価対象項目									
	植栽等)		【共通】									
			□ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。									
			□ 材料の品質規定証明書が整備されている。									
			□ その他:									
			【植栽関係】									
			□ 地拵えの施工にあたり、木竹、低木等が地際から丁寧に刈り	払い、伐倒され	h、整理されている							
			□ 苗木の運搬にあたり、損傷や乾燥を防ぐための措置がとられ	ている。								
			□ 苗木の仮植にあたり、適切な場所を選択し、乾燥を防ぐため	の措置がとられ	hている。							
			□ 苗木は指定の品質寸法規格に適合したものであり、[樹姿]、	[樹勢]の良好	なものである。							
			□ 植穴掘りおよび植付けが適切に行われている。									
			□ 施肥及び土壌改良にあたり、施肥量が適切で、苗木の生育に	配慮した施工	がされている。							
			□ 苗木支柱は指定の品質寸法規格に適合したものであり、基礎	深さ、苗木保証	護材、苗木結束施工	が適切である。						
			□ その他:									
			【下刈、除伐関係】									
			□ 下刈、除伐にあたり、地際の低い位置で丁寧に刈り払い、伐	木が行なわれ	ている。							
			□ 下刈、除伐にあたり、植栽木、残存木への損傷がない。									
			□ 刈払った草や伐倒木が、植栽木、残存木の生育の支障となら	ないよう適切に	こ処置してある。							
			□ 除伐した伐倒木の集積・運搬・片付けが適切に処置されてい									
			□ 植栽木につる等が巻きついていない。									
			□ その他:									
		_	【枝落し関係】									
		П	□ 枝落しにあたり、樹幹や樹皮への損傷がない。									
			□ 枝落しにあたり、切り口はできるだけ幹に近く幹に平行で且	つ巫滑である								
			□ 指定された高さまで切り落とされ、枯れ枝は全て切り落とさ			ている						
			□ 枝落しの実施時期は林木の成長休止期に行なっている。	40C 937 HBC	OTOK-SEALS CAN							
			□ その他:									
			【本数調整伐関係】									
			□ 本数調整伐にあたり、選木が適切である。									
			□ 本数調整伐にあたり、伐採高が適切である。									
			□ 本数調整伐にあたり、残存木への損傷がなく、「かかり木」	のまま物器され	h ていたい							
			□ 本数調整伐にあたり、伐倒木が等高線に平行に存置され移動									
			□ 本数調整伐にあたり、戊倒木が玉切りされ枝が切られ幹が地			け供待されて	\ Z					
			□ 伐倒木を利用した筋工・柵工は丸太間の隙間が少なく杭は鉛									
			□ 作業歩道は作業に効果的な位置に開設され、切取・盛土によ					0				
			<ul><li>□ TF来少担はFF来に効米的な位置に開設され、切取・盤工によ</li><li>□ その他:</li></ul>	る傾脚刀門船!	<b>川</b> か小平に登地され	時用の用ないが	Ev.º				I	
			【防風工、堆砂工、静砂工関係】	0 [	対象」欄にチェックボック	vata z William del	年十二条 瀬口 小州	Ara	/本質日本わり根合け物内の	Note the Laster Z	<b>1</b>	
			■ 主風に対する設置角度が適切であり、主風に対し簾、						・支利日でない帰回は至日の	288690.		
				② #F	象評価項目数を母数として。 Gate /	** (%)		<ul><li>) /評価対象項日数(</li></ul>	,			
		_	支柱、粗朶の相互の設置位置が適切である。		回担( お、評価対象項目数が2項			) / 計劃対象項目級(	,			
			□ 簾、支柱、粗朶の地中への設置深さ、 畑戸トが高畑で「ハになる円かられていて	(d) /c:	ao、計劃対象項目報か2項	日以下の場合はし計	g 2 7 Q.				4	
			埋戻しが適切で十分に突き固められている。	判断基準								
				刊断基準			1-37	らつきで判断可能		I	-	
		_	緊結が堅固でゆるみがない。					80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能		
			■ 粗朶は施工直前に採取された	-	000/ 01 1		50%以下			1.		
			新鮮なもので規格に適合したものである。	評	90%以上		a,	a'	b	b	4	
			□ その他:	価	75%以上90%未行		a '	b b'	b '	b '	4	
				値	60%以上75%未注	A)	b		С	c	4	
				. 3484 c m	60%未満	L. III A Mr.	b'	C Statistic of the college	C	c	4	
			ì	土 試験結果	:の打点数等が少な	い場合等は、	はらつきて	で判断不可能で評	曲ずる。			

別紙-1⑩

## 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検 査 員)

工事名								工事番号	
考査項目	工種	対象	a	a'	b	b '	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(39) 浚渫		品質関係の試験結果のばら~ [関連基準、土木工事施工管: ※ ばらつきの判断は別紙-	Dきと評価対象項目の履行状況 理基準、その他設計図書に定め - 1 劒参照。	(評価値)から判断する。< うられた試験]	判断基準参照>		□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切 であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
11. 品質			●評価対象項目  □ 浚渫時の汚濁防止等環境保全  □ 設計図書に定められた現地の  □ 構造物周辺の浚渫では、施記  □ 浚渫土を処分場(仮置含む)  □ 淡渫土砂が処分場(仮置含む)  □ 火雑物が混入した場合は適切  □ その他:	の土質分類に応じて施工してい みの機能に支障を与えないようし に運搬する場合には、沿道住 なむ)の場外に流出しないようし	に配慮している。 民に迷惑が掛からないように	努めている。			
			●判断基準 評価値が90%以上・・・・ 評価値が75%以上90%未満・・・ 評価値が75%未満・・・・	· · b'	(計象) 欄にチェックボックス/ ② 対象評価項目数を形数として計 ③ 評価値(     なお、評価対象項目数が2項目が	%) =該当項目数 ( ) /評価対象項目			
	(40) 河床掘削(整正)		□ 関連基準、土木工事施工管 ※ ばらつきの判断は別紙- ●評価対象項目 □ 事前測量が適切になされ、排 □ 河床掘削 (整正) の範囲が通 □ 掘削時の濁水対策等環境保全	昭削量が図面で確認できる。 値切である。 とについて対策を講じている。 い適正になされ、掘削面以下を: トる場合は、運搬路周辺の騒音・ いる箇所での施工では、現場周:	乱さないように施工している 、振動等の影響を把握し対応	。 :している。		□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切 であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
			●判断基準 評価値が90%以上・・・ 評価値が75%以上90%未満・・・ 評価値が75%未満・・・	· · b'	② 対象評価項目数を母数として計算	がある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、 算した比率 (%) 計算の値で評価する。 (%) =該当項目数 (			
									品質 4

別紙-1@

## 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検 査 員)

工 事 名								工事番号	
考査項目	工種	対象	a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び出来ばえ	(41) 土砂運搬		品質関係の試験結果のばら~ [関連基準、土木工事施工管] ※ ばらつきの判断は別紙-	つきと評価対象項目の履行状況 理基準、その他設計図書に定め - 1 ⑩参照。	(評価値)から判断する。< ちられた試験]	判断基準参照>		□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
Ⅱ.品質			評価対象項目  ] 事前測量が適切になされ、排  ] 運搬が適切なルートで行われ  ] 過積載防止対策を適切に講じ  ] 運搬するダンプ台数が資料に  ] 掘削土を工事現場より搬出す  ] 市街地等の人家が連続してい  ] 夾雑物が混入した場合は適ら  ] その他:	れている。 こている。 こより確認できる。 ける場合は、運搬する場合は、: いる箇所での施工では、現場周					
		評イ評イ	判断基準 価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • b'		がある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、 算した比率(%) 計算の値で評価する。 %) =該当項目数( ) /評価対象項目 以下の場合はC評価とする。			
	(42) 除草		品質関係の試験結果のばらへ [関連基準、土木工事施工管 ] ※ ばらつきの判断は別紙ー	つきと評価対象項目の履行状況 理基準、その他設計図書に定め - 1 図参照。	(評価値)から判断する。 < らられた試験]	判断基準参照>		□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切 であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
			評価対象項目  ] 事前測量が適切になされ、  [] 除草の範囲が適切である。 ] 施工にあたり、路面等への専  ] 刈取った草等を交通に支障が  ] 刈取り、集積、積込等の作業  ] 刈り取った草等が適切に処分  ] その他:	草の飛散防止が適切になされて がないように、速やかに処理し 養が適切に行われていることが	ている。				
		評化	判断基準 価値が90%以上・・・・・ 価値が75%以上90%未満・・・ 価値が75%未満・・・・・・	• • b'		がある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、、 算した比率(%)計算の値で評価する。 %) = 該当項目数(			
									品質 4

別紙-1@

## 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検 査 員)

工 事 名								工事番号	
考査項目	工種	対象		a'	b	b '	С	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(43) ブロック据付・ 撤去		品質関係の試験結果のばら- [関連基準、土木工事施工管 ※ ばらつきの判断は別紙・	つきと評価対象項目の履行状況 許理基準、その他設計図書に定め - 1 ⑩参照。	(評価値)から判断する。< られた試験]	判断基準参照>		□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切 であったため、監督員が文書で指示を行 い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査員 が修補指示を行った。
Ⅱ. 品質			●評価対象項目					]	
			□ 事前測量が適切になされ、	ブロックの据付、撤去個数が図ⅰ	面で確認できる。				
			□ プロックの運搬が損傷や衝	撃を与えないように適切に行われ	れている。				
			□ ブロック据付面の整地また!	は、既存ブロックの据直しが適	切に行われている。				
			□ ブロックがワイヤー等で損化	傷する恐れがある場合は、その話	部分を保護していることが確	認できる。			
			□ ブロックの空隙に間詰石等						
			□ ブロックの据付にあたって、						
			□ ブロックに異物が付着してい		いる。				
			□ 海上施工の場合、船の安定	等の安全対策を講じている。					
			□ その他:		O SHALMING BY SHI	ぶある項目は、評価すべき項目の場合はチェックし、1		1	
					<ol> <li>「対象」欄にチェックボックス</li> <li>対象評価項目数を母数として計算</li> </ol>		予備すべき項目でない場合は至日のままとする。		
			●判断基準			* C/これ年 (A) 計算の E C計画する。 %) = 該当項目数 ( ) /評価対象項目	<b>*</b> ( )		
			評価値が90%以上・・・・・・	• • h	<ul><li>① なお、評価対象項目数が2項目</li></ul>		34.		
			評価値が75%以上90%未満・・・					<del> </del>	
			評価値が75%未満・・・・・・						

## 出来ばえ工種一覧

番号	工種名	備考
	コンクリート構造物工事	
(4)	砂防構造物工事	
(1)	海岸工事	
	トンネル工事	
(2)	土工事(盛土・築堤等)	
(3)	土工事(切土)	
(4)	護岸・根固・水制工事	
(5)	鋼橋工事(RC床版工はコンクリート構造物に準ずる)	
(6)	地すべり防止工事	
(7)	舗装工事	
(8)	法面工事	
(9)	基礎工事(地盤改良等を含む)	出来ばえ
(10)	コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)	1
(11)	塗装工事(工場塗装を除く)	
(12)	植栽工事	
(13)	防護柵(網)工事	
(14)	標識工事	
(15)	区画線工事	
(16)	機械設備工事	
(17)	電気設備工事	
(18)	維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)、修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	
(19)	電線共同溝工事	
(20)	通信設備工事、受変電設備工事	
(21)	その他の工事又は合併工事	
(22)	下水道工事(開削)、(推進)	
(23)	下水道工事(シールド)、(トンネル)	
(24)	下水工事(場内整備)	
(25)	港湾・漁港工事	
(26)	浚渫·覆砂工事	
(27)	建築工事	
(28)	浚渫 河中根型/教工)	
(29) (30)	河床掘削(整正) 土砂運搬	
(31)	ない。 ないでは、 はいでは、 ないでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はい	
(32)	ブロック据付・撤去	出来ばえ
(33)	管水路	2
(34)	フィルダム・ため池	
(35)	二次製品構造物	
(36)	土工事(区画整理、農地造成)	
(37)	ほ場整備工(整地工等、暗渠排水工)	
(38)	水管橋	
(39)		
(40)	林道土工工事	
(41)		
(42)	森林整備工事(本数調整伐、下刈、除伐、植栽等)	

## 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

工 事 名				工 事 番 号	
		a	b	С	d
考 査 項 目	工 種	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
出来形	(1)	●評価対象項目		●判断基準	
及び	□ コンクリート構造物工事	□ コンクリート構造物の表面状態が良い。		該当5項目以上・・・a	
出来ばえ	□ 砂防構造物工事	□ コンクリート構造物の通りが良い。		該当4項目・・・・b	
	□ 海岸工事	□ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。		該当3項目・・・・・ c	
Ⅲ. 出来ばえ	□ トンネル工事	□ クラックが無い。		該当2項目以下・・・d	
		□ 漏水が無い。			
		□ 全体的な美観が良い。			
	(2)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 土工事	<ul><li>□ 仕上げが良い。</li></ul>		該当4項目以上・・・a	
	(盛土・築堤等)	□ 通りが良い。		該当 3 項目 · · · · · b	
		□ 天端及び端部の仕上げが良い。		該当2項目・・・・c	
		□ 構造物へのすりつけなどが良い。		該当1項目以下・・・d	
		□ 全体的な美観が良い。			
	(3)	●評価対象項目	<u> </u>	●判断基準	·
	□ 土工事(切土)	□ 規定された勾配が確保されている。		該当5項目以上・・・a	
		□ 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されて	こいるなど、適切に施工されている。	該当 4 項目・・・・ b	
		□ 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に	に施工されている。	該当3項目・・・・c	
		□ 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行	īわれている。	該当2項目以下・・・d	
		□ 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施	E工されている。		
		□ 全体的な美観が良い。			
	(4)	<ul><li>評価対象項目</li></ul>		●判断基準	
	□ 護岸・根固・水制工事	□ 通りが良い。		該当4項目以上・・・a	
		□ 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。		該当3項目・・・・b	
		□ 天端及び端部の仕上げが良い。		該当2項目・・・・ c	
		□ 既設構造物とのすりつけが良い。		該当1項目以下・・・d	
	(5)	□ 全体的な美観が良い。 ●評価対象項目		●判断基準	
	□ 鋼橋工事	●評価対象項目 □ 表面に補修箇所が無い。		▼刊刷基準 該当4項目以上・・・a	
	(RC床版工はコンクリート	□ 部材表面に傷及び錆が無い。		該当3項目・・・・b	
	構造物に準ずる)	□ 溶接に均一性がある。		該当2項目・・・・・c	
	情垣物(ご単する)	□ 塗装に均一性がある。		該当1項目以下・・・d	
		全体的な美観が良い。		成 1 有 1 次 1 次 1 次 1 次 1	
	(6)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 地すべり防止工事	□ 地山との取り合いが良い。		該当3項目以上・・・a	
		□ 天端、端部の仕上げが良い。		該当2項目・・・・b	
		□ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さ	が伺える。	該当1項目・・・・c	
		□ 全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・d	
	(7)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 舗装工事	□ 舗装の平坦性が良い。		該当5項目以上・・・a	
		□ 構造物の通りが良い。		該当 4 項目 • • • • b	
		□ 端部処理が良い。		該当3項目・・・・・c	
		□ 構造物へのすりつけ等が良い。		該当2項目以下・・・d	
		□ 雨水処理が良い。			
		□ 全体的な美観が良い。			
	(8)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 法面工事	□ 通りが良い。		該当3項目以上・・・a	
		□ 植生、吹付等の状態が均一である。		該当2項目・・・・b	
		□ 端部処理が良い。		該当1項目・・・・c	
		□ 全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d	

## 別紙-16

## 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

				工 事 番 号	
查項目	工種	a	b	c	d
且次口		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
来形	(9)	●評価対象項目		●判断基準	
ブ	□ 基礎工事	□ 土工関係の仕上げが良い。		該当3項目以上・・・a	
来ばえ	(地盤改良等を含む)	□ 通りが良い。		該当2項目・・・・b	
ļ		□ 端部及び天端の仕上げが良い。		該当1項目・・・・ c	
出来ばえ		□ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが	伺える。	該当項目なし・・・・d	
		※地盤改良はc評価とする。			
	(10)	●評価対象項目		●判断基準	
ļ	□ コンクリート橋上部工事	□ コンクリート構造物の表面状態が良い。		該当5項目以上・・・a	
ļ	(PC及びRCを対象)	□ コンクリート構造物の通りが良い。		該当4項目・・・・b	
ļ		□ 天端及び端部の仕上げが良い。		該当3項目・・・・・c	
ļ		支承部の仕上げが良い。		該当2項目以下・・・d	
ļ		□ クラックが無い。		数32分口数1····································	
		全体的な美観が良い。			
	(11)	●評価対象項目		●判断基準	
ļ	□ 塗装工事	□ 塗装の均一性が良い。		該当4項目以上・・・a	
ļ	(工場塗装を除く)	□ 細部まできめ細かな施工がされている。		該当3項目・・・・b	
ļ	(工物室表を除く)				
ļ		補修箇所が無い。		該当2項目・・・・・c	
ļ		□ ケレンの施工状況が良好である。 □		該当1項目以下・・・d	
		全体的な美観が良い。			
	(12)	●評価対象項目		●判断基準	
ļ	□ 植栽工事	□ 樹木の活着状況が良い。		該当3項目以上・・・a	
		□ 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。		該当2項目・・・・b	
ļ		<ul><li>□ 支柱の取り付けが堅固である。</li></ul>		該当1項目・・・・・c	
		全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d	
	(13)	●評価対象項目		●判断基準	
ļ	□ 防護柵 (網) 工事	□ 通りが良い。		該当5項目以上・・・a	
ļ		□ 端部処理が良い。		該当 4 項目 • • • • • b	
ŀ		□ 部材表面に傷及び錆が無い。		該当3項目・・・・c	
ļ		□ 既設構造物等とのすりつけが良い。		該当2項目以下・・・d	
ļ		□ きめ細やかに施工されている。			
		□ 全体的な美観が良い。			
	(14)	●評価対象項目		●判断基準	
ŀ	□ 標識工事	□ 設置位置に配慮がある。		該当4項目以上・・・a	
ı		□ 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。	₹v.°	該当3項目・・・・b	
		□ 標識板の支柱に変色が無い。		該当2項目・・・・・c	
		□ 支柱基礎が入念に埋め戻されている。		該当1項目以下・・・d	
		□ 全体的な美観が良い。		200211	
	(15)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 区画線工事	□ 塗料の塗布が均一である。		該当4項目以上・・・a	
		□ 視認性が良い。		該当3項目・・・・b	
		□ 接着状態が良い。		該当2項目・・・・・c	
	I	□ 施工前の清掃が入念に実施されている。		該当1項目以下・・・d	
j.		一 旭工品の信仰がうないとを過じれている。		EAT 2 ADOL 1	

- 1 6		上 事 成 績 採 点 の 考 釒	査項目の考査項目別	連 用 表	(検査員)
工事名				工事番号	
* 查項目	工種	a	b	С	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
出来形 及び 出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	(16) □ 機械設備工事	●評価対象項目  □ 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制: □ きめ細かな施工がなされている。 □ 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 □ 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮が; □ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当 4 項目以上・・・ a 該当 3 項目・・・・ b 該当 2 項目・・・・ c 該当 1 項目以下・・・ d	
	(17) □ 電気設備工事	●評価対象項目  □ きめ細やかな施工がなされている。 □ 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等  助作状態において、電気的及び機械的な異常が無く、 □ ケーブル等の接続方法及で取納状況が適切である。 □ 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮が □ 全体的な美観が良い。	総合的な機能及び運用性が良い。	●判断基準 該当 5 項目以上・・・ a 該当 4 項目・・・・ b 該当 3 項目・・・・ c 該当 2 項目以下・・・ d	
	(18)  維持工事(清掃工、除草工、付物工、除雪、忘急処理等)、 修繕工事(橋脚補強、耐震補強 落橋防止等)	●評価対象項目  □ 小構造物等にも注意が払われている。 □ きめ細かな施工がなされている。 □ 既設構造物とのすりつけが良い。 □ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当 3 項目以上・・・ a 該当 2 項目・・・・ b 該当 1 項目・・・・ c 該当項目なし・・・ d	
	(19) □ 電線共同溝工事	●評価対象項目  □ 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が通  □ だいけれトコンクリートプロックの蓋に、がたつきや不要な  □ 施工管理記録などから、不可視部分の出来映え  □ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・b 該当1項目・・・・c 該当項目なし・・・・d	
	(20) □ 通信設備工事 受変電設備工事	●評価対象項目  □ 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がされて  公共物として、安全性の確保、環境及び維持管  □ 動作状態において、電気的及び機械的な異常が  当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制  □ 操作、保守点検等の容易さを確保するための配  □ 全体的な美観が良い。	里等への配慮がなされている。 無く、総合的な機能や運用性が良い。 され、総合的な性能向上への配慮がなされている。	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・ b 該当3項目・・・・ c 該当2項目以下・・・ d	
	(21)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ その他の工事			該当4項目以上・・・a	
	又は				
	合併工事				
				三 該当1項目以下・・・d	
		※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、診	価対象項目は最大5項目とする。	_	

## 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

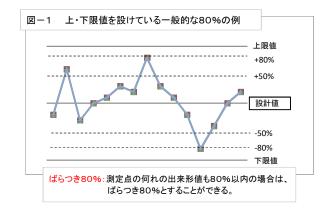
工 事 名				工事番号	
考査項目	工 辞	a	b	С	d
<b>写 笡 垻 日</b>	工 種	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形	(22)	●評価対象項目		●判断基準	
及び	□ 下水道工事	□ 管渠の通りが良い。		該当4項目以上・・・a	
出来ばえ	(開削) 、(推進)	□ マンホールの仕上げが良い。		該当3項目・・・・b	
		□ クラックが無い。		該当2項目・・・・・c	
Ⅲ. 出来ばえ		□ 漏水が無い。		該当1項目以下・・・d	
	()	全体的な美観が良い。		A startier date Nife.	
	(23)	●評価対象項目		●判断基準	
	□下水道工事	□ コンクリート構造物の表面状態が良い。 □ コンクリート構造物の表面状態が良い。		該当6項目以上・・・a	
	(シールド)、(トンネル)	□ コンクリート構造物の通りが良い。 □ マンホールの仕上げが良い。		該当 4 項目・・・・ b 該当 3 項目・・・・ c	
		□ 端部の仕上げが良い。		該当2項目以下・・・d	
		□ クラックが無い。		W32-818/1	
		□ 漏水が無い			
		□ 全体的な美観が良い。			
	(24)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 下水道工事	□ コンクリート構造物の通りが良い。		該当4項目以上・・・a	
	(場内整備)	□ マンホールの仕上げが良い。		該当3項目・・・・・b	
		□ 天端及び端部の仕上げが良い。		該当2項目・・・・・c	
		□ 規定された勾配が確保されている。		該当1項目以下・・・d	
		□ 全体的な美観が良い。			
	()	a for head 1 for each m		A distributed with No.	
	(25)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 港湾・漁港工事	□ コンクリート構造物の表面状態が良い。 □ コンクリート構造物の通りが良い。		該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・・b	
		□	· Z	該当3項目・・・・・ロ 該当2項目・・・・・c	
		□ 天端及び端部の仕上げが良い。	- 00	該当1項目以下・・・d	
		□ クラックが無い。		Mar vilvi	
	(26)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 浚渫・覆砂工事	□ 全体的な仕上がりが、 平均化されている。		該当3項目以上・・・a	
		□ 施工管理記録等から不可視分の出来ばえの良さがうかがえる。		該当2項目・・・・b	
		□ 着手、 完了時の測量が整備されている。		該当1項目・・・・・c	
				該当項目なし・・・・d	
	(27)	●評価対象項目		▼和  乾二年  海	
	□ 建築工事	□ 建築物の通り、形状が良い。		●判断基準 該当 6 項目以上・・・a	
	口 是来工事	□ 仕上げの均一性、平坦性が良い。		該当4項目以上・・・b	
		□ 機能面での配慮が適切である。		該当3項目以上・・・c	
		□ 防水の納まりが良好である。		該当2項目以下・・・d	
		□ 建具の取り付け、 作動が良い。			
		□ 関連工事との取り合いが良い。			
		□ 全体的な美観が良い。			
	(28)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 浚渫	□ 全体的な仕上がりが、平均化されている。。		該当3項目以上・・・a	
		□ 施工管理記録等から不可視分の出来ばえの良さがうかがえる。		該当2項目・・・・・b	
		□ 浚渫土砂が適切に処理されている。		該当1項目・・・・・c	
		□ 完成直後の測量結果・写真等が整備されている。 ■		該当項目なし・・・・d	
	(29)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 河床掘削(整正)	□ 全体的な仕上がりが、平均化されている。		該当4項目以上・・・a	
		□ 構造物の周囲もきめ細かく施工されている。		該当3項目・・・・b	
		□ 上下流とのすりつけが良い。		該当2項目・・・・・c	
		□ 掘削土砂が適切に処理されている。		該当1項目以下・・・d	
	1	□ 完了直後の測量結果・写真等が整備されている。			

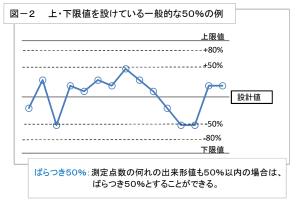
· 列紙─ 1 48	1	上 尹 双 祺 休 点 の ろ 宜 垻		1	(検 食 貝)
工事名				工事番号	
考查項目	工種	a	b	С	d
	,	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
. 出来形 及び	(30) □ 土砂運搬	●評価対象項目 □ 全体的な仕上がりが平均化されている。		●判断基準 該当3項目以上・・・a	
出来ばえ		□ 施工管理記録等から不可視分の良さがうかがえる。		該当2項目・・・・b	
		□ 運搬土砂が適切に処理されている。		該当1項目・・・・c	
Ⅲ. 出来ばえ		□ 完了直後の測量結果・写真等が整備されている。		該当項目なし・・・・d	
	(31)	●評価対象項目		●判断基準	
	□除草	□ 全体的な仕上がりが、平均化されている。		該当3項目以上・・・a	
		□ 法面等に刈り残しが無い。		該当2項目・・・・b	
		□ 構造物の周囲もきめ細かく施工されている。。		該当1項目・・・・・c	
		□ 完了直後の測量結果・写真等が整備されている。		該当項目なし・・・・d	
	(32)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ ブロック据付・撤去	□ 全体的な仕上がりが、平均化されている。		該当4項目以上・・・a	
		□ 通りが良い。		該当3項目・・・・b	
		□ 材料のかみ合わせが良く、クラックが無い。		該当2項目・・・・・c	
		□ 天端及び端部の仕上げが良い。 □ 既設構造物とのすりつけが良い。		該当1項目以下・・・d	
	(33)	<ul><li>●評価対象項目</li></ul>		●判断基準	
	□管水路	□ 管の通りが良い。		該当5項目以上・・・a	
		□ 小構造物にも細心の注意が払われている。		該当4項目・・・・b	
		□ 構造物の通りが良い。		該当3項目・・・・・c	
		□ 舗装復旧等原形復旧の仕上がりが良い。		該当2項目以下・・・d	
		□ 付帯コンクリート構造物にクラックが無い。			
	(34)	□ 全体的な美観が良い。 ●評価対象項目		●判断基準	
	(34) □ フィルダム・ため池	●評価対象項目 □ 土工の仕上げが良い。		●刊断基準 該当9項目以上・・・a	
	ロッイルグム・ため他	□ 土工の通りが良い。		該当7項目以上・・・b	
		□ 土工の構造物へのすりつけが良い。。		該当5項目以上・・・c	
		□ 吹付け(植生、コンクリート等)の状態が均一である。		該当4項目以下・・・d	
		□ コンクリート構造物の表面状態が良い。			
		□ コンクリート構造物の通りが良い。			
		□ 天端及び端部の仕上げが良い。			
		□ クラックが無い。			
		□ 漏水が無い。			
		□ 施設の通りが良い。(排水側溝、フェンス等)			
		全体的な美観が良い。			
	(35)	●評価対象項目		●判断基準 該当5項目以上・・・・・	
	□ 二次製品構造物	<ul><li>□ 構造物の通りが良い。</li><li>□ 材料の連結、かみ合わせが良い。</li></ul>		該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・・b	
		□ 天端及び端部の仕上げが良い。		該当4項日・・・・・ D 該当3項目・・・・・ C	
		□ クラック、漏水が無い。		該当2項目以下・・・d	
		□ 土工の仕上げが良い。		MA 2 MINI	
		□ 全体的な美観が良い。			

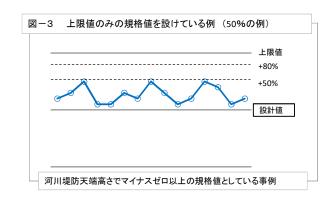
工 事 名				工事番号	
* * * -	T 45	a	Ъ	С	d
考查項目	工種	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形	(36)	●評価対象項目		●判断基準	
及び	□ 土工事	□ 切盛の勾配が確保され、法面の仕上げが良い。		該当6項目以上・・・a	
出来ばえ	(区画整理、農地造成)	□ 整地、均平の仕上げが良い。		該当4項目以上・・・b	
ЩЖи	(四面是是、展地坦风)	□ 畦畔、溝畔等の仕上げが良い。		該当3項目・・・・・c	
Ⅲ. 出来ばえ		□ 構造物へのすりつけが良い。		該当2項目以下・・・d	
Ⅲ. 山米はん				該ヨ 2 項目以下・・・ a	
		□ 植生、吹き付け等の状態が均一である。			
		□ 排水路の通りが良い。			
	()	全体的な美観が良い。		Author data Mile	
	(37)	●評価対象項目		●判断基準	
	□は場整備工	□ 畦畔、溝畔等の仕上げが良い。		該当7項目以上・・・a	
	(整地工等、暗渠排水工)	□ 均平度が良い。		該当5項目以上・・・b	
		□ 土工の仕上げが良い。		該当4項目・・・・・c	
		□ 土工の通りが良い。		該当3項目以下・・・d	
		□ 土工の構造物へのすりつけなどが良い。			
		□ 用・排水路の通りが良い。			
		□ コンクリート構造物の通りが良い。			
		□ 全体的な美観が良い。			
	(38)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 水管橋	□ 表面に傷、錆、補修箇所が無い。		該当7項目以上・・・a	
		□ 溶接、塗装組立の均一性が良い。		該当5項目以上・・・b	
		□ 管の通りが良い。		該当4項目・・・・・c	
		□ コンクリート構造物の表面状態が良い。		該当3項目以下・・・d	
		□ コンクリート構造物の通りが良い。		M-10 XHVI	
		□ クラックが無い。			
		□ 天端及び端部の仕上げが良い。			
		□ 全体的な美観が良い。			
	(39)	●評価対象項目		●判断基準	
	□柵工、筋工、伏工	□ 通りが良い。		該当3項目以上・・・a	
	□ 柵上、肋上、八上			該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・・b	
		□ 材料の連結、かみ合わせが良い。			
		□ 構造物へのすりつけが良い。		該当1項目・・・・・c	
		□ 全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d	
	(40)	▲ 3T/m+1 /4-75 □		Alex Mort Hele Self-	
	(40)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 林道土工工事	□ 切取勾配が確保され、法面の仕上げが良い。		該当6項目以上・・・a	
		□ 盛土勾配が確保され法面の仕上げが良い。		該当4項目以上・・・b	
		□ 道路の形状 (線形、拡幅、縦・横断勾配、土側溝)		該当3項目・・・・・c	
		□ 構造物へのすりつけ及び良質土砂等の流用状況が良	لاً لاً الله الله الله الله الله الله ال	該当2項目以下・・・d	
		□ 土工の仕上げが良い。			
		□ 残土処理等が適切である。			
		□ 全体的な美観が良い。			
	(41)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 木材木製品工事	□ 通りがよく、バランスが保たれている。		該当5項目以上・・・a	
	(木ダム、木橋、	□ 金具等規格にあったものが使用され統一性が良い。		該当 4 項目 • • • • b	
	木土留工、木流路工等)	□ 形状・寸法等が確保され統一性が良い。		該当3項目・・・・c	
		□ コンクリート構造物へのすり付け等が良い。		該当2項目以下・・・d	
		□ 地山への密着性が確保され仕上げが良い。			
		□ 全体的な美観が良い。			
	(42)	●評価対象項目		●判断基準	
	□ 森林整備工事	□ 植栽、本数調整伐、下刈、除伐その他の保育作業が	S工夫され仕上げが良い	該当7項目以上・・・a	
	(本数調整伐、下刈、	□ (位倒木、枝条等が適切に処置されている。	エンく C 4 0   上 T 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	該当り項目以上・・・b	
	(本級調金IX、下列、 除伐、植栽等)	□ 植栽木や残存木が健全で、密度が均一な状況で良好	スか仕春が期待できる。 -	該当4項目・・・・・c	
	尓 人、1世秋寺/	□ 個板本で残存本が産生で、密度が均一な状况で良好 □ 区域内の作業がムラがなく均一に行われている。	「水工月が物付けるる。	該当4項日・・・・・C 該当3項目以下・・・d	
		-		該ヨ Φ 垻日以 Γ・・・ α	
		□ 伐倒木を利用した筋工・柵工の仕上げが良い。	7.1.1 元226 白 、		
		□ 作業歩道は横断方向路面が水平で路肩の崩れが無く □ ************************************	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		出来ばえ 2
		□ 防風工・堆砂工・静砂工は直線で通りが良く、高さ	か測い、埋戻しが適切で仕上げが艮い。		
		□ 全体的な美観が良い。			

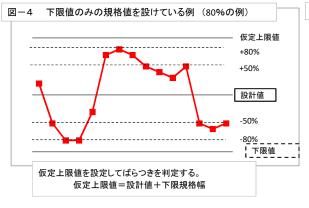
## 別紙-1 50

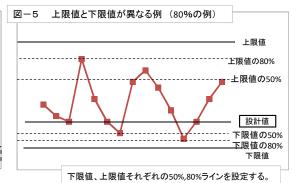
※出来形及び品質の測点数が5点以上の場合は、ばらつき判定の対象とすることができる。 出来形及び品質のばらつきの考え方※複数の工種がある場合は、当該工事の主要な工種又は代表する工種について、ばらつき判定する。 ※社内規格値に基づき管理する場合、ばらつきの判定割合(50%又は80%)は、社内規格値の割合とする。











# 考查項目別運用表 (建築・設備工事)

## 工事成績採点の考慮項目の考査項目別運用表(建築・設備工事)

別紙一1① 「記入方法」該当する項目の口参

別裁一Ⅰ① [記入方法]該当9	別株一Ⅰ∪ [記入方法]該当する項目の□を■にする。	[ <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del>				(担当監督員)
考查項目		e · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	q	υ	Р	Φ
1. 施工体制	I. 施工体制一般	施工体制が優れている	施工体制が良好である	施工体制が適切である	施工体制がやや不適切である	施工体制が不適切である
		[評定対象項目]   ① ① ① ① ① ① ① ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	請業者を含め、書面に明確に記載されている。 適切に記載されている。		□ 施工体制一般に関して、監督員から の文書による改善指示を行った。	<ul><li>□ 施工体制一般に関して、監督員から の文書による改善指示に従わなかっ た。</li></ul>
			③安全管理体制が、書面に適切に記載されている。 ④現場の施工体制(品質管理、安全管理を含む)が、書面と一致している。		上記該当事項があれば •••• d	上記該当事項があれば •••• ө
		□ □ ⑤工事規模に応じた人員、機械配置がなされが □ □ ⑥建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下	⑤工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工している。 ⑥建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、	もエレている。 請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。	い簿等により適切に把握されている。	
		○ ⑦元請業者が、下請業者の。   ○ ⑧現場における施工体制に   ○ ◎ 「● 「 ● 「 ● 「 ● 「 ● 「 ● 「 ● 「 ● 「 ● 「	⑦元請業者が、下請業者の施工結果を十分に検査している。 ⑧現場における施工体制に対し、本店等による十分な支援体制を整え実施している。 ⑨「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 ⑪その他 理由:	.ている。 い。または指示事項に対する改善が速やか!	に実施されている。	
		評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30%未辦 b ② 30%未辦 c ③	「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値(%) = (評価数 0/対象評価項目数 0) ×100	の場合にチェックし、評価すべき項目でない、 七率(%)計算の値で評価する。	場合は空白のままとする。
•	11 配置技術者	a	٤	ι	7	a
	I {	配置技術者として優れている	配置技術者と	配置技術者として適切である。	配置技術者としてやや不適切である	配置技術者として不適切である
	(現場代理人等)		と体の把握ができている。		□ 配置技術者に関して、監督員から文書による改善指示を行った。	□ 配置技術者に関して、監督員からの 文書による改善指示に従わなかっ ナ
		②現場代理人として、監督員	②現場代理人として、監督員への報告、協議等を書面で行っている。 ③契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っている。 ④静岡県建設工事請負契約約款(以下、「契約約款」という)第18条第1項に基づく通知を行っている。	€づく通知を行っている。	上記該当事項があれば・・・・ d	た。 上記該当事項があれば ・・・・ e
		□ ⑤書類及び資料が適切に整理されている。 □ ⑥作業環境、気象、地質条件等の把握及び □ □ ◎作業環境、気象、地質条件等の把握及び	<ul><li>⑤書類及び資料が適切に整理されている。</li><li>⑥作業環境、気象、地質条件等の把握及び対応に努めている。</li></ul>			
			sを送仕い、配直している。 5を選任し、配置している。 4がなどには、 ウェン・サード かい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
			①士仕「監理人を信合して女をおります」、後が、後上にいる。 (物工人権)、施工人が、おけ、第一を表しては、の、 (物工人権)、施工人が、といる。			
			①施工寺に汗フ症来人はエスをひろく工寺を進めている。 ⑫「施工プロセス」チェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 ⑬その他 理由:	。または指示事項に対する改善が速やかに	実施されている。	
		評価対象項目の合計のうち該当項目が30%以上・・・	<i>e</i>	「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェック」、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。	り場合にチェックし、評価すべき項目でないは	************************************
		数当項目が80%以上90%未満・・・ 該当項目が80%以上80%未満・・・ 対当項目が60%以上80%未満・・・ **********************************	) (O) (O) ,	第28年 $(3.5)$ (3.1 ) (4.5) (	七華(%)計算の値で評価する。	
		以当項日からの水水利ででででで、 ※1. 建築一式工事を施工する場合において、資格を有していれば、専門技術者を兼ね?	一式 Sこと	υ 工事の内容である他の建設工事(専門工事)を自ら施工する時は、当該専門工事に関し資格を有する者を置くものとする。なお、主任技術者が当該専門工事の ができる。	門工事に関し資格を有する者を置くものとす	る。なお、主任技術者が当該専門工事の
		※2. 作業主任者を専任すべき作	※2. 作業主任者を専任すべき作業は、労働安全衛生法施行令第6条による。			

(担当監督員)	Φ .	施工管理が不適切である	□ 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当事項があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	合は空白のままとする。		e 工程管理が不適切である	工程管理心事のである  □ 工程管理に関し、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当事項があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	Р	施工管理がやや不適切である	□ 施工管理に関して、監督員から文書 による改善指示を行った。 による改善指示を行った。 上記該当事項があれば・・・・・ d	<ul> <li>ご行っている。</li> <li>図られている。</li> <li>る。</li> <li>る。</li> <li>る。</li> <li>る。</li> <li>る。</li> <li>高。</li> <li>高。</li> <li>高。</li> <li>高。</li> <li>高。</li> <li>高が明している。</li> <li>市事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。</li> <li>市事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。</li> <li>「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</li> <li>「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</li> </ul>	2 举(%6)計算の値で評価する。	d 工程管理がやや不適切である	工程管理がやや不適切である による改善指示を行った。 上記該当事項があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	0	施工管理が適切である	いる。 れている。		引除項目のある場合は削除後の評価項目数を均数として、比率(%)計算の値で評価する。評価値 (%) = (評価数 0/対象評価項目数 0)×100	c 工程管理が適切である	工程管理が優れている 工程管理が優れている。
	P	施工管理が良好である	E対象項目] (引契約約款第18条第1項に基づく設計図書の照査結果について、協議を行っている。 ②施工計画書が、工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含む)に提出されている。 ③施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。 ①施工計画書に、出来・場営簿をのナトかの記書がある。	(5版工計画書に、出本が下出資庫本が、この記載がありる。 (5版工計画書に、出本が工程の出来が、この記載がありる。 (5版工計画書に基づき、関連工事と展帯な、調整が十分に図られている。 (6版工図帳にあたり、関連工事と展帯な、調整が十分に図られている。 (30工事打合せ書等の工事記録の整備が、適時に行われている。 (30工事の施工の検査・確認の報告が、適時に行われている。 (30、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10	© © g o p	b 工程管理が良好である	
-	o .	施工管理が優れている	評定対象項目] □ ①契約約款第18条第1項に基づ<設計図書の照査結果について、協議、 □ ②施工計画書が、工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含か)に □ ③施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。 □ ①施工計画書が、出来が		該当項目が80%以上90%未満・ 該当項目が60%以上80%未満・ 該当項目が60%以上80%未満・	a 工程管理が優れている	
-	<b>≪</b> 衣					<u>l</u>	
	細別	I. 施工管理			1	I. 工程管理	
紙-1②	考查項目	. 施工状況					

別紙—1③

(担当監督員)	Φ	安全対策が不適切である。	<ul><li>□ 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</li><li>上記該当事項があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>		易合は空白のままとする。	Φ	対外関係が不適切である	<ul><li>□ 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</li><li>上記該当事項があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>		<b>易合 は空白のままとする。</b>
	d	安全対策がやや不適切である	<ul><li>□ 安全対策に関して、監督員から文書による改善指示を行った。</li><li>上記該当事項があれば・・・・ d</li></ul>	きれている。	「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値(%) = (評価数 0/対象評価項目数 0)×100	р	対外関係がやや不適切である	<ul><li>□ 対外関係に関して監督員から文書による改善指示を行った。</li><li>上記該当事項があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	されている。	「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値(%) = (評価数 0/対象評価項目数 0)×100
	C	安全対策が適切である	□ 安全対策に関して、法令遵守の措置 内容に該当する場合。 上記該当事項があれば・・・・ c	施し、記録が整備されている。 を整備している。 全管種の指置をしている。 全管理の指置をしている。 と人の行動範囲の分離措置がなされている。 管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 中の点検及び管理が下エックリスト等を用いて実施されている。 れ、十分に管理されている。 管理が適切であり、よく整備されている。 全対策について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。	「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべ。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値 (%) = (評価数 0/対象評価項目数 0)×100	O	対外関係が適切である	レの発生がない。 テっている。 むている。 〈周知している。	⑤近隣住民(入居官署等を含む)対策を実施し苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後のトラブルがない。 ⑥現場のイメージアップに、取り組んでいる。 ⑦「施エプロセス」チェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 ⑧その他 理由:	「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値 (%) = (評価数 0/対象評価項目数 0)×100
	b	安全対策が良好である	i置し、1回/月以上活動し、 5し、記録が整備されている。 ≥事項について、速やかに 5 1 1 パ	(第全教育・2012年17年72年72年72年72年72年72年72年72年72年72年72年72年72	© © © ⊕ 0 ©	q	対外関係が良好である	ど対象項目] ①工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生がない。 ②工事施工にあたり、近隣住民(入居官署等を含む)と適切に協議及び調整を行っている。 ③入居官署に対し、引渡し時に必要な保守管理についての適切な説明書を作成している。 ④工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分りやすく周知している。	だ孝施し苦情がない。または苦情に対して でいる。 、対外関係について指示事項が無い。また	© © ⊕
	а	安全対策が優れている	 	(安全を放在 1973年17年17年77年77年78年78年78年78年78年78年78年78年78年78年78	評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上・・・・・・・・・・・・ 該当項目が80%以上90%未道・・・・ 該当項目が60%以上80%未道・・・・・・・・・・ 該当項目が60%以上80%未道・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	в	対外関係が優れている	[評定対象項目]  □ ①工事施工にあたり、関係官公署等の関  □ ②工事施工にあたり、近隣住民(入居官)  □ ③入居官署に対し、引渡し時に必要な保.  □ ④工事の目的及び内容を、工事看板など	<ul><li>□ ⑤近隣住民(入居官署等を含む)対策を実施</li><li>□ ⑥現場のイメージアップに、取り組んでいる。</li><li>□ ⑦ 「施エプロセス」チェックリストのうち、対外目</li><li>□ ◎その他 理由:</li></ul>	評価対象項目の合計のうち 該当項目が80%以上・・・・・・・・・・・ 該当項目が80%以上80%未満・・・・ 該当項目が60%以上80%未満・・・・・・・・・・・ 該当項目が60%以未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	骸衣			000000000000						
	細 別	田 安全対策				IV. 対外関係				
別紙—1③	考查項目	2. 施工状況								

□ 契約約款第17条に基づき監督員が 改造請求を行った。 上記該当事項があれば・・・・ (担当監督員) ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。③ 評価値(%) = (評価数 0/対象評価項目数 0)×100 ※1.出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並び「管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。 出来形の管理に関して、監督員から 文書による改善指示を行った。 Р 上記該当事項があれば・・・・ σοοσ 該当項目が80%以上90%未滿… 該当項目が60%以上80%未満。。 該当項目が90%以上 該当項目が60%未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 評価対象項目の合計のうち 評定対象項目] 細別 出来形 考查項目 及び 出来ばえ 出米形 別紙一14

	_		_																	
(担当監督員)	Ð	品質が不適切である	L	□		上記該当事項があれば ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						易合は空白のままとする。						ことにより技術的な評価を行う。	5加重平均などの方法によって	
	p	品質がやや不適切である	4、7、1000年,1988年,19	□ 両員の管理に関して、監督員からX 書による改善指示を行った。		上記該当事項があれば d						「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。	と率(%)計算の値で評価する。					※2.品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。	気設備工事・機械設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞかの工種毎に評価し、工事費内別による加重平均などの方法によって	
	0	品質が適切である							8°			クボックスがある項目は、評価すべき項目の	削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	評価値(%)=(評価数 0/対象評価項目数 0)×100				があり、工事目的物の品質及び品質管理に	- 種以上複合している工事については、それ	評価するものとして事と率は10とする。
	q	品質が良好である		平区対象項目」 □ ①林料• 劃品の品質が、割作図等に上U確認でき、設計図書を満足  アハス		品質が適切である。	良好である。	品質が、良好である。	の工事写真、施工記録等が整備されている。			e ⊕	© 9	© °	р ::		ること。	-「施工が完了したもの(システムを含む)」が	.事·電気設備工事・機械設備工事等が2エ	よいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものと、工事比率は10とする。
	対象	品質が優れている		【評定对象項目】 □ □ ①材料 製品の品質が 割作図等に		□   □ ③施工の各段階における完了時の、品質が	□ □ ④躯体工事における施工の品質が、良好である。	□ □ ⑤内外仕上げ工事における施工の品質が、		□ ②そのも	評価対象項目の合計のうち	該当項目が90%以上	該当項目が80%以上90%未滿***	該当項目が60%以上80%未滿	該当項目が60%未満		※1. 目的物の品質の水準を評価すること。	※2. 品質の対象は、「材料、機材」と	※3 デザインビルド方式等で建築工事・電気	よいものとする。また、改修工事
	茶			_		_	_	_												_
	細別	II品質		建筑工事	⊦   <del>{</del>											工事比率				
別紙一1⑤	考查項目	3 出来形	及び二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	出来はえ																

契約約款第17条に基づき監督員が 改造請求を行った。 上記該当事項があれば・・・・ ※1.目的物の品質の水準を評価すること。 ※2.品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・機械設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によって (担当監督員) ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。③ 評価値(%)=(評価数 0/対象評価項目数 0)×100 品質の管理に関して、監督員から文 書による改善指示を行った。 ъ 上記該当事項があれば …… よいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。 □ ①機材のに置が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。
□ ②施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。
□ ③品質確認記録の内容が、適切である。
□ ④システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。
□ ⑤機材及び施工の品質が、良好である。
□ ⑥未可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 ч с С 該当項目が60%以上80%未満・・・ 該当項目が60%未満・・・・・・・・・・・・・・・・ 該当項目が80%以上90%未満\*\*\* 評価対象項目の合計のうち 評定対象項目] 受変電設備工事 電気設備工事 工事比率 報 I品質 及び 出来ばえ 考查項目 出来形

別紙一1⑦								(担当監督員)
岩查項目	細別	松	а	q		S	р	Ð
3. 出来形	II品質		品質が優れている	品質が良好である	<i>ነ</i> ውሪ	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である
及び 出来ばえ	機械設備工事 昇降機工事		評定対象項目]    ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、	8でき、設計図書を満足している。	°202		□ 品質の管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。	□ 契約約款第17条に基づき監督員が 改造請求を行った。
			<ul><li>②品質確認記録の内容が、適切である。</li><li>③施工の各段階における完了時の試験方 (4)システムの性能及び機能に関する試画</li></ul>	5。 験方法及び記録の方法が、適切である。 式運転、確認方法等が適切であり、記録(	、適切である。 切であり、記録の内容	法及び記録の方法が、適切である。 転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。	上記該当事項があれば・・・・・ d	上記該当事項があれば・・・・・・
			<ul><li>□ ⑤機材及び施工の品質が、良好である。</li><li>□ ⑥不可視部分となる品質確認のための工</li><li>□ ⑦その他</li></ul>	5。 7工事写真、施工記録等が整備されている。	が整備されている。			
	[		評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上・・・・・・・・ 該当項目が80%以上90%未満・・・ 該当項目が60%以上80%未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	e d o b	対象 J欄 ICチェックボッ 除項 目のある場合 IA 価値 (%) = (評価数	「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべ、削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。評価値 (%) = (評価数 0/対象評価項目数 0)×100	「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値 (%) = (評価数 0/対象評価項目数 0) × 100	易合は空白のままとする。
	日 十 十 十 十 十 十 十 十		<ul><li>※1.機械設備工事とは、空調、衛生及び浄化槽工事をいう。</li><li>※2.目的物の品質の水準を評価すること。</li><li>※3.品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(</li><li>※4.デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・機械よしたのとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場へよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場。</li></ul>	及び浄化槽工事をいう。 っこと。 施工が完了したもの(シブ 事・電気設備工事・機械認 等で付帯工事を含む場合)	ステムを含む)」があり、 (備工事等が2工種以 ま、主要工事で評価	浄化槽工事をいう。 :。 Lが完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に 覧気設備工事・機械設備工事等が2工種以上複合している工事については、それ 付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は10とする。	<ul> <li>※1. 機械設備工事とは、空調、衛生及び浄化槽工事をいう。</li> <li>※2. 目的物の品質の水準を評価すること。</li> <li>※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。</li> <li>※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・機械設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。</li> </ul>	ことにより技術的な評価を行う。 5加重平均などの方法によって

## 工事成績採点の考慮項目の考査項目別運用表(建築・設備工事)

(担当監督員) 評価対象項目 (1/2) □ ①施工に伴う器員・工具・装置類の工夫
□ ②工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少また(は)サイクルに対する積極的な取組み
□ ③土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫
□ ④建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫
□ ⑤電気設備工事等の配線、配管等の工夫
□ ⑤無規設備工事等の配管、ダクト等の工夫
□ ③無財産機構等の工夫
□ ③無財産機構等の工夫
□ ③無財産・注の路等の計画・施工の無機・施工の工夫
□ ③症機・直・施工機構等の工夫
□ ③症機・直・施工機構等の工夫
□ ③症機・直・施工機構等の工夫
□ ①症状・反道路、1回路等の計画・施工の工夫
□ ③症状を10012年
□ ①を表の正常による工期短縮等の工夫
□ ①を設施工等の工夫
□ ①を設施工等の工夫
□ ①を設施工等の工夫
□ ①を設施工等の工夫
□ ①を設施工等の工夫
□ ①を設施工等の工夫
□ ①を発生に対する騒音・振動対策等の工夫
□ ①を発生の配慮による材料選定・施工方法等の工夫
□ ①を含めを値による材料選定・施工方法等の工夫
□ ①を必要を性向上のための施工方法等の工夫
□ ①を他 理由: ①集計ソフト等の活用と工夫
 ②躯体工事の品質管理の工夫
 ③建築材料・機材の検査・試験に関する工夫
 ○ ④施工の検査・試験に関する工夫
 □ ⑤品質記録方法の工夫
 □ ⑥その他 理由: ■準備・後片付け関係 □ ①測量・位置出しにおける工夫□ ②現地調査方法の工夫□ ③その他 理由: 詳細評価内容: 詳細評価内容: 詳細評価内容: ■品質関係 ■施工関係 考查項目 細別 5 創意工夫 別紙-18

(担当監督員) 評価対象項目 (2/2) □ ①安全仮設備等の工夫(落下物、壁落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) ②安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 □ ③現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫、□ ④酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 □ ⑤周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫 □ ⑥改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 □ ⑦水業時における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 □ ⑦作業時における代業環境改善等の工夫 □ ②作業時における作業環境改善等の工夫 □ ②作業時における性業環境改善等の工夫 □ ②をか 運動 ・ フィドリングストップの励行等の地球環境への工夫 □ ③その他 理由: ①安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) □ ① 受注者からの提案によるNETIS登録技術又は静岡県登録技術の活用 □ ①出来形の管理等に関する工夫
□ ②施工計画書または写真記録等に関する工夫
□ ③出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫
□ ④CAD、施工管理ソフト等の活用
□ ⑤施工合理化技術(※5)を活用した施工管理の工夫 <新技術活用>※本項目は2点の加点とする。 □ ②その他 理由: □ ③その他 理由: 詳細評価内容: 詳細評価内容: 詳細評価内容 ■施工管理関係 ■安全衛生関係 ●その他 考查項目 細別

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

評点計 0点 ※2. 該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、項目により2、4点で評価し、最大7点の加点評価とする。

※3.上記の考査項目の他に評価に値する企業のエ夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。なお、総括監督員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

※4.■を付した評価対象項目について、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。 ※5.施工合理化技術(プレハブ化、ユニット化、自動化施工 (ICT施工、ロボット活用等)、BIM、ASP等を活用したもので施工の合理化に資するものに限る。)を採用した場合。 ※6.考査項目「創意工夫」の「■準備片付け関係」から「■安全衛生関係」までの4つの細別ごとに、施工合理化技術を活用して効果があった場合に、その他の理由に具体の内容を記載して加点する。

## 工事成績採点の考慮項目の考査項目別運用表(建築・設備工事)

別紙ー1⑨ 「記入方法]該当する項目の□を■にする。

[記入方法]該当	[記入方法]該当する項目の□を■にする。	-2°				(総括監督員)
考查項目	細別	а	q	٥	р	e
2. 施工状況	I. 工程管理	工程管理が優れている	工程管理が良好である	工程管理が適切である	工程管理がやや不適切である	工程管理が不適切である
		[評定対象項目]	き対象項目〕 ①現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。 ②隣接又は同一現場の他工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 ③近隣住民(入居官署等を含む)調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 ④配體技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。	事を完成させた。 した。 引こ工事を完成させた。		
	野温	詳細評価内容 ※上記評価対象項目のうち、該当項	評価内容 ※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、o、d、e評価を行う。	475.		
2. 施工状況	目 安全対策	a	þ	ο	p	9
		安全対策が優れている	安全対策が良好である	安全対策が適切である	安全対策がやや不適切である	安全対策が不適切である。
		(評定対象項目]  ( ①建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕着である。  ( ②安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。  (  ③安全衛生管理活動が、適切に実施されている。  (  ④安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。  (  ⑤安全協議会活動に積極的に取り組んでいる。	害の防止への努力が顕著である。 立し、組織的に取り組んでいる。 適切に実施されている。 開発や創意工夫に取り組んでいる。 I的に取り組んでいる。			
	野盐	詳細評価内容				
		※上記評価対象項目のうち、該当項	※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、o、d、e評価を行う。	行う。		
考查項目	細別	а	a'	q	b'	c
6 社会性等	I 地域への貢献等	地域への貢献が優れている	地域への貢献がやや優れている	地域への貢献が良好である	地域への貢献がやや良好である	他の評価に該当しない。
	担法	(評定対象項目)  ①災害時等に地域への教援活動等に協力した。  ②周辺地域の環境保全、生物保護等について、具体的な対策をした。  ③現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、「  ④氏報活動や現場見学会等を実施して、地域とのコミュニケーションを  □ 急地域イベントへの協力やポランティア活動等への協力や参加をした。  □ ⑥県産品の使用に積極的に務めた。  □ ⑦その他 理由:  詳細評価内容	E対象項目] ①災害時等に地域への教援活動等に協力した。 ②周辺地域の環境保全、生物保護等について、具体的な対策をした。 ③現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。 ④広報活動や現場見学会等を実施して、地域とのコミュニケーションを図った。 ⑤地域イベントへの協力やポランティア活動等への協力や参加をした。 ⑥原産品の使用に積極的に務めた。 ⑦その他 理由: 評価内容	との調和を図った。		
		※上記評価対象項目のうち、該当項)	※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、a、b、b、c評価を行う。	至行う。		

<sup>※1.</sup>総括監督員は、担当監督員の意見を参考に総括的な評価を行う。※2.評価に当たっては評価対象項目の■の数にとらわれず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。※3.地域への貢献等とは、工事の施工に伴って、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。※4.■を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を詳細評価内容機に記載する。

別紙一1⑩ 考查項目	細別	(総括監督員)	
<ul><li>4. 工事特性 (施工条件等への対応</li></ul>	4. 工事特性 (施工条件等への対応 ■建物規模への対 応	※下記の対応事項に1つ以上■が付けば2点の加点とする。 □ ①延々面積10,000m以上の建物 □ ②地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物 □ ③大空間のホール等を有する建物 □ ④その他 理由::	
	事 点 0	詳細評価力容:	
	■建物固有の機能 の難しさへの対応	※下記の対応事項に1つ以上■が付けば2点の加点とする。 □ ①対象建物の耐震レベル □ ②建物機能の特殊性 □ ③その他 理由:	
		[評価技術華例] ・建築工事で東海地震に対する耐震性能が1 aに属する工事 ・研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物	
	世 60	详细評価方容:	
	■建物固有の施工 技術の難しさへの対 ら	※下記の対応事項に1つ以上■が付けば2点の加点とする。 □ ①建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合 【総合評価における技術提案は除く】 □ ②設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性 □ ③制約条件等があり、施工難度が特に高い場合	
		[評価技術事例] ・バイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・特殊な工法及び材料等を採用した工事 ・特殊な設備ンステムを採用した工事 ・免疫装置を設ける工事 ・免疫装置を設ける工事 ・大規模な山留め工法が必要な工事 ・実地内又に同辺的工法が必要な工事 ・数地内又に同辺的エンイが必要な工事 ・決機ない国のエンエイが必要な工事 ・大規模な経過ないのして作り、配管・配線等の大規模な移設、切り回しを行う工事 ・作評権生業を持い、システムを作けすることが、配管・即線等の大規模な移移、等を必要とする政修工事	
	章 4000000000000000000000000000000000000		

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。なお、1項目に複数の内容がある場合又は、対象範囲が広い場合は、それ以上の点数を与えても良い。※2. 担当監督員が評価する「創意工夫」との二重評価は行わない。※3. 評価にあたっては、担当監督員の意見も参考に評価する。※4. ■を付した評価対象項目について、評価内容を詳細評価内容機に記載する。

(総括監督員)

③「本関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。 19.発注者が、受注者が請負契約書第7条の2第1項規定に違反していると認める場合又は同条第2項前段に定める特別の事情があると発注者が認めたにもかかわらず、受注者が同項後段に定める期間内に書類を提出 ①日頭注意未満の処分を受けた後、事故及び災害等において安全対策の改善が見られない場合(担当又は総括監督員からの文書注意、口頭注意等)は、担当又は総括監督員の評価対象項目である安全対策において ・エ事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微であり、口頭注意以上の処分がなかった場合(不問で処分した案件。なお、もらい事故や交通事故は該当しない。) 13.下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の 10.下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。 12.受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」「正所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 ①本考査項目(8,法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表1から7の措置があった」場合に適用する。 総合評価落札方式において、受注者の責により提案を満足する施工が行われない場合等は、上表別により不履行の項目ごとに5点減点する。 15.安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 法令遵守等の該当項目一覧表 4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 ②「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。 9.監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 14.受注企業及び下請け等が暴力団員等による不当介入を受けたが警察等への通報等を怠った。 8.使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 6.建設業法に違反する事実が判明した例)一括下請負、技術者の専任違反等 3.労働者の寄宿舎環境等について労働基準法上違反があり、送検等された。 16.引渡し後に事故等が発生し、受注者の責による重大な瑕疵が判明した。 7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 1.入札前に提出した調査資料等が虚為であった事実が判明した。 11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 5.当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。 2.入札参加資格停止2ヶ月以上3ヶ月未満 3.入札参加資格停止1ヶ月以上2ヶ月未満 4.入札参加資格停止2週間以上1ヶ月未満 2.承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 18.受注者の責により工期内に工事を完成出来なかった。 自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 1.入札参加資格停止3ヶ月以上 17.低入コスト調査で虚偽の報告があった。 上記で評価する場合の適応事例】 5.文書注意 1口頭注意 その他 しなかった場合。 20.その他 理由: -20 点 -15 点 -13 点 減点をする。 -10 点 ₩ % 년 일 403 •00000000 8 法令遵守 90

## 工事成績採点の考慮項目の考査項目別運用表(建築・設備工事)

別紙一1億 [記入方法]該当する項目の□を■にする。

	_													
(検査員)	ə	出来形が不適切である	□ 出来形が不適切であったため、契約約款第31条に基づく修補指示を行った。	上記該当事項があれば・・・・ ө				Ð	品質が不適切である	□ 品質が不適切であったた め、契約約款第31条に基づ 〈修補指示を行った。	上記該当事項があれば ・・・・ ө			ቴወとする。
	Р	出来形がやや不適切である	□ 出来形の管理に関して、監 警員から文書で指示を行い 改善された。	上記該当事項があれば・・・・ d		い場合は空白のままとする。	<del>ر</del> ۲	Р	品質がやや不適切である	□ 品質の管理に関して、監督 員から文書で指示を行い改善きれた。	上記該当事項があれば・・・・ d		ハ場合は空白のままとする。	※1. 目的物の品質の水準を評価すること。 ※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・機械設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。 末た、改修工事等で付帯工事を含む場合は、非要工事で評価するものと、工業比型は100する。
	٥	出来形が適切である				「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値(%。) = (評価数 0./対象評価項目数 0)×100	したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。	ο	品質が適切である				「対象」機にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値(%) = (評価数 0/対象評価項目数 0)×100	たもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 - 事・機械設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内割による加重平均などの方法によって - 要下事で聖価さまんの! 工事ド率 は1.00である。
	ρ,	出来形が良好である	,	° Q tı	認できる。	対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべ。 剛除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値 (%。) = (評価数 0/対象評価項目数 0)×100	位置、数量並びに管理記録と設計	, '9	品質が良好である			満足していることが確認できる。 できる。 良好であることが確認できる。	「対象」機にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(96)計算の値で評価する。評価値(96)=(評価数 0/対象評価項目数 0)×100	物の品質及び品質管理に関する4 いる工事については、それぞれの: する.
	q	出来形が特に良好である	対象項目] ①承諾因等が、設計図書を満足していることが確認できる。 ②施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 ※ホエシェニ等をカンコーをからの第四を第4の第一を表現していることが確認でする。	くずぜか未活していることが無弱でいる。	<ul><li>⑤現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。</li><li>⑦現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。</li><li>⑧不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。</li><li>⑨解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。</li><li>⑪をの他 理由:</li></ul>		であり、工事目的物の形状、寸法、	q	品質が特に良好である	及計図書を満足していることが確認できる。 方法が、適切であることが確認できる。 これを	きる。 できる。 催認できる。	⑥建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 ⑦躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 ⑧内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記錄等により確認でき、良好であることが確認できる。 ③その他の工事(躯体・内外仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 ⑪不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 ⑪中間検査や一部完成検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 ⑫子の他 理由:		目的物の品質の水準を評価すること。 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の、 デザイングルド方式等で建築工事・電気設備工事・機械設備工事等が2工程以上複合している。 また、和格工事等で作者下書を含か、場合は、串野工事で評価するものとして事い取に10とす。
	a,	出来形が優れている	芝対象項目〕 ① 所諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 ②施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 の施工国等が、設計図書を満足していることが確認できる。 の第十年に乗せまします。	心施工計画書等で田米水の官性金字を設定し、計画に参うべまの出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。 ⑤出来形の管理が、工夫されていることが確認できる。	<ul><li>⑤現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。</li><li>⑦現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。</li><li>⑧不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。</li><li>⑨解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしてい値その他理由:</li></ul>	90%未辦… a ② 30%条辦… b ③ 70%未辦… b ③ 60%未辦… b ④	<u>~</u>	'n	品質が優れている	を対象項目〕 ①材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 ②施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。	③材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。 ⑤施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。	⑥建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、 ⑦躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良 ⑧内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認で ③その他の工事(躯体、内外仕上げを除く)における施工の品質が、 個不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 ①中間検査や一部完成検査での工夫や良好な施工の品質が、継続 ②その他 理由:	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	を評価すること。 、機材」と「施工が完了したもの(次 『で建築工事・電気設備工事・機械 帯工事を含む場合は、 キ郷工事・機械
		出来形が特に優れている				評価対象項目の合計のうち 該当項目が80%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完	e e	品質が特に優れている				評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<ul><li>※1. 目的物の品質の水準を評価すること。</li><li>※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了し、</li><li>※3. デサインピルド方式等で建築工事・電気設備工業・3 を工事業で仕業工業を含む減過へは、また、3 8を工事業で仕業工業を含む減過へは、また、3 8を工事業で仕事工業を含む減過へは、</li></ul>
	細 別 対象	1. 田米形		<u> </u>	00000				I. 品質	■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		000000	報 出	
別紙—1個	考查項目	777	及ひ出来ばえ					考查項目	洳	及び出来ばえ				

1 #KK — 1 (19)									(快宜員)
考查項目	細別	対象	a	a,	q	,9	0	٥	9
出来形	II. 品質		品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である
& C 田 米 ばえ	電気設備工事 受変電設備工事		1/3	より確認でき、設計図書を滞 時の試験及び記録の方法か	「対象項目」 ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 ②施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。			□ 品質の管理に関して、監督 員から文書で指示を行い改善きれた。	□ 品質が不適切であったため、契約約款第31条に基づく修権指示を行った。
			<ul><li>□ ③機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</li><li>□ ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。</li><li>□ ⑤施工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</li></ul>	タが、適切であることが確認。 すく整理されていることが確! 設計図書を満足しているこ。	できる。 認できる。 とが確認できる。			上記該当事項があれば ・・・・ d	上記該当事項があれば・・・・ e
			□ ⑥施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 □ ぴシスチムの性能及び機能に関する航運転の確認方法が強切であり、記録の内容が □ ◎システムの性能及位機能に関する航運転の確認方法に工夫がある。 □ ③・不月級分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 □ ③・不可報分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 □ ⑪中間検査や一部完成検査での工夫や良好な施工の品質が、維続して確認できる。 □ ⑪運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。	等の結果の記録により、優? 関する試運転の確認方法が 関する試運転の確認方法に 日等写真、施工記録により記 の工夫や良好な施工の品資 後箇所などの表示等が明確	、優れていることが確認できる。 法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。 法に工夫がある。 力能認できる。 日貢が、継続して確認できる。 明確で解りやすい。	:満足していることが確認できる。			
	由打量工		評価対象項目の合計のうち 数当項目が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	96.米謝···a 96.米謝···b 196.米謝···b 99.米謝···c	<ul><li>①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</li><li>② 削係項目のある場合は削除後の評価項目数 0)×100</li><li>③ 評価値(%) = (評価数 0 / 対象評価項目数 0)×100</li></ul>	耳目は、評価すべき項目の場合にご価項目数を母数として、比率(%)計 価項目数 0)×100	チェックし、評価すべき項目でない 1算の値で評価する。	場合は空白の末まとする。	
			※1. 目的物の品質の水準を評価すること。 ※2. 品質の対象は、1材料、機材」と「施工が完了した ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事 また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要		もの (システムを含む) 」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 5-機械設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内配による加重平均などの方法によってよいものとする <ul><li>主事で評価するものとし工事比率は10とする。</li></ul>	工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う - 複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によっ - 率は1.0とする。	<b>重の記録と設計図書を対比するこ</b> 種毎に評価し、工事費内訳による	とにより技術的な評価を行う。 ・加重平均などの方法によってよいも -	ውとする。
考查項目	別	対象		a,	q	b,	0	Р	Ð
出来形及76	I. 品質		品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である
ボズ	機械設備工事 昇降機工事		174	より確認でき、設計図書を満	を満足していることが確認できる。			□ 品質の管理に関して、監督 員から文書で指示を行い改善きかた。	□ 品質が不適切であったため、契約約款第31条に基づく修補指示を行った。
				時の試験及び記録の方法だ が、適切であることが確認 ずく整理されていることが確認	②施工の各段階(こおける完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 ③機材の品質権認記録の内容が、適切であることが確認できる。 但品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。				上記該当事項があれば・・・・・・
				設計図書を満足しているこ。 等の結果の記録により、優オ	ることが確認できる。 優れていることが確認できる。				
		00000	□ ⑦システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容な ■ ⑧システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 □ ⑨不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 □ ⑩中間検査や一部完成検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 □ ⑪運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 □ ⑬その他	関する試運転の確認方法が 関する試運転の確認方法に に事写真、施工記録により確 の工夫や良好な施工の品貨 後箇所などの表示等が明確	法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。 法に工夫がある。 り確認できる。 品質が、継続して確認できる。 明確で解りやすい。	:満足していることが確認できる。			
	車 7 重 工		評価対象項目の合計のうち 該当項目が60%以上・・・・・・ 該当項目が80%以上90%未満・・・ 該当項目が70%以上80%未満・・・ 該当項目が70%以上80%未満・・・ 該当項目が60%以上70%未満・・・ 該当項目が60%以上60%未満・・・	964未述: a 996未述: b 996米強: b 906米強: c	<ul><li>① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</li><li>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数の2を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</li><li>③ 評価値(%) = (評価数 0 / 対象評価項目数 0) × 100</li></ul>	頁目は、評価すべき項目の場合に: 価項目数を母数として、比率(%)計 西項目数 0)×100	チェックし、評価すべき項目でない 1質の値で評価する。	場合は空白の末末とする。	
			※1. 機械設備工事とは、空調、衛生及び浄化槽工事をいう。 ※2. 目的物の品質の水準を評価すること。 ※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(? ※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・機械 また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事・	、衛生及び浄化槽工事をい 平価すること。 養材」と「施工が完了したもの 建築工事・電気設備工事・樹	※1. 機械設備工事とは、空調、衛生及び浄化槽工事をいう。 ※2. 目的物の品質の水準を評価すること。 ※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 ※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・機械設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内配による加重平均などの方法によってよいものとする。 また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。	の品質及び品質管理に関する各種 る工事については、それぞれの工 る。	重の記録と設計図書を対比するこ 僅毎に評価し、工事費内訳による	とにより技術的な評価を行う。 加重平均などの方法によってよいも	ዕረታる。

※1.全体的な仕上がり状態、機能を評価する。 ※2.出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。 ※3.デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・機械設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。 ※3.デザインビルド式式等で建築工事・電気設備工事・機械設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞかの工種毎に評価し、工事費内別による加重平均などの方法によってよいものとする。 上記該当事項があれば ···· d 上記該当事項があれば・・・ d 全体的な完成度が劣っている □ 出来ばえが劣っている。 □ 出来ばえが劣っている。 ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
 ③ 評価値(%)=(評価数 0/対象評価項目数 0)×100
 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもe評価とする。 ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
 ③ 評価値(%)=(評価数 0./ 対象評価項目数 0)×100
 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当しても。評価とする。 全体的な完成度が適切である 全体的な完成度が適切である ※2.出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする 全体的な完成度が良好である 全体的な完成度が良好である □ ①きめ細やかな施工がなされている。
□ ②関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。
□ ③機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。
□ ④環境負荷低減への対策が優れている。
□ ⑤運転操作及び保守点核等の容易さを確保するための配慮がなされている。
□ ⑥その他 理由: വേധ о *ф* о ※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。 該当項目が80%以上90%未満・・・ 該当項目が80%以上90%未滿… 該当項目が80%未滿…… 評価対象項目の合計のうち 評価対象項目の合計のうち 全体的な完成度が優れている 評定対象項目 受変電設備工事 電気設備工事 工事比率 工事比率 思果 田 出来ばえ 田. 出来ばえ 建築工事 及び 出来ばえ 出来ばえ 田米形 田米別 及び

(検査員)

組別	出来ばえ	機械設備工事	昇降機工事			本  工  走  工		
女参		<u>الله</u>						
œ	全体的な完成度が優れている	郭定対象項目]	□ ①きめ細やかな施工がなされている。 □ ②関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、	<ul><li>□ ③機器又はシステムとして、連転状態が正常であり、</li><li>□ ④環境負荷低減への対策が優れている。</li></ul>	<ul><li>□ ⑤運転操作及び保守点核等の容易さを確保するための配慮がなされている。</li><li>□ ⑥その他 理由:</li></ul>	評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上・・・・・・・・・・。 該当項目が80%以上90%未満・・・・・・・ b 該当項目が80%以上90%未満・・・・・・ c	(4) ※ (4) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	※2. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。 ※3. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。 ※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・機械設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳によ
			九、調和が良(	5り、性能が優	ための配慮な	⊕ <b>⊗</b> ⊛	4) 江事をいう。	、形状、配置 莆工事 機械記
q	全体的な完成度が良好である		調和が良い仕上がりである。	性能が優れている。	バなされている。		評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当しても6評価とする。	及び関連工事との調和、目的物とI &備工事等が2工種以上複合して
						項目は、評価すべき項目の場合 平価項目数を母数として、比率(% 価項目数 0)×100	ま合は、全て該当してもc評価とす	ノての機能などについて、観察、』 vるエ事については、それぞれの
0	全体的な完成度が適切である					引にチェックし、評価すべき項目で '6) 計算の値で評価する。	97 d.o.	計測等により技術的な評価を行 )工種毎に評価し、工事費内訳に
ъ	5る 全体的な完成度が劣っている	□ 出来ばえが劣っている。		上記該当事項があれば・・・・		ない場合は空白のままとする。		5伏、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。 事・機械設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。
				g	ı			› <mark>ነ</mark> ቴወとする。

別紙—2

工事名

細目別評定点採点表

項目	細別	①担当監督員	②総括監督員	③検査員(一部完成1)	③検査員(一部完成2)	④検査員(完成)	細目別評定点	得点割合
1.施工体制	)	( ) × 0,4 + 2,9					3.3点	
	I配置技術者	( ) × 0.4 + 2.9					4.1点	
2.施工状況	] 施工管理	( ) × 0.4 + 2.9		( )×0.4+6.5 (	) ×0.4+6.5 (	)×0.4+6.5	13.0点	
	) 工程管理	) × 0.4 + 2.9(	) × 0.2 + 3.2				8.1点	
	) 田安全対策	) × 0.4 + 2.9(	) × 0.2 + 3.3				8.8点	
	(IV対外関係	( ) × 0.4 + 2.9					3.7点	
3.出来形及び出来ばえ	3年1	( ) × 0.4 + 2.8		) × 0.4 + 6.5	) × 0.4 + 6.5	)×0.4+6.5	14.9点	
	)	( ) × 0.4 + 2.9		) × 0.4 + 6.5	) × 0.4 + 6.5	)×0.4+6.5	17.4点	
	田出来ばえ			( )×0.4+6.5 (	) × 0.4 + 6.5	)×0.4+6.5	8.5点	
4.工事特性		)	) × 0.2 + 3.3				7.3点	
5.創意工夫	)	( ) × 0.4 + 2.9					5.7点	
6.社会性等	Ⅰ 地域への貢献等	)	) × 0.2 + 3.2				5.2点	
7.法令遵守等	工事事故等による減点 総合評価による減点	)	)×1.0					
							100点	
8.総合評価 技術提案	技術提案履行確認		履行 不履行 対象外					

 $(1)+2+3\times0.5+4\times0.5)=$ 細目別評定点(-部完成検査が2回以上の場合は3を平均する。)

一部完成検査がなかった場合

※ 一部完成検査があった場合

<sup>(</sup>①+②+④)=細目別評定点

<sup>※</sup> 得点割合は、細目評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。※ 総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合は、『不履行』を選択する。

「施工プロセス」のチェックリスト (土木・農林土木工事)

別紙一3

	₹	
	Н	. 施工業者
ij	ö	ы

名 名

占 

事 監 督

① 「施工プロセス」チェックリストは、標準仕様書、契約約款に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを**監督員等が確認する。** ② チェック欄では、書類もしくは現場等で確認した月日、及びその内容がOKでおれば口にレマークを記入し、OKでなければ、**信寿欄に指示事項や是正状況等を記入する。** ③ 用語の定義については、契約後:当初契約後、変更後:工期内に行う契約変更後とする。

(指示事項及びその是正状況等) 靊 完成時 . . \_ · 🗌 ェック時期(指示事項) > 屋 . 着手前 チェックリストー覧表 (チェックの目案) 契約締結の10日以内に、契約工程表が提 か、その結果を所定の様式により提出した。 労災保険関係の項目が現場の見やすい場 ことを記載している。(施工時の当初、変更時) 工事途中及び検査時の事前に品質確認を (施工時1回程度) 建設業退職金共済証紙の配布を受け払い 等、工事全般にわたり適切(数量も含む)に 「建設業退職金共済制度適用事業主工事 ・請求があった場合、契約終結後10日以内 施工体制台帳及び添付書類の「健康保険 品質証明は、出来高、品質及び写真管理 (契約後、変更後) 掛金収納書の写しを契約締結後1ヶ月以 等加入状況」に、加入又は適用除外である (契約後、変更後、完成時) 品質証明員の資格(身分及び経歴)が適 Eである。また、品質証明員に関する資料 (契約後、変更後) (検査の前等) (品質証明実施時) (施工時適宜) (施工時の当初、変更時) 施工体制台帳に下請負契約書(写)及び (施工時の当初、変更時) 施工体制台帳を現場に備え付け、かつ、 事前に監督員の確認を受け、契約締結 見場」の標識が現場に掲示されている。 す下計負通知書を添付している。 後等の10日以内に登録された。 **蓴箏により適切に管理している。** (契約後) 同一のものを提出した。 所に掲示されている。 提出されているか。 ?書面で提出した。 りに帰出した。 実施した。 ш )請負代金內訳書 工事実績データ )施工体制台帳、 )建設業退職金 契約工程表 严 共済制度等 施工体系図 登録番号) 品質証明 RÝ 濹 粟 施工体制 般 施工体制 考查項目

# 「施工プロセス」のチェックリスト(土木・農林土木工事)

(2/4)	柳	(指示事項及びその是正状況等)																																	
L	龜		(																																
		完成時	( / )																							( \ \ \									
			( / )						$(\overline{})$		<u>_</u> [				( / )			]	<u>_</u>							( / )		( / )			( / )			_ [	
			( / )		<u></u>				( / )		<u></u>				( / )			]		1						( / )		( / )			( / _		` _	^ [	
			( / )		<u></u>				( / )		<u></u>				( / )											( / )		( / )			( / )			<u> </u>	
			( / )		<u></u>				( / )		<u></u>				( / )		^ _			1						( / )		( / )			( / )			<u> </u>	
ĺ	頁 )		( / )		<u></u>				( / )		<u></u>				( / )		^ _			1						( / )		( / )			( / )			^ \_[	
1	(指示事項	<b>#</b>	( / )						$(\overline{})$		<u></u>				( / )					1						( / )		( / )							
4.0	ク 時 期 (	施工	) ( / ;		Î~ [				( /		<u></u>				( /		<u></u>	]								( /		) ( / ;						<u> </u>	
	チェッ		) ( /		Î C				) ( /		<u> </u>				) ( /		) \_			1						) ( /		) ( /			<u> </u>	] \	, _	<u> </u>	
			) (/				<u> </u>		) ( /		<u> </u>				) ( /		) \_	]		1						) ( /		) (/			) ( /	] ~	` \	~[	
			) ( /		~ [		<u> </u>		) ( /		~[			~ _	) ( /			]	~ ~ [	1						) ( /		) ( /			) (	] ~	,		
			) ( /				, \ \		) ( /		~ _ _				) ( /		) (	, ]	_ _ _ [	+						) ( /		) (/			) ( _/	] ~	,	) ( \ [	
			) (/				<u></u>		) ( /		~ [				) ( /		)   	]	_ ^ _	1						) ( /		) (/			) ( _		~ ~	~ [	
		着手前	)		_	_			)					_	<u> </u>		) ( [	ĺ	<u>-</u> ^ Г	-		7	 `	1		<u> </u>		)			)	\	_	)	
	₩		*		Y 9	40	· 海	(神)	缸	寺)		A (型	(T)			(E	)	,		,			_ _ 編	, j	- C			通		j.)	(4	T-	c)		
		(チェックの目安)	関係者及び公	-掲げている。 (施工時の当初、変更時)	つない業者が作業して(塩エ時 17月2年)	1 1/ 71性のスキ件(際番	されている技	(施工時の当初、変更時)	事の施工に実	0当初、変更明	示す標識を公	主任(監理)技(権工時適宜)		計に常駐している。 (施工時適宜)	連絡調整及	(施工時適宜)	選任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)	1	爾任し、配置している。(権工学事権 権工再議会)		(養手難)	1、日本田十年末	*の間 虹技術者とJ	析者及び本人	(着手前)		(施工時適宜)	星、技術的事)	V 1/2.	(施工時、打合せ時)	は提案をもつ (協工時適合)	AME TO ME	「である。 (施工時適宜)	加資格者	朝間中 (施工時適宜)
	<i>y</i> y <i>x</i>	)	現場の工事	引に掲げている (施工時の)	こ記載のない (塩エ)	にまれた。	十国帯に記載		の下請け工事	る。(施工時の	受けたことを	場所に設置し、妻」といる。		1、現場に常薦 (施工服	1、監督員との	行っている。	/選任し、配置 (施丁計画時	mira (24) say	2年一、門間(株工学用用	A LESSON ASSAULT	3谷を確認した	1 4 (44) 25、 24:3	F右、埋がによ ご記載された覧	日報された技術		ひた。	(施工服	本に係る工手	的に係わって	(施工	、創意工夫又 レバ	v Section 1970 v	2)対応が適切	岡県入札参	、指名停止期
	# H %		・施工体系図を現場の工事関係者及び公衆	の見やすい場所に掲げている。 (施工時の当	<ul><li>・施工体系図に記載のない業者が作業して は対さい (塩工味 1 / 日 田田)</li></ul>	************************************	術者及び施工計画書に記載されている技術	者が本人である。	元請負人がその下請け工事の施工に実質	的に関与している。(施工時の当初、変更時)	・建設業許可を受けたことを示す標識を公	衆の見やすい場所に設置し、主任(監理)技術者を正して記載している。 (権工時適合		・現場代理人は、現場に常駐している。 (施工時適宜)	現場代理人は、監督員との連絡調整及	び対応を書面で行っている。	・専門技術者を選任し、配置している。 ( 施工計画時 ・ 施工時	在 年 年 不 四 四 四 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	・作業王任者を選任し、配置している。(協工学画時 協工時	十分 井井 华家	・資格有誰の内容を確認した。	体影主用值 2.4~1.3.8% 体影主仍为祖母:	・配置ア圧なm名、増加による監理技術者 施工体制台帳に記載された監理技術者と監	四技術者証に記載された技術者及び本人が	同一であった。	・現場に常駐していた。		・施工計画や工事に係る工程、技術的事項	を把握し、主体的に係わっていた。		・施工に先立ち、創意工夫又は提案をもって丁事を進めて、	145A2	・現場技術員との対応か適切である。 (施工F	<ul><li>下請負者が静岡県入札参加資格者</li></ul>	である場合には、指名停止期間中でない。 でない。
	通り		施工体制台帳、・	(法)		· [ •	#	₩.	•	4	<ul><li>○建設業許可標識・</li></ul>	水 袋			<u>.                                    </u>	り		Ī		T	_			型	<u> </u>	1 :		•	4%		· ·			○下請負者の把握・	7 7
L	無器器	_	0	施工体系		1 2	,				○建設業		0.00	○現場代理人 1 	m1 -	H 354	「 ○ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		この作業主任者の 湯佐 強な	_	<ul><li>□ 国本技術者</li><li>□ (中午技術者)</li></ul>			V 15-	v-	141	di te	/ Um	l			# # # (	○現場技術者	〇下諸鱼	
H	D. 栖 l	田別	-		<b>上体制</b> 上体制	1 2	È							п	福	百数	<b>怎</b> ~	\ #	<b>公</b> "	← #	₩<.	• 184	日野工	少能	₩Д •	什	<b>⊕</b> #	/徒	Ψ						

# 「施工プロセス」のチェックリスト (土木・農林土木工事)

種	(指示事項及びその是正状況等)																		,
	完成時	]	^ _	^_	^_	^_	^_		1^_							^_		^ [	
		/ )	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		\ \ (	\ \ (	\ \ (	/ / (			\ \ \ \	\ _ _ _	\ _ _ _		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	/ ) (	1
		\	\					\ \ \			\ _ _				~	\	~		
												( / )							
項)													]						
事示事)	ф.																		t
夕時期 (	施工										$\hat{\ }$		) \ _		$\hat{\ }$	Î.	$\hat{\ }$		1
<del>ў</del> н у												Î L							1
								^_				~ <b></b>	)     			$\widehat{\mathbb{Q}}$			1
				` ^_	~ ~	<u> </u>	~ ~[					~ ^_	_     					~ 	1
					_ 	] 					_ îп						С ĈП		
					`			` ` ` ` _				`       	`					\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	[  -
	_	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		\ \ \ \	\ \ -	\ \  -	\ \ \ \			\	\_ 	\ \ -	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	^					
	着手前	`	<u>`</u>	\ )										` `			`		
チェックリストー覧表	(チェックの目安)	•	・現場との相違事実がある場合、その事実 が確認できる資料を書面により提出して確 認を受けた。 (着工前、施工時適宜)	・施工(変更を含む)に先立ち、提出した。 (着手前、変更時)	<ul><li>記載内容と現場施工方法が一致している。 (施工時適宜)</li></ul>	・記載内容(作業手順書等)と現場施工体 削が一致している。 (施工時適宜)	・記載内容が、設計図書・現場条件等を反映している。 (着手前、変更時)	・工事材料の資料の整理及び確認がされ、 管理している。 (施工時適官)	(保のための対策) 両で雑談できる。	・日常の出来形、品質管理が書面にて確認 できる。 (施工時適宜)	・特記仕様書等に定められた事項や独自の取り組み又、地域等より評価されるものがある。 ある。	拏員の立会にあたって、\$ 頼を提出している。	55、適ち	・工事開始日後、30日以内に工事に着手した。 た。 (着手時)	・受領予定14日前までに、品名、数量、品質、規格又は性能を記した要求書を提出した。	・諸負者は、産業廃棄物管理票(マニュフェスト)により適正に処理されていること を確認し、監督員に提示した。 (施工時適宜)	・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。 (施工時適宜)	・建設リサイケル法の対象工事については、 工事届出の手続きがされているか。(着手前)	
雜認項目		○設計図書の照査 等		〇 施工計画書				<ul><li>施工管理</li><li>・工事材券管理</li></ul>	は、光米・	品質管理	・イメージアップ	<ul><li>○検査(確認を含む)及び立会い</li></ul>	等の調整	○工事の着手	○支給品 及び貸与品	<ul><li>○建設副産物</li><li>及び建設廃棄物</li></ul>			
参有	項目別		状况管理																_

# 「施工プロセス」のチェックリスト(土木・農林土木工事)

備 (指示事項及びその是正状況等)		
	( / )	
	( / )	
( /		
ł		
	し、工程の管理 (施工時適宜)	
子様を生権」	₹ 	地元調整を積極 で提出した。 (施工時適宜)
1	SIP.	更への対応、地元調整を積極 )結果を書類で提出した。 (施工時適宜)
	行っている。	現場条件変更への対応、地元調整を積極 に行い、その結果を書類で提出した。 (施工時適宜)
	<ul><li>・フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。 (施工時適)</li></ul>	更への対応、地の結果を書類で
	<ul><li>○ 工程管理</li><li>・フォローアップ</li><li>を行っている。</li></ul>	・現場条件変更への対応、地元調整を積極 的に行い、その結果を書類で提出した。 (施工時適百)

「施工プロセス」チェックリスト(建築・設備工事)

事務所名:	監督員名:		
	平成 年 月 日~平成 年 月 日		
1. 工事名	2. 工 期	3. 請負者名	

	①Γ⅓ ②≠	施工プロセス」チェックリスト :ェック欄には書類もしくはඡ	①「施エプロセス」チェックリストは、標準仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に管理されているかを監督職員等が確認する。 ②チェック欄には書類もしくは現場等で確認した月日を、その内容が適切であれば口にレマークを記入する。(必要に応じて指示事項等を記入してもよい。)備考欄には指示事項、	こ管理されて 入する。(必	こいるかを見 要に応じて	︰督職員等; 指示事項等	が確認する。 きを記入して	。 もよい。)備	考欄には指		∃正状況、耶	Qリ組み状汚	是正状況、取り組み状況等を記入する。
考士							チェック欄	(指示	(指示事項等)				
鱼項目	暴武	確認項目	チェックリストー覧表 (チェックの目安)	着手前			Ţ	居 H 中				完成時	華
- 插 H	I施工		・品質及び安全計画に見合う管理体制が確立されている。 (施工計画書提出時)		( / )	( / )	(	(	( / )	(	(		
<b>存</b> 重	体制一部	〇建設業退職金共済制 <b>•</b> 度		(	( / )	(			( / )	(	(		
	表	,- ,	・建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿等により適切に管理している。 (施工中適宜)		(	(			(	(	(		
		<u> </u>	・「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を現場に掲示している。 (施工中1回程度)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
	-			(7)									
		立票	<ul><li>・労災保険関係成立票を工事現場の見やすい場所に掲示している。 (施工中1回程度)</li></ul>		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
		<ul><li>●建設業許可標識</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><l></l></ul>	・建設業法に定められた標識を正しく記載し、公衆の見やすい場所に 設置している。(全ての下請業者を含む。) (施工中1回程度)		( / )	( / )	(	(	( / )	(	(		
	- · · · · · · · · ·	〇施工体制合帳、施工体 系図または作業分担に の 関する資料 ()	・施工体制台帳及び施工体系図を現場に備え付け、かつ、同一のも のを提出した。(提出義務のない工事は、下請業者を含む作業分担 に関する資料でよい。) (施工時の当初、変更時)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
		1- 4-5	•施工体制台帳に下請負契約書等(写)(再下請業者を含む。)を添付している。 (施工時の当初、変更時)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
		<u> </u>	・施工体制台帳及び添付書類の「健康保険等加入状況」に、加入又は適用除外と記載している。 (施工時の当初、変更時)		(	( / )	(	(	( / )	(	(		
		<u> </u>			( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
		- <del></del>	•施工体系図または下請負人通知書等に記載されている業者のみが 作業している。 (施工時 1回/月程度)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
		<u>,, C</u>	・元請負人がその下請工事の施工に実質的に関与している。(下請工事がある全ての工事に適用する。) (施工時の当初、変更時)		(	(	(		( / )	(	(		

別紙-3

「施工プロセス」チェックリスト(建築・設備工事)

	備考														
	完成時	( / )					(								
			( / )	( / )			( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )
			( / )	( / )				( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )
(指示事項等)			( / )	( / )				( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )
	居 日 日		( / )	( / )			( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )
チェック欄		( / )	( / )					(						(	(
		( / )	(							( / )	(		( / )	( / )	( / )
		( / )	( / )	(				(	(	( / )	( / )	(	( / )	( / )	(
	着手前	( / )				( / )						(		( / )	
	チェックリストー覧表 (チェックの目安)	·事前に監督職員の確認を受け、契約締結後等の10日以内(祝日を除く、)に登録機関に申請し、登録されることを証明する資料を、監督職員に提出した。 (契約後、変更後、完成時)	・現場に常駐している。 (施エ中 1回/月程度)	・監督職員への通知、報告、申出等を書面で行っている。 (施工中適宜)	・技術者としての要件が資格者証等により確認できた。 (着手前)	・配置予定技術者または現場代理人等通知書等に記載されている技術者が本人と同一であった。 (着手前)	・工事実績情報登録において重複が無く、現場に専任している。(専任義務は建築一式工事5,000万円以上、その他工事2,500万円以上) (施工中 1回/月程度)	・施工計画や工事に係る工程、技術的事項を把握し、主体的に係わっていた。 わっていた。 (施工中、打合せ時)	・専門技術者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工中適宜)	・作業主任者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工中適宜)	・静岡県の入札参加資格停止期間中でない。 (施工中適宜)	・契約約款第18条第1条に係わる設計図書の照査を行っている。 (着手前、施工中適宜)	・現場との相逢事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面 により提出して確認を受けた。 (着手前、施工中適宜)	・施工に先立ち、設計図書等の内容を反映したものを提出した。 (着手前、変更時)	・記載内容と現場施工方法が一致している。 (施工中適宜)
	確認項目		〇現場代理人		〇監理技術者(主任技術 者)の専任制等				<u>○</u> 専門技術者の 配置	〇作業主任者の 選任	〇下請負者の把握	〇設計図書の照査 等		<b>書</b> 回掲工戦〇	
	查項目細別	- 施工体:口配置技		弘場代理		理技術	者/主任‡	女術者				2 栖 H :			

別紙-3

「施工プロセス」チェックリスト(建築・設備工事)

	華									
	完成時									
		( / )	(	(	(	( / )	(	(		( / )
		( / )	(	(	( / )	( / )	(	( \ )		( / )
(指示事項等)		( / )	(	( / )	( / )	( / )	(	( \ )		( / )
	新 H 中	( / )	(	(	( / )	( / )	(	( \ )	(	( / )
チェック欄		( / )	(	( / )	( / )	( / )	( / )	( \ )	( \	( / )
		( / )	( / )	(	( / )	( / )	(	(	( \ )	( / )
		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )
	着手前				( / )	( / )				
L		・建築材料、機材に関する資料の整理及び確認がなされている。 (施工中適宜)	<ul><li>・日常の出来形、品質管理が適時、的確に行われている。 (施工中適宜)</li></ul>		・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式 に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。 (施工中適宜)	<ul><li>・施工前に各種工程表を提出している。 (着手前、施工中適宜)</li></ul>	<ul><li>・工程の把握に努め、必要に応じ、フォローアップを行っている。 (施工中適宜)</li></ul>	・安全活動を実施し、記録がある。(必要に応じ、以下の内容をチェックする。) ①文書防止協議会等(施工中通宜) ②広社パトロール(施工中1回/月程度) ③安全教育、訓練等(施工中通宜) ④安全巡視、TBM、KY等(施工中通宜) ⑤新規入場者教育(施工中適宜)	・仮設備点検等を実施し、記録がある。(必要に応じ、下記の内容をチェックする。) (1.過積載防止対策(施工中適宜) (2.機械・車両等点検整備等(施工中1回/月程度) (3.重機操作時安全点検記録等(施工中1面/月程度) (3.重機操作時安全点検記録等(施工中適宜) (3.11個が、仮締切等の点検及び管理記錄(施工中適宜) (5.12場、支保工の組立完了時・使用中の点検及び管理記錄(施工中適宜)	・関係機関等との調整等を実施し、記録がある。(必要に応じ、下記 の内容をチェックする。) ①関係官署(施工中適宜) ②近隣住民・人居官署等 (施工中適宜) ③関連工事等(施工中適宜)
	確認項目	〇施工管理 •建築材料、機材の管理	■出来形、品質管理	〇建設副産物及び建設 廃棄物		正智管理		〇安全活動	<b>○</b> 仮設備点検等	〇関係機関等
_	查項目細別	2施工:日施工:				日工駐	御理	田安全対策		D.対外関係

## 別紙一4

ı	割意工夫・工事特性・社会性等に関する実施状況(説明資料)
工事名	
項目	評価内容
提案内容	
(説明)	
(添付図)	

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

The state of the	日神教教											П				П						П							П		П	П										П									Π		Γ
The state of the	社会性等	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2			Ī							Ħ			Ĭ												Ī					Ħ	Ħ																İ	Ī	Ī	T	Ī
### ##################################	第1日		Ħ		Ì			Ì			Ħ	Ħ	П		Ħ	I		I		Ì			I	Ħ	İ			$\ $	I	I	I	Ħ	Ħ				I			$\ $	П	T.					$\ $				I	T	Ī
Table	工事物体	第二条件 対応 放出																																																			
### ##################################												Ħ																				Ħ																	İ			T	ľ
# 1	ž.	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1																																																			ľ
# 1	8.異び出来	41										Ħ																				Ħ																	İ			T	ľ
### 1	#	***	Ħ								Ħ	Ħ			Ħ									Ħ	Ī							Ħ	Ħ			Ħ						Ì							Ì			T	ľ
### ##################################					Ì							Ħ			Ħ												Ī					Ħ	Ħ																İ	Ī	Ī	Т	
### 1		东岛 朝 秋田 田										Ħ																				Ħ																	İ			T	ľ
# 2   1   2   2   2   2   2   2   2   2		HE 22	Ħ								Ħ	Ħ	П		Ħ									Ħ	Ī							Ħ	Ħ			T						Ì							Ì			T	ľ
# 1		8x 81 84	Ħ								Ħ	Ħ			Ħ									Ħ	Ī							Ħ	Ħ			Ħ						Ì							Ì			T	ľ
# 1	B 1 # 2	200	Ħ								Ħ	Ħ			Ħ									Ħ	Ī							Ħ	Ħ			Ħ						Ì							Ì			T	ľ
# 1		1 報	Ħ								Ħ	Ħ			Ħ									Ħ	Ī							Ħ	Ħ			Ħ						Ì							Ì			T	ľ
# 1		## :m	Ħ								Ħ	Ħ	П		Ħ									Ħ	Ī							Ħ	Ħ			T						Ì							Ì			T	ľ
### ##################################		製料	Ħ									Ħ				T								Ħ								Ħ	Ħ			Ħ						t							Ť			T	
### ##################################	<del></del>	20 mm 20 mm	Ħ	Ħ	t	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	t	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	$\parallel$	Ħ	$\parallel$	Ħ	t	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	$\parallel$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	۱
# 14 PER PER PER PER PER PER PER PER PER PER	# H #		Ħ	Ħ	t	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	t	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	$\parallel$	Ħ	$\parallel$	Ħ	t	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	$\parallel$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	۱
ACC ACC ACC ACC ACC ACC ACC ACC ACC ACC	略・七七篇・類の1		Ħ	Ħ	t	Ħ	H	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	H	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	H	Ħ		Ħ	H	H	Ħ	H	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	ľ
#####################################	工事技術的難品度		Ħ	Ħ	t	Ħ	Ħ	Ħ	lt	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	H	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	t	Ħ	Ħ	$\dagger$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	lt	H	Ħ	Ħ	Ħ	$\parallel$	$\parallel$	t	Ħ	H	Ħ	Ħ	$\parallel$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	۱
변경에 보고 보고 보고 보고 보고 보고 보고 보고 보고 보고 보고 보고 보고	676		Ħ	Ħ	t	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	t	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	$\parallel$	Ħ	$\parallel$	Ħ	t	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	$\parallel$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	۱
변제로 전 생 전 생 전 생 전 생 전 생 전 생 전 생 전 생 전 생 전	华茫午影		Ħ	Ħ	t		Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	I	Ħ	Ħ	$\parallel$	Ħ	$\parallel$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ		Ħ	$\parallel$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	ľ
변경 전경 전경 전경 전경 전경 전경 전경 전경 전경 전경 전경 전경 전경	完成模整機由年月	ш	Ħ	Ħ	t	Ħ	H	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	H	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	H	Ħ		Ħ	H	H	Ħ	H	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	ľ
변경 전경 전경 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전	検査員氏名		Ħ					H			Ħ	Ħ	Ħ			Ħ			T	H				Ħ			T					Ħ	Ħ			Ħ													t	T		T	ŀ
변경 조 전 경 경 전 경 전 경 전 경 전 경 전 경 전 경 전 경 전	<b>米仁神郷炭ű岩山</b> 区	tr.	Ħ			-	t	H			H	Ħ	H			H			T	H				Ħ			t					Ħ	Ħ			Ħ						Ŧ			-				Ŧ	t		Ħ	l
변경 경영 경영 전급  변경 경영 전급   변경 경영 전급   변경 경영 전급   변경 경영 전급   변경 경영 전급   변경 경영 전급   변경 경영 전 변경 경영 전	土米・森林土米・:	対数区分	Ħ			-	t	H			H	Ħ	H			H			T	H				Ħ			t					Ħ	Ħ			Ħ						Ŧ			-				Ŧ	t		Ħ	l
변경보험 변경보험 변경보험 변경보험 변경보험 변경보험 변경보험 변경보험	架 怪 井 町 田		H	H	t	H	T	$\parallel$	H	H	H	$\dagger$	H	H	H	H	$\parallel$	Ħ		$\parallel$	H	$\dagger$	H	H	t	H	H	$\dagger$	Ħ	Ħ	Ħ	$\dagger \dagger$	Ħ	H	H	H	Ħ	$\dagger \dagger$	$\parallel$	$\dagger \dagger$	$\parallel$	t	$\parallel$	H	H	$\parallel$	$\dagger \dagger$	$\dagger$	$\dagger$	H	H	Ħ	١
변경보험 변경보험 변경보험 변경보험 변경보험 변경보험 변경보험 변경보험	最終契約完成年月		H	H	t	H	H	H	H	H	Ħ	Ħ	H	H	H	H	$\parallel$	$\dagger \dagger$	H	H	H	$\dagger$	H	H	H	H	H	$\dagger$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	H	$\dagger$	H	Ħ	$\dagger$	$\parallel$	$\dagger$	$\parallel$	Ħ	$\parallel$	H	H	$\parallel$	$\dagger$	Ħ	Ħ	H	H	Ħ	ŀ
변호등등도 제정 : 변호등등도 제정 : 변호를 등도 제정 :			H	H	t	H	T	$\parallel$	H	H	H	$\dagger$	H	H	H	H	$\parallel$	Ħ		$\parallel$	H	$\dagger$	H	H	t	H	H	$\dagger$	Ħ	Ħ	Ħ	$\dagger \dagger$	Ħ	H	H	H	Ħ	$\dagger \dagger$	$\parallel$	$\dagger \dagger$	$\parallel$	t	$\parallel$	H	H	$\parallel$	$\dagger \dagger$	$\dagger$	$\dagger$	H	H	Ħ	ŀ
변호등등도 제정 : 변호등등도 제정 : 변호를 등도 제정 :			$\dagger$	H	t	H	$\dagger$	$\parallel$	H	H	Ħ	Ħ	H	H	H	H	$\parallel$	Ħ	H	$\parallel$	H	H	H	$\dagger$	ł	H	H	$\dagger$	$\dagger$	$\dagger$	$\dagger$	$\dagger$	Ħ	H	H	$\dag$	$\dagger$	$\dagger \dagger$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	Ħ	$\parallel$	H	H	$\parallel$	$\parallel$	$\dagger$	$\dagger$	H	H	Ħ	l
변국 선생  배국 선생  태국 선생  태국 선생  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험  대한 경험	総合評価方法区分		H	H	t	H	$^{\dagger}$	H	H	H	Ħ	$\dagger$	H	H	H	Ħ	H	$\dagger \dagger$	H	H	H	$\dagger$	H	H	H	H	H	$\dagger$	Ħ	Ħ	Ħ	$\dagger \dagger$	Ħ	H	H	H	Ħ	$\dagger \dagger$	H	$\parallel$	$\dagger$	$\dagger$	H	H	H	H	$\parallel$	Ħ	$\dagger$	H	H	Ħ	ŀ
변수 전혀 있다. 전혀 있다. 전혀 있는	<b>泰札</b> 右抗		H	H	t	H	H	H	H	H	Ħ	Ħ	H	H	H	H	$\parallel$	$\dagger \dagger$	H	H	H	$\dagger$	H	H	H	H	H	$\dagger$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	H	$\dagger$	H	Ħ	$\dagger$	$\parallel$	$\dagger$	$\parallel$	Ħ	$\parallel$	H	H	$\parallel$	$\dagger$	Ħ	Ħ	H	H	Ħ	ŀ
Med 20 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			$\dagger$	H	t	H	$\dagger$	$\parallel$	H	H	Ħ	Ħ	H	H	H	H	$\parallel$	Ħ	H	$\parallel$	H	H	H	$\dagger$	ł	H	H	$\dagger$	$\dagger$	Ħ	$\dagger$	$\dagger$	Ħ	H	H	$\dag$	Ħ	$\dagger \dagger$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	Ħ	$\parallel$	H	H	$\parallel$	$\parallel$	$\dagger$	$\dagger$	H	H	Ħ	ł
Hede  Hede  Hede  Hede  Hede  Hede  Hede  Hede  Hede  Hede  Hede  Hede  Hede  Hede  Hede  Hede  Hede	保存処据四キ		$\dagger$	Ħ	‡	H	#	#	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	H	Ħ	#	#	Ħ	Ħ	H	$\dagger$	#	Ħ	Ħ	$\sharp$	$\dagger$	Ħ	$\dagger$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	H	Ħ	$\parallel$	H	$\parallel$	$\parallel$	ļ	H	H	H	H	$\parallel$	$\sharp$	t	Ħ	Ħ	#	ļ
He 40 章	<b>司尼米宏井</b> Ⅲ田		$\parallel$	H	-	Щ		H		H		$\parallel$	$\parallel$	H	Ц	Ц	Ц	$\parallel$	Ц	H	H	ļ		$\parallel$	4		L	$\parallel$	H	H	H	$\coprod$	$\parallel$	H	L	Ш	H	Ц	Ц	$\parallel$	$\parallel$	H	Ц	Щ	Щ	Ц	$\parallel$	$\downarrow$	$\downarrow$	L	Ц	$\parallel$	ļ
関係の	<b>但家也</b> 在																																																				
関係の			$\parallel$	H	+	H	$\downarrow$	1	4	H	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\coprod$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	1	H	H	$\parallel$	$\parallel$	4	H	H	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	H	1	Н	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\downarrow$	$\parallel$	Щ	H	$\parallel$	$\parallel$	$\downarrow$	$\downarrow$	H	$\parallel$	$\!$	ļ
関係の																																																					١
関係の	<b>计许</b> 华兹																																																				
E E < < B E E < < B E E < E E E E E E E	市中国 女職 総合 監督 大河 国 な で 国 女 国 女 国 女 国 女 国 女 国 女 国 女 国 女 国 女 国																																																				١
E E < < B E E < < B E E < E E E E E E E																																																					١
E C < 4 B E C < 4 B E C < 4 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C < 5 B E C <	医心体		Ħ	Ħ	t		Ħ	T	I	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	T	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	İ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ		Ħ	Ħ	$\parallel$	Ħ	$\parallel$	Ħ	t	Ħ			Ħ	$\parallel$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	ľ
EC-49			H	H	1	H			H	H	H	$\parallel$	H	H	H	$\parallel$	$\parallel$	#	$^{+}$	H	H	H	H	H	H	H			∦	$\frac{1}{2}$	∦	∦	H	H	H	_	$\frac{1}{2}$	#	$\parallel$			$\sharp$	$\parallel$	Н	H	$\parallel$	∄	$\pm$	$\pm$	H			
14 N M M M M M M M M M M M M M M M M M M			+	H	f	H	H	H	H	H	H	${\mathbb H}$	H	H	H	H	H	$\prod$	H	H	H	H	H	+	H	H	H	+	${\mathbb H}$	#	${\mathbb H}$	H	+	H	H	H	#	orall	H	+	$\parallel$	$rac{1}{2}$	H	H	H	H	+	H	+	H	H	f	ĺ
			Ħ	Ħ	‡	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	H	$\parallel$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	$\sharp$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	$\parallel$	H	$\parallel$		Ħ	H	H	Ħ	H	$\parallel$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	#	ŀ
E<<00			$\parallel$	H	1		H	l	1	H	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	Ц	Ц	Ц	$\parallel$	$\parallel$	$\coprod$	l	H	$\!$	$\parallel$	$\parallel$	1	H	H	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	H		Ш	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\downarrow$	$\parallel$	Ш		$\parallel$	$\parallel$	$\downarrow$	$\parallel$	H	Ц	$\downarrow$	ļ
			$^{+}$	${\sf H}$	+	Н	$\mathbb{H}$	${\mathsf H}$	$\!$	H	${\mathbb H}$	$^{+}$	${\mathbb H}$	H	H	H	$\parallel$	$\parallel$	$\mathbb{H}$	${\mathsf H}$	H	${\mathbb H}$	H	$^{+}$	+	$^{ m H}$	+	+	$\mathbb{H}$	+	$\mathbb{H}$	$^{+}$	$^{+}$	H	$\parallel$	Н	+	$\parallel$	$\parallel$	+	+	$\mathbb{H}$	$\parallel$	Н	Н	$\parallel$	+	+	+	+	H	+	ł
METO D			$\!$	$\!$	1	Щ	Щ	$\mu$	$\!$	4	$\!$	$\!$	Ц	Ц	$\coprod$	Ц	$\coprod$	$\coprod$	Щ	$\mu$	4	$\!$	4	$\!$	4	$\parallel$	$\!$	Щ	$\coprod$	$\coprod$	$\coprod$	$\coprod$	$\!$	4	$\downarrow$	Щ	$\coprod$	Щ	$\coprod$	Щ	Щ	$\downarrow \downarrow$	$\coprod$	Щ	Щ	$\coprod$	Щ	Щ	$\downarrow$	$\!$	Ц	#	ļ
## COUNTY (### )	条社国田 年成(県村井	)	Ħ		T	Т	T	T	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	H	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	П	T		Т	П	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ			Ħ	H	H	Ħ	П	Ħ	H	H	Т	Ħ	Ħ	T	T			П	İ
- sae	Kontr		Ħ	Ħ	‡	Ħ	#	Ħ	Ħ	H	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	H	Ħ	H	Ħ			Ħ	$\sharp$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	H	Ħ		Ħ	Ħ	Ħ		$\parallel$	Ħ	Ħ	Ħ		Ħ	$\parallel$	Ħ	1	Ħ	Ħ	Ħ	ŀ
NIGERCA.			$\parallel$	H	+	H	H	H	$\parallel$	H	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	H	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	H	H	H	$\parallel$	H	$\parallel$	H	H	H	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	H	4	Н	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	Н	H	$\parallel$	$\parallel$	$\downarrow$	$\parallel$	H	H	$ \downarrow $	ļ
race	影響和中		Ħ	ļ	‡	Щ		ļ	I	I	Ħ	Ħ	Ħ	Ц	Ħ	Ħ		Ħ	Ц	ļ	I	ļ	Ħ	Ħ	ш	ш	Ħ	$\sharp$	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	I		Щ	Ħ	Ц		-		Ħ		Щ	Щ		Ħ	Ħ	T,	Ħ			ŀ
			$\dagger$	H	$\dagger$	H	+	H	$\dagger$	H	H	$\dagger$	H	H	H	$\dagger$	$\parallel$	$\parallel$	H	H	H	$\dag$	H	$\dagger$	H	$\parallel$	H	$\dagger$	$\dagger$	H	$\dagger$	$\dagger \dagger$	H	H	$\parallel$	H	H	$\parallel$	$\parallel$	$\parallel$	$\dagger$	$\dagger$	$\parallel$	H	H	$\parallel$	$\parallel$	$\dagger$	$\dagger$	H	H	$\dagger$	I
ECEX4C	数作所製化物																																											Ш								Ц	١
型性 医炎 O					-17		П	ıΓ	ιГ	ıГ	ıГ	ιГ	١Г	ıΤ	ıΤ	ıΤ	17	17	17	ıΓ	ıſ	ıſ	ıГ	ıГ		ıГ		ш	ıΤ	ПŤ	пŤ	ıΤ	ιГ	ıſ	ιГ	ιП	ΠŤ	17	17	-17	-17	пП	17			17	- 17		- 1		ıГ	ПΕ	١